

平成25年度

伊勢崎市の教育



伊勢崎市教育委員会

序

学校教育を取り巻く社会情勢は、情報化、国際化・グローバル化をはじめ、少子高齢化や環境問題、雇用の多様化や価値観の多様化など、身近な社会問題が山積し、刻々と変化してきております。こうした社会の激しい変化に対応すべく、「心豊かでたくましい日本人の育成」を目指し60年振りに改正された教育基本法の下、平成20年3月に告示された新学習指導要領が平成23年度は小学校で、24年度は中学校で、そして、今年度からは高等学校において全面実施となりました。社会変化に対応するために必要な「生きる力」の基盤となる「確かな学力の確立」については、基礎的・基本的な知識・技能の徹底した習得を図ることやこれらを活用する思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度等を相互関連させながら伸ばしていくことが求められております。また「豊かな心」や「健やかな体」の育成に当たっては、基本的な生活習慣や規範意識の確立において、学校、家庭及び地域の連携と協力が求められております。

本市においては、これらのことを踏まえ、人権尊重の精神を基本に、家庭・地域社会への所属感を育み、郷土を愛する心と国際協調の精神を養い、自ら学び心豊かでたくましい「生きる力」にあふれ、くらしと文化を創造し享受する自立した人づくりを目指して教育行政を進めております。

この基本理念の具現化を目指して、市民参加の学習活動が展開できるよう、家庭・地域社会・学校・関係機関との連携をより一層深め、生涯の各時期に対応した学習の機会の確保、教育条件の整備と学習環境づくりを推進し、「伊勢崎は大人と子どもが学ぶ街」の実現に努めているところであります。

学校教育の充実に向けた具体的な取組としては、「伊勢崎式教育力向上『徹底』構想2013」をもとに、連携方式による小中9年間の一貫した教育活動の推進により、子ども一人一人の夢や希望の実現に向けた確かな学力と豊かな人間性を育みます。

心豊かな地域社会の形成においては、「いせさき子ども元気作戦」として「読書の街いせさき読書活動」「いせさき家族で『いただきます』の日」「やってよかった家庭学習」を学校、家庭、地域社会の三者が協働して実践し、望ましい生活習慣を定着させるとともに、家族の絆を深めるなど住みよい街づくりに努めます。

また、市民の多様な学習ニーズに応える生涯学習の充実や読書の街づくりの推進、先人が残した文化財の保護意識の高揚、健康・安全教育と食育の充実、学校支援ボランティアによる奉仕活動の充実、環境変化への対応として、トイレの改修整備や耐震補強対策といった施設・設備の充実等、21万市民の多様なライフスタイルに即した教育の振興を図ってまいります。

結びに、本市教育の歩み及び施策等を記載した本要覧を広く皆様にご活用いただきますとともに、ご指導、ご助言をいただく機会となれば幸いです。

あ い さ つ

本市の国指定史跡である田島弥平旧宅は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の一つとして、世界遺産登録を目指しております。本年1月には、推薦書がユネスコ世界遺産センターに提出され、夏から秋に予定されるイコモスの現地調査を経て来年6月頃に良い結果が出ることを期待しているところでございます。

田島弥平は、幕末から明治にかけて優良な蚕種（蚕の卵）を生産する養蚕技法「清涼育」を大成し、規範となる養蚕建物も発案し、近代養蚕飼育法を確立しました。その主屋が150年の時を超えて現存しているということは素晴らしいことです。

弥平と島村の蚕種業が発展した背景として、当時の情勢を正しく見極めた目があり、その行動力から時流に乗って、養蚕分野ではわが国初めてとなる株式会社「島村勸業会社」を設立し、世界へ大きく羽ばたくことができました。

養蚕の技術革新は、養蚕の多回数化と合わせて生産量の量的拡大をもたらして絹が庶民のものとなりましたが、このことから技術発展の素晴らしさをうかがい知ることができます。また、この頃から織物業界では伊勢崎太織が伊勢崎銘仙と名を改めて発展し、昭和初期まで大衆着物の中心的存在の地位を占めてきました。

この「技術革新」と世界との「交流」が存在したことが、現在の工業都市伊勢崎を生み出した原点として引き継がれていると言っても過言ではありません。

このように、地域の歴史や先人の功績を正しく評価し、後世に伝えて行くことは教育の一つの大きな役目であると考えます。今回の世界遺産登録への取組みが生きた教材として活用され、次世代を担う子どもたちが自分たちの地域を知る絶好の機会となるよう期待しております。

これからも、教育行政に対しまして多くの皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げ、ごあいさつといたします。



伊勢崎市長 五十嵐清隆

目 次

序

市長あいさつ

市民憲章	2
伊勢崎市の概要 (沿革・市章・市旗・市の木・市の花・都市宣言ほか)	3

I 教育行財政

教育委員会	8
教育のあゆみ	12
平成 25 年度教育行政方針	21
平成 25 年度教育費予算	36

II 教育施設

教育施設一覧	42
平成 24 年度施設建設等主要事業	48
平成 25 年度施設建設等主要事業計画	54

III 学校教育

平成 25 年度学校教育方針	58
平成 25 年度主要事業	63
伊勢崎「徹底」構想 2013	64
各種事業	66
各種補助・援助	74
園児・児童生徒数	76
学校体育保健	80
日本スポーツ振興センター	82
伊勢崎高等学校	83
四ツ葉学園中等教育学校	84
教育研究所	86

IV 学校給食

学校給食の充実	90
---------	----

V 生涯学習

生涯学習の充実	96
図書館	108

VI 文化振興

文化振興	116
------	-----

VII 文化財保護

文化財の保護と活用	122
-----------	-----

VIII 青少年健全育成

心身ともに健全な青少年の育成の推進	134
青少年非行防止活動の推進	139

IX スポーツ振興

スポーツ振興	144
--------	-----

題 字	伊勢崎市教育委員会教育長 徳江基行
表紙写真	田島弥平旧宅・島村の渡し

伊勢崎市 市民憲章

古くから赤城山のふもとに大きく開けた伊勢崎の地は、水と緑と陽光の織りなす豊かな自然に生まれ着実に発展してきました。わたくしたち伊勢崎市民は、先人が知恵と勇気とたゆまぬ努力で築いてきた歩みを一人ひとりが受けつぎ、さらに快適で希望と活力に満ちた住みよいまちをつくるため、この憲章を定めます。

- 一 いのちを大切にします
- 一 こころとからだをきたえます
- 一 お互いを尊重します
- 一 ふれあいを広げます
- 一 ふるさとの発展に力を合わせます

市民憲章は、平成18年12月20日に制定されました。

この市民憲章は、市民の共感に基づいた自発的な行動意欲を喚起するとともに相互協力と連携の精神を高揚し、さらに快適で希望に満ちた住みよいまちを築く指針となり、心の支えとなり続ける理念を示すことを目的としています。

伊勢崎市の概要

沿革

伊勢崎市の地勢は比較的平坦であるが、広瀬川を境に右岸は北西から東南へ傾斜する利根川による沖積低地、左岸はほぼ北から南へ傾斜する赤城山南東に発達する大間々を扇頂とする大間々扇状地の扇端部からなる。

左岸は湧水が多く、小河川がつくる浅い開析谷が発達し、権現山遺跡をはじめとする旧石器時代から縄文時代の遺跡が多く見られるが、弥生時代の遺跡の分布は比較的少ない。古墳時代になると湧水や小河川沿いには村落が発達し、県指定重要文化財の長持形石棺をもつ前方後円墳の「お富士山古墳」（市指定史跡）をはじめ、主な河川沿いに多くの古墳群や集落が発達している。古代の遺跡では、佐位郡衙正倉である三軒屋遺跡は「上野国交替実録帳」に記載された「八面甲倉」の八角形建物が発見された。上植木廃寺跡は佐位郡の寺院と考えられ、三軒屋遺跡との関連が指摘されている。境地区北の東西一直線の境は、宮都から陸奥国へ通じた東山道駅路の痕跡が境界として今日まで残っている。さらに境伊与久の十三宝遺跡（国指定史跡）は、『続日本紀』天平19年12月14日条の「百姓に造塔を許す」という勅に比定され、上野国分寺の創建とも関係する寺院跡である。古代末から中世には藤原秀郷流の一族を開発領主とする湊名荘が置かれ、その灌漑用水として赤堀地区からあずま地区に及ぶ女堀（国指定史跡）が状態良く残っている。これに対し、広瀬川右岸は古利根川の変流により左岸にあるような豊富な遺跡を見出すことはできない。

戦国期には藤姓湊名氏の一族赤堀氏、田部井氏、那波郡を本貫地とした那波氏等の在地の武士が台頭するが、戦国大名の勢力のはざままで没落してゆく。那波氏が拠点としていた赤石郷にあった砦は由良氏の手落ち、由良氏は赤石郷を伊勢皇大神宮に寄進し、これを勧請し砦の中に祀った。以後この砦は「伊勢崎」と呼ばれ、現在までの地名として定着する。

伊勢崎地区及び境地区には、天正18年（1580）那波郡に一万石で松平氏が、やや遅れて佐位郡に一万石で稲垣氏が入封、以後両氏の跡に酒井氏が入り、断続を経て天和元年（1681）以降明治4年（1871）廃藩置県まで二万石の伊勢崎藩が存続するとともに、赤堀、東地区と同様に、旗本領、幕府領や他藩領が混在した。

伊勢崎町や境町には近世の初頭から六斎市が立ち、物資が集散し、この地域は一つの経済圏を形成した。中期以降は養蚕が盛んになり、繭、糸、地場の織物である太織が取引された。このような経済活動を背景に文化活動が盛んになった。安永期に藩校「学習堂」が設立されると、民間にも郷学設立の動きが起き、享和元年（1801）有志による私塾として始まった境伊与久の五惇堂を初めとして文化期には8校の郷学が設立された。創設にかかわったのは儒学を学んだ人たちであった。明治4年（1871）廃藩置県前後には、第二次興隆期を迎え、14校が設立され、伊勢崎藩領内の郷学は合わせて25校となった。

安政6年（1859）横浜が開港されると、当時の主要な輸出品となった生糸や蚕種を生産していたこの地方は一挙に潤い、島村、長沼村では蚕種業が盛んになり、直接横浜に売り込みに行く人たちも現れた。幕末期には元機屋が現れ、賃機により農家を潤した。明治期に入ると品質維持、改良のため太織会社が設立され、伊勢崎織物業組合へと発展した。組合は技術伝習のため明治19年（1886）「染色講習所」を設立、明治33年県に移管され、この地域の中等教育の走りとなった。「伊勢崎銘仙」といわれた織物は近代佐波・伊勢崎の基幹産業となったが、生活様式の変化により、今日では機械金属、輸送機器にとって替わられた。

明治22年町村制の施行に伴い、市域には伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村、三郷村、豊受村、名和村、宮郷村、赤堀村、東村、境町、采女村、剛志村、島村が成立した。昭和15年伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村が合併して第一次の伊勢崎市が成立、昭和30年に伊勢崎市は三郷村、豊受村、名和村、宮郷村を併合、また、境町、采女村、剛志村、島村が合併して第二次境町が成立、昭和32年世良田村の一部（境東地区）を合併した。赤堀村は昭和61年町村制を施行。平成17年1月伊勢崎市、赤堀町、東村、境町が合併して第二次の伊勢崎市が成立した。平成19年4月、特例市となる。

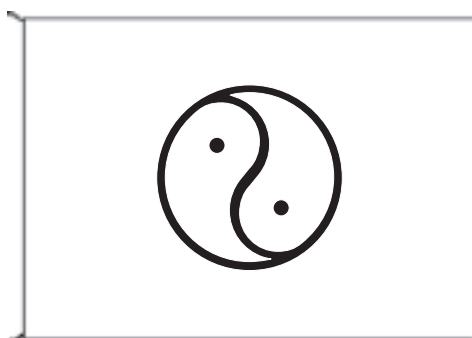
市章



伊勢崎市の徽章を左図の如く定め諸般に用いるものとする。この地域にゆかりの深いまがたまを用いて、いせさきの「い」の字をデザインしたもので、市民の融和と本市の発展を表す。

(平成17年2月28日告示)

市旗



縦の長さは、横の長さの3分の2とする。

市章の直径は、縦の長さの5分の3とする。

市章の中心は、旗面の中心とする。

市章上・下のあきは等しくする。

2個のまがたまの孔の中心を通る直線は、市章の中心を通る水平線より左側仰角45度とする。

旗の地色は白色とする。

市章の地色は赤色とし、まがたまは白抜きとする。

市の木

松



【市の木の選定理由】

検討委員会では、市の木は、古くからこの地域に広く自生、あるいは植栽されている樹木が最適であろうという考え方により、アカマツ・クロマツを含む総称としての「マツ」が選定されました。

マツは、現在の市全域に生育しており、庭木や盆栽としても広く愛されてきました。市内には、神社・仏閣、街道筋などに多く見られ、県内有数の名木もあります。また、公園や公共施設などにも数多く植栽されています。(平成18年12月20日告示)

市の花

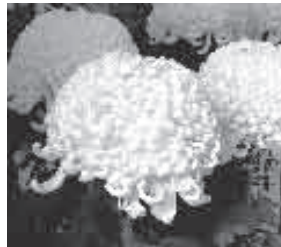
ツツジ



サルビア



キク



スイセン



【市の花の選定理由】

市の花は、一つに限定せず長い期間にわたり楽しめるよう複数あってもいいのではないかとという考え方に基づき検討されました。その上で、旧市町村の花もそれぞれの経過を経て地区の人々に親しまれている状況も考慮されました。

そのような中、開花時期が注目されました。ツツジは春、サルビアは夏から秋、キクは秋、スイセンは冬から春にかけて咲き、四つの花を合わせれば四季折々に花を楽しむことができます。

そこで、四つの市町村が合併して一つの新しい伊勢崎市を創り上げる象徴として、一年中を花で飾れる「四季の花」という思いを込め、四つの花が選定されました。(平成18年12月20日告示)

都市宣言

●人権尊重都市宣言

平成18年12月20日制定

すべての人々の人権を平等に保障することは、誰もが幸せに暮らせる社会をつくる基礎になります。わたくしたち伊勢崎市民は、お互いの理解と協力と信頼により、一人ひとりの健康で幸福な生活を送る権利を守り、みんなで明るく住みよいまちを築くため、ここに「人権尊重都市」を宣言します。

●スポーツ都市宣言

平成18年12月20日制定

スポーツに親しみ、スポーツをとおして健康な心とからだをつくり、友情とふれあいの輪を広げることは、明るく健全な社会をつくる大きな力になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが生涯を通じて健康で生きがいのある充実した生活を営み、笑顔と活力あふれるまちを築くため、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

●安心安全都市宣言

平成18年12月20日制定

安心で安全な暮らしを脅かす災害や交通事故、犯罪などをなくすことは、すべての市民の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが自分たちのふるさとを自分たちで守るという共通の考えを持ち、みんなで手を取り合い、快適で心安らかに暮らせるまちを築くため、ここに「安心安全都市」を宣言します。

●核兵器廃絶平和都市宣言

平成18年12月20日制定

平和と安全を脅かす核兵器を地球上からなくすことは、人類共通の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、平和を愛する世界各国の人々とともに永久の平和が実現することを強く望み、核兵器のない世界を築くため、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

人口・世帯 (平成25年8月1日現在)

人 口	211,296 人
男	105,592 人
女	105,704 人
世帯数	82,531 世帯

位置・面積

北 緯	36° 18′
東 経	139° 11′
海 抜	58.1 m
面 積	139.33 km ²

I 教育行財政



教育委員会会議の様子

教育委員会

1 教育委員 (平成 25 年 4 月 1 日現在)



(後列左から) 多部田 敬三 委員、萩原 裕子 委員、徳江 基行 教育長
(前列左から) 茂木 克 委員長、大山 祐理子 委員長職務代行者

役職名	氏名	住所
委員長	茂木 克	伊勢崎市野町
委員長職務代行者	大山 祐理子	伊勢崎市連取町
委員	多部田 敬三	伊勢崎市三室町
委員	萩原 裕子	伊勢崎市境上武士
教育長	徳江 基行	伊勢崎市東上之宮町

2 歴代の教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
上山 明	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
上林 雄	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
御任 佳子	平成 17 年 1 月 1 日	平成 19 年 3 月 23 日
茂木 初實	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
大塚 富男	平成 17 年 3 月 24 日	平成 18 年 3 月 23 日
赤石 勝彦	平成 17 年 3 月 24 日	平成 19 年 10 月 31 日
須田 篤子	平成 17 年 3 月 24 日	平成 21 年 3 月 23 日
大沢 啓一	平成 18 年 3 月 24 日	平成 22 年 3 月 23 日
小久保 剛利	平成 19 年 3 月 24 日	平成 23 年 3 月 23 日
大山 隆	平成 19 年 12 月 19 日	平成 24 年 3 月 23 日
齋藤 美智子	平成 21 年 3 月 24 日	平成 25 年 3 月 23 日
茂木 克	平成 22 年 3 月 24 日	
大山 祐理子	平成 23 年 3 月 24 日	
多部田 敬三	平成 24 年 3 月 24 日	
萩原 裕子	平成 25 年 3 月 24 日	

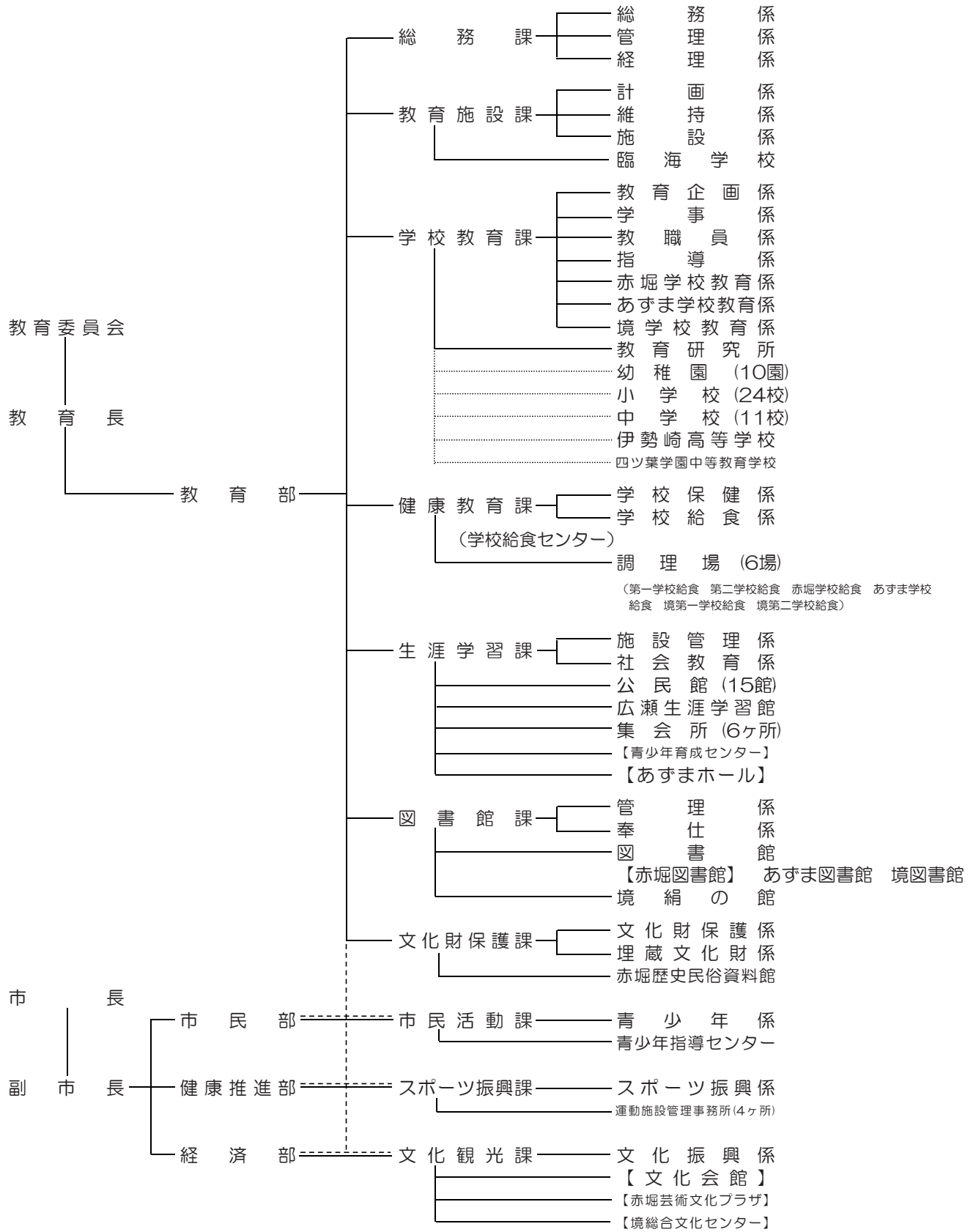
3 歴代の教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
田島 國明	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
山口 晃	平成 17 年 4 月 1 日	平成 25 年 3 月 31 日
徳江 基行	平成 25 年 4 月 1 日	

4 付属機関の委員等

名 称	人 員	構 成
奨 学 生 選 考 委 員 会 委 員	15 人以内	学識経験者、その他教育員会が適当と認めた者
適 正 就 学 指 導 委 員 会 委 員	45 人以内	特別支援学校長、小中学校長又は小中学校教頭、特別支援学校教諭、特別支援学級担当教諭、通級指導教室担当教諭、公立幼稚園長、専門医師、児童相談所職員、心身障害児（者）担当市職員、公立保育所保育士、保健師、その他教育長が必要と認めた者
学 校 結 核 対 策 委 員 会 委 員	8 人以内	学校医、結核に関し専門知識を有する者、関係行政機関の職員、学校関係者
学 校 給 食 運 営 委 員 会 委 員	15 人以内	教育委員、幼稚園・小学校・中学校及び特別支援学校の代表、幼稚園・小学校・中学校及び特別支援学校のPTAの代表、伊勢崎保健所長、学校医及び学校薬剤師の代表、学識経験者
生 涯 学 習 推 進 協 議 会 委 員	40 人以内	関係行政職員、学識経験者
社 会 教 育 委 員	20 人以内	学校教育関係者、社会教育関係団体代表、学識経験者
公 民 館 運 営 審 議 会 委 員	30 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
人 権 教 育 推 進 委 員 会 委 員	60 人以内	学校教育関係者、市職員、PTA会長、その他公共的団体の代表者
集会所運営委員会委員 今井町集会所運営委員会委員 道伝集会所運営委員会委員 宮子町集会所運営委員会委員 柴町集会所運営委員会委員 連取町集会所運営委員会委員 三室町集会所運営委員会委員	各集会所に 20 人以内	各地域から推薦された者
図 書 館 協 議 会 委 員	10 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者
文 化 財 調 査 委 員	7 人以内	学識経験者
赤堀歴史民俗資料館運営協議会委員	8 人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
青 少 年 問 題 協 議 会 委 員	25 人以内	市議会議員、関係行政機関の職員、学識経験者
青少年指導センター運営協議会委員	16 人以内	関係行政機関の代表、青少年保護育成に関係する団体から推薦された者
ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会 委 員	15 人以内	スポーツに関する学識経験のある者
ス ポ ー ツ 推 進 委 員	45 人以内	各地区から推薦された者

5 教育委員会機構図



※【 】：指定管理施設

教育のあゆみ

〈学制発布から明治〉

西暦	年代	主 な 事 項
1872	明治 5. 8. 3	学制を制定し学区制を布く。全国を8大学区に分け、1大学区に32中学区、1中学区に210小学区を置く。 群馬県は小学校教授細則を告示、下等小学校は6歳から9歳まで4か年8級、上等小学校は10歳から13歳まで4か年8級とする。
	8.	群馬県、旧藩校及び郷学、寺子屋等に廃学の指令を出す。
1873	6. 6. 9	赤石学校、伊勢崎町本光寺を仮校舎として開校。明治8年2月までに伊勢崎地区17校、赤堀地区2校、あずま地区1校、境地区では10校が開校、この頃に設立された学校の多くは、寺院を仮校舎とするものが多い。
1874	7. 1.	島村に新聞を回覧し、新しい知識を得ようとする「新聞夜学会社」が結成される。
1875	8. 8. 4	小保方学校分校国定支校、養寿寺に開校。
1876	9. 6. 8	田部井学校、西福寺を仮校舎として開校。
	6. 9	国定学校独立（明治11年3月19日 校舎竣工）。
1877	10. 2.	群馬県令楫取素彦、赤石学校を視察。
1878	11. 7. 17	赤堀今井小学校校舎を字南原に竣工。
1879	12. 5. 29	小保方学校、字陣屋前に校舎竣工。
	6.	播智須学校、八寸村桂林寺を仮校舎として小保方学校から分離独立。
	9.	学制を廃止し教育令を制定、小学校教育を義務化する。
1880	13. 2.	旧伊勢崎藩藩校教授新井雀里、伊勢崎町に漢学塾「南淵塾」を開く。
	12.	教育令を改正。
1882	15. 11. 5	伊勢崎町赤石学校校舎竣工。
1883	16. 7.	播智須学校校舎を字堤下に竣工。
1884	17. 6.	小此木村の天田弁蔵、漢学塾「愛性義塾」を開く。
	11.	国定学校、田部井学校に併合される。
1885	18.	田部井小学校、字東宿に新校舎竣工。
	3.	小学校の統廃合が行われ郡名と学区番号を冠した校名となる。
	8.	佐位那波教育会設立。
	8.	石川泰三が伊勢崎町に洋学塾「回天義塾」を設立。
1886	19.	伊勢崎織物業組合が「染色講習所」を設立。
	19. 3.	帝国大学令、4月10日 小学校令・中学校令・師範学校令を公布。小学校を尋常・高等に分ける。尋常科4年の義務制。伊勢崎地区7校、赤堀地区2校、あずま地区2校、境地区7校の尋常小学校があった。高等小学校は伊勢崎町に設置され、7月15日 佐位那波郡高等小学校と称する。
	19. 8.	木島村の小暮卓利、普通学科の「三余義塾」を設立。
1887	20.	佐位那波郡高等小学校分教場が国定村、剛志村、玉村町に設置される。
	1.	島村の田島善平宅に「基督教美以教会」講義所が設けられる。
1888	21. 1.	平塚青年会発足。翌年には境町青年進成会、島村青年会が発足。
	5.	郡長より小学校生徒服をなるべく洋服あるいは筒袖に改正するように内諭あり。
1889	22. 4.	名和青年会統合なる。
	4. 1	町村制施行。伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、豊受村、赤堀村、東村、境町、采女村、島村、剛志村が成立。この年、各村村内小学校を統合して村名を冠した尋常小学校とする。

1890	23. 5. 12	伊勢崎尋常小学校に予修科付設（幼稚園のはじまり）。 赤堀村、今井、西久保両校を統合して赤堀尋常小学校と改称する。
1891	24. 9. 1	佐位那波郡高等小学校を廃止し、伊勢崎町外5か村立伊勢崎組合高等小学校（殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、10月3日開校式）を伊勢崎町に、毛陽1町4か村組合高等小学校（境町、豊受村、剛志村、采女村、島村）を剛志村に、赤堀村、東村2か村組合立静修高等小学校を東村に設置する。
1892	25. 4.	赤堀村、東村組合立静修高等小学校校舎が国定に新築される。
1893	26. 4.	赤堀今井、西久保両尋常小学校独立。
1896	29. 1. 8	伊勢崎盛年会設立。
	4.	赤堀村西久保校を赤央尋常小学校と改称する。9月新築される。
	4. 1	佐位・那波両郡が合併して佐波郡と改称する。
1897	30. 11.	三郷尋常小学校校舎竣工。
1900	33. 3.	組合立伊勢崎染色学校が県に移管となる。
1901	34. 3.	毛陽5か町村組合高等小学校を解散し、各町村尋常小学校に高等科を併せ、尋常高等小学校と改称する。
	11. 15	伊勢崎町に佐波学術研究会発足（明治35年佐波学館と改称、昭和7年閉館）。
1902	35. 3. 31	伊勢崎町外5か村組合高等小学校を解散し、伊勢崎町は修養年限4年の高等小学校を設置する。各村は尋常小学校に高等科を併設し、尋常高等小学校と改称する。東村、赤堀村の学校組合も解散し、静修高等小学校が東高等小学校となり、赤堀村は赤堀尋常小学校敷地に高等小学校を建設。
1903	36. 4. 10	伊勢崎高等小学校に女子補習科を設置する。
1905	38. 1. 14	茂呂村青年夜学会開設。
	38. 2.	県立伊勢崎染色学校が桐生織物学校に統合される。
	3. 31	県立伊勢崎染色学校廃校。
	4.	名和尋常小学校、尺取虫、螟虫の駆除を始める。
1906	39. 4. 1	殖蓮実業補習学校設立。以後各地区に補習学校が開設される。
	4. 15	伊勢崎町、伊勢崎女子実業補習学校を設置する。
	5. 31	名和尋常小学校、10日間の農繁休暇を始める。
	6. 1	境町女子実業補習学校開校（後の境高等学校）。
1907	40. 3.	小学校令改正、義務教育年限を延長して小学校6年制とし、高等科を2年に改め、明治41年度から実施。
	4. 1	伊勢崎尋常小学校と伊勢崎高等小学校を合併して、伊勢崎尋常高等小学校とし男子を収容し、女子を収容する伊勢崎女子尋常高等小学校を設置する。
	11. 28	佐波教育会伊勢崎部会創設。
1908	41. 3.	県、土地の事情により農繁休暇を認める。 赤堀村3小学校を統合し赤堀尋常高等小学校と改称する。 平塚村に私立「東寧実業補習学校」設立。
1909	42.	小保方尋常小学校を東高等小学校に併置。
1910	43.	小保方校、田部井校をそれぞれ南分教場、北分教場として東尋常高等小学校が発足。
	1.	茂呂村青年会創設、以後大正にかけて各町村に創られる。
	4. 1	伊勢崎町に県立工業学校開校。 この頃から遠足、修学旅行が定例化する。
1911	44. 1. 10	三郷村青年夜学会発足。
1912	45. 4.	伊勢崎町学齢児童保護会設立。

〈大正から教育委員会発足まで〉

西暦	年代	主 な 事 項
1913	大正 2.	赤堀村赤央校廃校となる。
1914	3. 4. 1	伊勢崎町、男女別学の尋常高等小学校を合併して伊勢崎尋常高等小学校と改称する。
1915	4. 4. 1	伊勢崎町立実科高等女学校を伊勢崎尋常高等小学校に併設する（大正12年4月1日伊勢崎高等女学校と改称、同13年4月 県に移管、6月 伊勢崎町宗高に新校舎落成）。
	11.	赤堀女子実業補習学校を赤堀尋常小学校に併設。同5年男子部が加わり、赤堀実業補習学校と改称。
1916	5. 8.	宮郷村に処女会（女子青年団）が創設される。以後大正期に各町村に創られる。
1917	6. 4. 13	伊勢崎町立商工補習学校開校、大正8年4月 町立商業学校に改組（大正12年 県に移管）。
1920	9. 4. 26	佐波郡立農学校開校（大正12年 県に移管、佐波農業学校と改称）。
1921	10. 4. 11	伊勢崎図書館認可される。
1923	12. 8. 1	伊勢崎教育会、学齡児童保護会、小学校の虚弱児童を対象に伊勢崎公園（華蔵寺公園）に林間学校を開設（21日間）。
1925	14.	中島徳蔵が東洋大学学長となる。
1926	15. 6. 27	伊勢崎尋常高等小学校第1号校舎焼失。
	10. 1	伊勢崎町幼児保育所を開設する（昭和2年 伊勢崎第二幼稚園と改称、同9年 廃止）。
1927	昭和 2. 4. 1	伊勢崎第一幼稚園設置（小学校付属幼稚園独立）。
1930	5. 4. 1	伊勢崎町、茂呂村に伊勢崎南尋常高等小学校を開校。
1931	6. 5. 30	伊勢崎競技場完成。
1934	9.	赤堀村、今井分教場廃止。
	11.	境町立境尋常高等小学校プール竣工。
1935	10.	東村、南分教場を廃止。
1937	12. 4.	三郷尋常高等小学校、二宮金次郎銅像の除幕を行う。
	5. 3	伊勢崎市日吉町に伊勢崎幼児園開園（方面事業助成会経営）。
1938	13. 7. 23	伊勢崎水泳場竣工（板垣精平寄付）。
1939	14.	青年学校義務制となる。
1940	15. 9. 30	伊勢崎市制施行（第1次）。
1941	16.	赤堀村北分教場を廃止。
	4. 1	国民学校発足（昭和16年3月1日 国民学校令公布）。
	4. 17	私立夜間中学校開校（教場図書館、校主板垣精平）。
	10. 21	境町立境尋常高等小学校学校給食を始める（月額1円）。
1942	17. 9. 1	伊勢崎市北青年学校を北国民学校に付設する。
1943	18. 3. 31	伊勢崎市北国民学校に高等科を設置。
	8.	青年学校通年昼間制となる。
	11. 1	伊勢崎市八坂町に南幼児園開園（方面事業助成会経営）。
1944	19. 4. 1	私立夜間中学校を伊勢崎市に移管、市立伊勢崎中学校と改称。
1945	20. 8. 15	北国民学校、宮郷国民学校、伊勢崎高等女学校、伊勢崎図書館空襲により焼失する。

1947	22. 1.	伊勢崎市学校給食開始。
	4. 1	小学校6年、中学校3年の9年制義務教育となる。
	4. 29	新制中学校始業式。小学校等の教室で授業を始める。昭和23年から同25年にかけて新校舎が相次いで竣工する。
1949	24.	5月 名和村、6月 豊受村、12月 東村、学校給食開始。
1950	25.	6月 宮郷村学校給食開始。 境島村教会、めぐみ保育園を開設。
	9.	赤堀村、学校給食を開始。

〈教育委員会発足から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1952	昭和27. 10. 5	市町村の教育委員選挙が行われた。
	11. 1	市町村に教育委員会が発足。
1954	29. 4. 1	伊勢崎市立女子高等学校が開校（4月19日 伊勢崎市立北小学校において授業開始、6月 栄町の佐波福祉事務所跡へ移転）。
	11. 18	殖蓮中学校第2校舎焼失。
	11. 22	茂呂幼稚園園舎新築工事完成。
1955	30. 1. 10	佐波郡三郷村と合併、3月 名和村、豊受村、宮郷村を合併。
	3. 15	宮郷公民館開館。
	3. 19	名和公民館開館。
	3. 22	豊受公民館開館。
	4. 1	三郷幼稚園開園（三郷小学校校舎使用）。
	4. 8	市教育研究所発足。
	12. 17	殖蓮中学校校舎復旧新築工事完成。
1956	31. 1. 10	三郷公民館開館。
	4. 1	宮郷幼稚園開園。
	10. 1	新教育委員会法全面実施に伴い、各市町村に任命制教育委員5人就任。
1957	32. 4. 1	殖蓮公民館及び茂呂公民館開館。
1958	33. 2. 27	伊勢崎市立女子高等学校円型校舎が昭和町に完成。
	3. 31	宮郷幼稚園園舎新築工事完成。
	4. 1	本県最初の知的障害児のための養護学校（名称は伊勢崎市立伊勢崎中学校）設立（現第一幼稚園位置）。
	8. 5	境町立東小学校開校。
1960	35. 4. 11	伊勢崎市立北小学校校舎火災。
1961	36. 3. 3	伊勢崎市立北小学校復旧校舎新築工事完成。
1962	37. 3. 15	茂呂公民館新築工事完成。
	4. 1	東村立東小学校に特殊学級設置。
1963	38. 3. 2	殖蓮公民館落成式。
	4. 15	東村公民館竣工（移転）。
	8. 1	境町立図書館開館。
	10.	東村民プール完成（昭和39年6月13日 共用開始）。
1964	39. 4. 1	境町立境中・島中を統合して、新しく境町立南中学校設置。境町立采女中を北中、境町立剛志中を西中に校名変更。 東村立東中学校に特殊学級設置。

1965	40. 4. 1	伊勢崎南・茂呂中学校を統合して、新しく伊勢崎市立南中学校を設置。
	7. 7	伊勢崎市教育経営研究会発足。
1966	41. 3. 19	伊勢崎市宮野球場建設工事完成（3月23日 こけらおとしに巨人－大洋戦開催）。
	8. 25	境町立南中学校校舎完成。
	9. 25	台風26号襲来、殖蓮小学校講堂倒壊。
1967	42. 3. 18	境町東公民館完成。
	4. 1	統合伊勢崎市立南中学校を伊勢崎市立第一中学校と改称し、伊勢崎市立名和・豊受両中学校を統合して伊勢崎市立第二中学校とする。
	5. 22	伊勢崎市立殖蓮小学校体育館復旧新築工事完成。
	5. 31	伊勢崎市立第一中学校校舎新築工事完成。
1968	43. 2. 1	養護学校を旧茂呂中学校跡へ移転。
	4. 27	伊勢崎市宮陸上競技場完成。
	11. 11	青少年補導センター開所式（市福祉事務所内に設置）。
1969	44. 1. 23	三郷公民館新築工事完成。
	3. 31	伊勢崎市立第一幼稚園園舎新築工事完成。
	4. 1	東村立あずま幼稚園開園（東小学校校舎一部使用）。
	8. 10	伊勢崎市立第二中学校新築工事完成。
	9. 1	名和小学校が旧名和中学校校舎へ移転。
	10. 12	第1回市民総合体育大会を開催（以後毎年10月10日に開催）。
1970	45. 2. 15	三郷幼稚園園舎新築工事完成。
	4. 1	境町立島小学校分校が境町立境小学校分校となり4年生以上は境小学校に通学。
	4. 24	境町中央公民館完成。
	6. 20	伊勢崎市立北幼稚園廃園。
1970	45. 7. 1	伊勢崎市中央公民館開館。
	12. 1	伊勢崎市学校給食センター完成により、共同調理場方式になる。
1971	46. 2. 22	伊勢崎市立南幼稚園園舎新築工事完成。
	4. 1	養護学校に小学部が設置される。 伊勢崎市立北・三郷中学校を統合し伊勢崎市立第三中学校とする。 豊受幼稚園開園。
	12. 10	豊受幼稚園園舎新築工事完成。
1972	47. 3. 31	宮郷公民館新築工事完成。 境町立境小学校分校廃校。
	4. 1	名和幼稚園開園。
	7. 3	名和小学校校舎焼失。
	10. 1	学制発布100年及び市教育委員会発足20周年を記念して「いせさき教育のあゆみ」を発刊。
	12. 22	移動図書館「わかくさ」巡回開始。
1973	48. 1. 31	名和幼稚園園舎新築工事完成。
	3.	東村立あずま幼稚園園舎竣工（現在地へ移転）。
	3. 20	名和小学校復旧校舎新築工事完成。
	3. 25	豊受公民館新築工事完成。 伊勢崎市今井町集会所新築工事完成。
	6. 15	新潟県寺泊町に伊勢崎佐波臨海学校開校。
	7. 20	伊勢崎市立第三中学校新築工事完成。

1974	49. 7. 20	殖蓮小学校校舎新築工事完成。
	10. 28	三郷小学校校舎新築工事完成。
1975	50. 1. 1	伊勢崎市立北第二小学校が旧伊勢崎市立北中学校跡に開校。
	3. 10	道伝集会所新築工事完成。
	4.	赤堀村立赤堀幼稚園開園（小学校旧校舎使用）。
	10. 23	東村文化協会設立。
	11. 1	赤堀村文化協会設立。
1976	51. 1. 1	伊勢崎市立北第二幼稚園開園。
	3. 20	伊勢崎市立北第二幼稚園園舎新築工事完成。
	12. 31	豊受小学校校舎新築工事完成。
1977	52. 3. 1	伊勢崎市立図書館新館開館。
	3.	赤堀村立幼稚園新園舎開園。
	3. 20	宮子町集会所新築工事完成。
	3. 31	柴町集会所新築工事完成。
	4. 1	伊勢崎市立第一中学校に特殊学級を設置（以後、他の中学校に逐次設置）。境町社会体育館完成。
1978	53. 4. 1	殖蓮第二幼稚園開園（殖蓮幼稚園に併設）。
	7. 31	殖蓮第二小学校校舎新築工事完成。
	8. 2	殖蓮第二幼稚園園舎新築工事完成。
	11.	赤堀村立赤堀中学校新校舎落成式。
1979	54. 1. 1	広瀬小学校開校（南小学校に併設）。
	3. 25	連取町集会所新築工事完成。
	4. 1	広瀬幼稚園開園（南幼稚園に併設）。
	4. 10	学校給食センター米飯施設完成により米飯給食開始。
	6.	赤堀村立赤堀中学校室内運動場新設。
	8. 1	東村総合運動場及び東村社会体育館竣工。
	11. 10	伊勢崎市民体育館落成。スポーツ都市宣言を行う。
	11. 30	広瀬小学校校舎新築工事完成。
1980	55. 3. 20	東村立東小学校校舎竣工（現在地へ移転）。
	3. 25	名和公民館新築工事完成。
	3. 30	広瀬幼稚園新築工事完成。
	10. 9	宮郷中学校校舎新築工事完成。
1981	56. 2. 25	東給食センター竣工。
	3. 31	伊勢崎公民館廃止（7月 解体）。
	4. 1	東村立南小学校開校（旧東小学校校舎使用）。文化会館開館。
	4.	赤堀村学校給食調理場新築。
	8. 3	三郷小学校校舎新築工事完成。
	10. 30	宮郷小学校校舎新築工事完成。
	12. 21	殖蓮中学校校舎新築工事完成。
1982	57. 3. 23	伊勢崎養護学校校舎新築工事完成。
	4. 1	坂東小学校開校。
	4. 1	坂東幼稚園開園。

1983	7. 1	境町流水プール完成。
	58. 2. 11	東村立南小学校校舎竣工（旧東小学校から移転）。
	3. 16	坂東幼稚園新築工事完成。
	3. 25	殖蓮公民館新築工事完成。
	5. 4	群馬県立伊勢崎青少年育成センター開所、県から管理運営を受託。
	7. 27	伊勢崎市教育研究所完成し、伊勢崎市立第一幼稚園から移転。県下初の独立建物となる。
	8. 26	名和小学校校舎新築工事完成。
	9. 28	茂呂小学校校舎新築工事完成。
	10. 15	第38回国民体育大会（あかぎ国体）秋季大会が開催され伊勢崎市はソフトボールとバレーボールの会場となる。
	1984	59. 4. 1
8. 25		日・台中学校バレーボール親善大会が伊勢崎市民体育館で開催され、全台湾と市立第三中学校が対戦。
10. 15		伊勢崎市立第四中学校校舎新築工事完成。
1985	60. 2. 28	「伊勢崎市の文化財」発刊。
	4. 1	赤堀歴史民俗資料館開館。
	9. 7	第40回国民体育大会関東地区大会（ソフトボール・バレーボール競技が伊勢崎市を会場に開催）。
1986	61. 2. 5	伊勢崎市文化協会設立。
	6. 7	境町立図書館現在地に移転。絹の館開館。
	10.	赤堀村町制施行。
1987	62. 3. 10	東村立北小学校校舎竣工。
	3. 25	茂呂公民館新築工事完成。
	4. 1	東村立北小学校開校。
	8. 18	伊勢崎市中学生派遣事業開始（米国ミズーリー州スプリングフィールド市）。
1988	63. 2. 24	殖蓮幼稚園新築工事完成。
	63. 3. 27	東村中央公民館完成。 あずま総合運動公園完成。
	8. 18	伊勢崎市立第二中学校校舎新築工事完成。
	11. 11	生涯学習モデル市町村事業について文部省から指定（3年間）。

〈平成から〉

西暦	年代	主 な 事 項	
1989	平成元.	2. 8	生涯学習推進会議発足。
		3. 23	境町剛志公民館新築工事完成。
		3. 31	伊勢崎市立北第二幼稚園廃園。
		4. 1	境町剛志公民館開館。
		6. 7	境町総合運動場完成。
1990	2.	4. 1	境町武道館開館。
		8.	赤堀町中学生派遣事業開始（米国サウスダコタ州ラピッドシティ市）。
		9. 19	赤堀芸術文化プラザ開館。
1991	3.	3. 29	財団法人伊勢崎市体育協会設立。

	4.	赤堀町立南小学校開校。
	5. 9	東村立東中学校と米国ギャビン中学校生徒派遣事業開始によるギャビン中学校生徒来村。
	11. 6	伊勢崎市立北第二小学校校舎新築工事完成。
1992	4. 8. 5	境町中学生生徒派遣事業開始（米国イリノイ州オーランドパーク市）。
	9. 12	学校週5日制施行開始（第二土曜日のみ）。
1993	5. 3. 22	境町立島小学校校舎全面改築竣工式。
	3. 25	境町東公民館移転新築竣工式。
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎高等学校開校（男女共学となる）。
	5. 29	境町文化協会設立。
1993	5. 6. 30	伊勢崎市第二学校給食センター新築工事完成（9月から給食開始）。
1994	6. 4. 15	境町島村公民館移転新築竣工式。
	8. 26	境町立南中学校校舎全面改築竣工式。
	10. 1	東村営野球場あずまスタジアム完成。 東村営弓道場完成。
1995	7. 3. 15	伊勢崎市南公民館新築工事完成。
	4. 1	子ども発達相談室を市立北小学校内に開設。
1996	8. 3. 29	三郷公民館新築工事完成。
	5. 24	境総合文化センター開館。
	10. 6	東村営サッカースタジアム完成。
	11. 2～5	第9回全国スポーツレクレーション祭、女子ソフトボール大会開催。
1997	9. 3. 15	境町第一学校給食センター完成。
	10. 1	境町絹の館に金井鳥州記念室設置。
1998	10. 3. 13	境町第二学校給食センター完成。
	4. 1	伊勢崎市立幼稚園で2年保育開始。 殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園休園。 図書館広域ネットワーク化。
	5. 3	あずまウォーターランド竣工。
1999	11. 7. 8	東村立図書館オープン。
2000	12. 4.	赤堀町立東小学校開校。
2001	13. 1. 30	宮郷第二小学校校舎・体育館竣工式。
	3. 31	殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園廃園。
	4. 1	宮郷第二小学校開校。
	11. 4	第16回国民文化祭・ぐんま2001 が実施され、伊勢崎市は出身の民謡研究家町田佳聲にちなんで、民謡民舞の祭典を開催する。
2002	14. 4.	完全学校週5日制開始。
2003	15. 2. 20	宮郷幼稚園園舎改築工事完成。
	3.	赤堀町立赤堀中学校新校舎（特別教室）完成。
2004	16. 12.	赤堀町立南小学校校舎増築工事竣工。
	3. 22	殖蓮公民館改築工事完成。
	3. 30	東村立東中学校新校舎竣工。
2005	17. 1. 1	市町村合併により旧町村の幼稚園、小学校、中学校の名称変更。
2006	18. 4. 1	青少年育成センターが県より移管。
2007	19. 4. 1	あずまホールをあずま公民館から分離。

	5. 25	伊勢崎市文化協会設立(旧市町村ごとにあった文化協会の統合)。
2008	20. 4. 1	県立前橋高等養護学校(伊勢崎分校)が旧県立境高等学校に開校。
2009	21. 3. 14	北小学校全面改築竣工式。
	3.	図書館年間貸し出し100万点達成。
	4. 1	四ツ葉学園中等教育学校開校。 北小学校特認校となる。
	11. 29	四ツ葉学園中等教育学校竣工。
2010	22. 6. 30	四ツ葉学園中等教育学校グラウンド完成。
	11. 16	第一中学校体育館耐震補強工事完成。
	12. 10	三郷幼稚園園舎竣工。(園庭の芝生化)
2011	23. 1. 24	北第二小学校体育館竣工。
	3. 25	茂呂小学校校舎増築工事完成。
	8. 3~16	四ツ葉学園中等教育学校の生徒30人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施する。
	10. 12	米国ミズーリ州立大学と海外留学や海外語学研修に関する協定を締結する。
	12. 28	境北中学校体育館耐震補強工事完成。
2012	24. 2. 29	宮郷中学校・赤堀南小学校校舎増築工事、宮郷中学校屋内運動場増築工事完成。
	8. 31	小学校(市内全校)空調整備工事完成。
2013	25. 1. 28	幼稚園(市内全園)空調整備工事完成。
	3. 15	中学校(市内全校)空調整備工事完成。
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎養護学校が群馬県立伊勢崎特別支援学校として県へ移管。

平成25年度

伊勢崎市教育行政方針



宮郷小学校 『1年生を迎える会』

伊勢崎市教育委員会

基本理念

伊勢崎市教育委員会は、人権尊重の精神を基本に、家庭・地域社会への所属感をはぐくみ、郷土を愛する心と国際協調の精神を養い、自ら学び心豊かでたくましい『生きる力』にあふれ、くらしと文化を創造し享受する自立した人づくりを目指して教育行政を進めます。

このため、社会の動向と本市教育の伝統を踏まえ、生涯学習の視点に立った主体的な学習を促し、人間として調和のとれた、創造的で個性を生かした教育の振興を図ります。

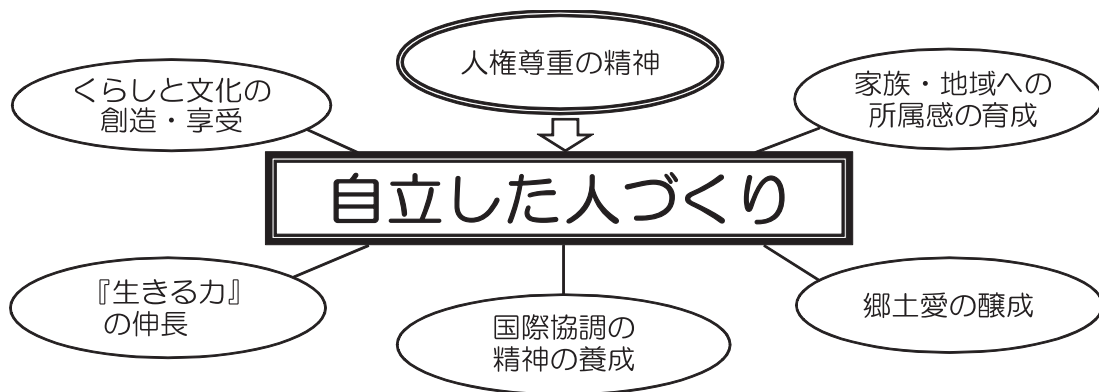
基本方針

伊勢崎市教育委員会は、複雑化・多様化する社会の変化がもたらす各種教育課題に適切に対応するため、基本理念の具現化を目指し、諸施策の推進に努めます。

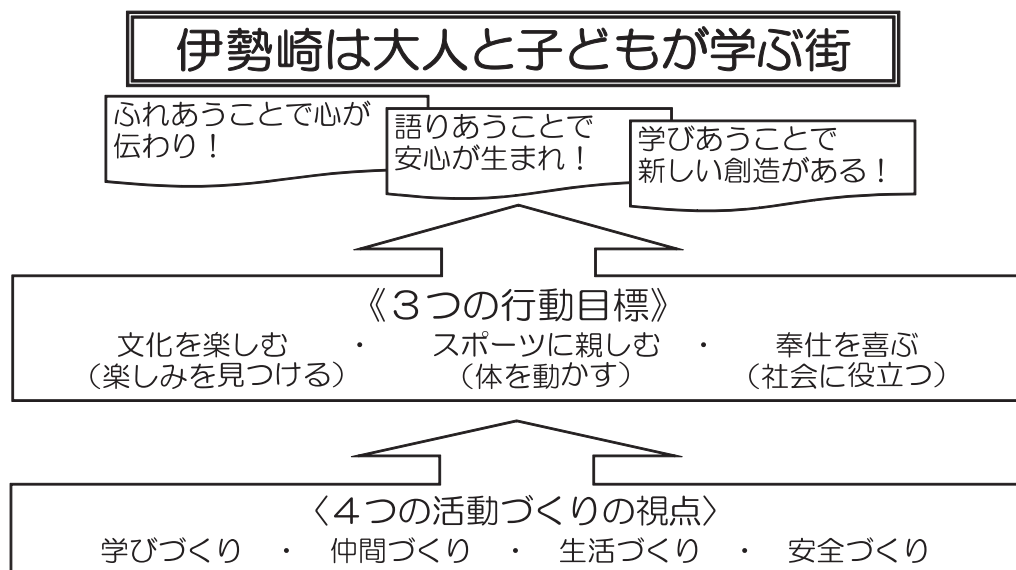
このために、市民参加の学習活動が展開できるよう、家庭・地域社会・学校・関係機関の連携を深め、生涯の各時期に対応した学習の機会の確保、教育条件の整備と学習環境づくりを推進し、『伊勢崎は大人と子どもが学ぶ街』の実現に努めます。

そこで、心の教育を充実し、感性豊かで実践力のある市民の育成に努めるとともに、ゆとりある文化的な生活を実現するため、わたくしたち一人一人が3つの行動目標「文化を楽しむ（楽しみを見つける）・スポーツに親しむ（体を動かす）・奉仕を喜ぶ（社会に役立つ）」を掲げ、その実現を目指して4つの活動づくり「学びづくり・仲間づくり・生活づくり・安全づくり」に取り組みます。

基本理念



基本方針



活動づくりの8施策

1 子どもの成長に応じた学校教育の充実

- (1)学力の向上を図るために、学校と家庭の連携を深め、適切な学習指導と時間の有効活用による基礎学力の習得及び家庭学習の習慣化を身につけさせ、学習の効率性と有効性を高めます。
- (2)国際社会で活躍できる人材を育成するために、教育課程特例校の特性を生かしたカリキュラムの充実を図るとともに、外国語指導助手等の有効活用、海外語学研修の実施、国際理解教育の充実など教育活動の特色化を推進します。
- (3)望ましい勤労観や職業観を醸成するために、調べ学習や職場見学、職場体験を通して仕事への興味・関心を図り、企業や大学と連携したキャリア教育の充実に努めます。

2 心豊かな地域社会の形成

- (1)健全な人間関係と豊かな学校生活を展開するために、学校と家庭・地域の協働により子どもの基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上を図るとともに、いじめや不登校への対策強化に努めます。
- (2)地域の絆で結ばれた住みよい街をつくるために、人権意識の高揚や子どもの健全育成の充実に図れる多様な事業を展開し、家庭や地域の教育力を高めます。

3 市民が主役の生涯学習の充実

- (1)自ら学び、成長し、地域貢献できる人材を育成するために、身近な学びの場を確保し、生涯学習の支援体制を整えます。
- (2)生きがいづくりを推進するために、世代間交流、地域課題、まちづくりなどの多様な現代的課題の学習ニーズに対応すべく教室や各種講座を開催し、学習機会の充実に努めます。
- (3)子どもたちの体験を通じた学びや気づき、親子の絆づくりを大切にするために、体験学習の充実や親子のふれあう機会の拡充を図ります。

4 読書の街づくりの推進

- (1)読書や活字文化の充実を図るために、学校と家庭・地域に読書活動を普及させ、本との出会い、本を介した仲間づくりなどを通して本に親しむ習慣の定着を図ります。
- (2)問題解決能力の育成と家族のふれあいや豊かな心を育むために、ライフステージに応じた情報の提供、子育て世代への読書活動の推奨及び市民協働による図書館活動の充実を図ります。

5 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成

- (1)郷土の歴史や文化を次代に継承するために、先人が残した地域の歴史遺産や文化遺産など価値ある文化財を調査、保存に努めます。
- (2)郷土を愛する心を育むために、地域の伝統文化や指定文化財等の公開と解説、講座の開催を通して普及啓発に努めるとともに、田島弥平旧宅の世界遺産登録を推進します。

6 安心・安全を大切にした健康教育の充実

- (1)生涯を通じて健康で活力ある生活を送るために、学校保健活動や学校給食の充実、食育の推進を図り、子どもの心と体の健康づくりに努めます。
- (2)安全に生活するための基本的な知識や判断力を育てるために、学校と家庭・地域が一体となって学校安全や交通安全をはじめとする安全教育を推進し、安全の確保に努めます。
- (3)子どもの体力・運動能力等に基づいた体力の向上に取り組みます。

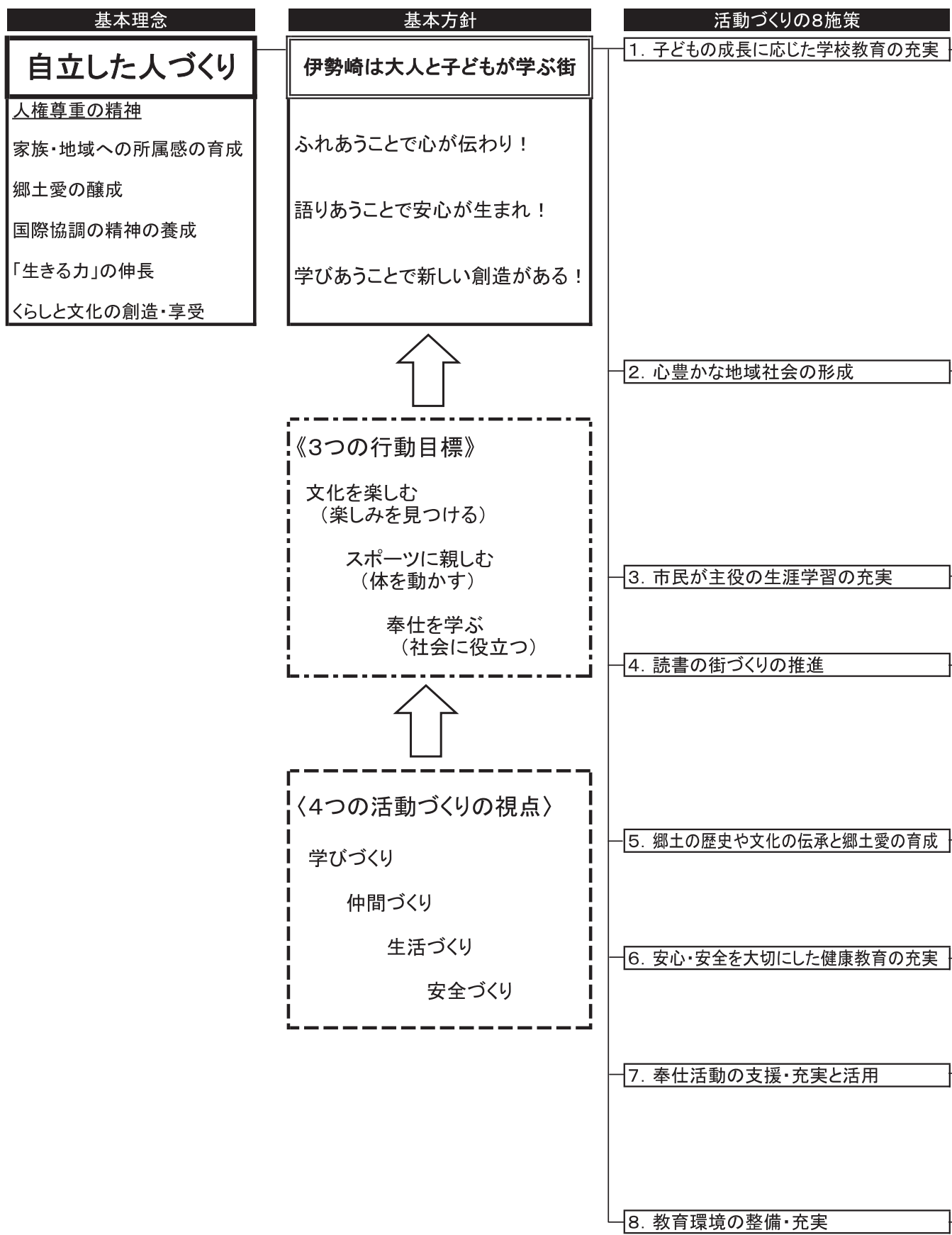
7 奉仕活動の支援・充実と活用

- (1)子どもの夢や希望を喚起するために、地域住民や企業・大学等と協働した特色ある教育活動の展開を通して新しい教育の在り方を模索し、実践します。
- (2)奉仕を喜び、社会に役立つ充実感を育成するために、地域ボランティアの養成と支援を通して自発的な奉仕活動を促し、地域の人材の発掘と活用を図ります。

8 教育環境の整備・充実

- (1)学習環境を改善するために、全ての小・中学校のトイレを全面改修し、洋式化を進めます。また、環境教育の一環としてグリーンカーテンなどのエコ活動に子どもたちと共に取り組みます。
- (2)安心安全な学習空間を創造するために、教育施設の耐震化を進め、バリアフリー化やエコ改修等を行い、建物の長寿命化を図ります。今後、生徒数の増加が予想される地域の中学校を移転・新築します。

平成25年度伊勢崎市教育行政方針体系図



基本目標	具体的な事業方針
効率的かつ効果的な学習方法により学力を向上させます！	<ul style="list-style-type: none"> ①学びの芽生えの育成 ②基礎学力の習得 ③家庭学習の習慣化 ④夢と希望をを実現できる力の育成 ⑤きめ細かな学習指導の充実
英語力と教養を身に付け、世界で活躍できる道を開きます！	<ul style="list-style-type: none"> ①英語コミュニケーション能力の育成 ②伊勢崎から世界を目指すグローバル人材育成 ③国際理解教育の推進
個の適性に即した望ましい勤労観・職業観を育てます！	<ul style="list-style-type: none"> ①将来の生き方を育む教育の推進 ②企業・大学と連携したキャリア教育の推進 ③進路実現を可能にする教育課程の充実
「愛」燦々プランで絆を深め「豊かな心」を育てます！	<ul style="list-style-type: none"> ①生活・学習習慣の確立 ②きれいな学校づくりの推進 ③地域・家庭の絆の強化 ④いじめ・不登校の対策
地域における望ましい人間関係の形成に努めます！	<ul style="list-style-type: none"> ①人権教育・啓発事業の充実 ②子どもの健全育成 ③家庭教育の充実
生きがいとして学べる環境づくりを目指します！	<ul style="list-style-type: none"> ①市民が主役の学習活動の創造 ②いつでも誰もが学べる学習機会の拡充 ③子どもが体験を通して学ぶ機会の拡充
地域や家庭、学校に読書活動を普及します！	<ul style="list-style-type: none"> ①本がつなぐ仲間づくりの推進 ②本との出会いの拡充 ③本を媒介とした人とのふれあいの創出
家族がふれあい、豊かな心を育む街づくりを推進します！	<ul style="list-style-type: none"> ①ライフステージに合わせた支援サービス ②親子読書の推奨・推進 ③市民協働の図書館活動
かけがえのない文化財の保存・活用と継承に努めます！	<ul style="list-style-type: none"> ①国指定史跡化・史跡の保存管理の推進 ②市指定文化財の保存と新規指定の推進 ③指定文化財の普及と地域の歴史・文化の伝承 ④世界遺産登録に向けた支援と協力
いせさき元気プロジェクトで子どもたちの健康をつくり、安全を守ります！	<ul style="list-style-type: none"> ①健康の保持・増進 —元気100点満点— ②健康な体づくりの推進 —元気もりもり— ③食を通じた心身の健康づくり —元気もりもり— ④安心安全な学校生活の確保 —元気が親の願い—
地域の学校いきいきプランで教育活動を充実させます！	<ul style="list-style-type: none"> ①教育改革・いせさき未来会議の推進 ②知的資源としてのスマイルサポーターの活用 ③地域人材によるスマイルサポーターの活用
学んだ成果を活かす意識の醸成を図ります！	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における奉仕活動への支援 ②地域の人材活用の推進
豊かな心を育む学校を創ります！	<ul style="list-style-type: none"> ①学習環境の改善 ②学習空間の確保 ③安心安全な学校環境の整備

1 子どもの成長に応じた学校教育の充実

効率的かつ効果的な学習方法により学力を向上させます!

学びの芽生えの育成

《幼稚園》

○ふたばすくすくプランの充実

- ①ジョイふるタイム
 - ・地域の人たちとの交流
- ②子育てふれあいタイム
 - ・未就園親子の交流、相談

○幼稚園・小学校の連携

- ①絵本に親しむ活動の推進
- ②集団で体を動かす活動の推進

夢と希望を実現できる学力の育成

《中等教育学校》

○確かな学力の育成

- ①英語や数学の少人数学習の実施
- ②朝・放課後・土曜スクールなどの補習学習・発展学習（SUP）の実施
- ③夏季休業中の学習合宿の実施
- ④3年次アチーブメントテストの実施

○自ら学び自ら律する指導の推進

- ①生徒自らが自分の言動を考える指導の徹底
- ②学習や生活等における、生徒が生徒を育てるサポートリーダー制の導入
- ③「自学」「自律」をねらいにした活動の時間の設置

基礎学力の習得

《小・中学校》

○小中9年間の一貫指導の推進

- ①パワーアップタイムの充実
- ②学力向上プリントの活用
- ③読書活動の推進
- ④5W（読む・聞く・考える・書く・話す）を視点とした学習活動、教科分担制、通知表5分類方式の推進

○ステップアップ作戦の実施

- ①小学校の各学年における国語、算数を中核とした基礎学力の確実な習得

○ベイシック作戦の実施

- ①中学校における言語力、計算力、ライティング力の向上

きめ細かな学習指導の充実

《高等学校》

○学習指導方法の充実

- ①数学の習熟度別授業の実施
- ②選択制による少人数指導の実施

○教育課程外時間の有効活用

- ①朝学習や課外授業の実施
- ②個に応じた小論文指導の実施
- ③長期休業中の補習指導の実施

家庭学習の習慣化

《小・中学校》

○家庭学習の習慣化

- ①発達段階に応じた家庭学習の目標時間の設定と実践
 - ・小学校低学年：30分
 - ・小学校中学年：60分
 - ・小学校高学年：90分
 - ・中学生：120分

○やってよかった家庭学習の改善と充実

- ①家庭学習の手引きの活用と授業と連動した宿題の提示
- ②子ども一人一人の頑張りを認め、励ますことによる家庭学習への意欲喚起
- ③子どもの自主的、主体的な取組の促進

1 子どもの成長に応じた学校教育の充実

英語力と教養を身に付け、世界で活躍できる道を開きます！

英語コミュニケーション
能力の育成

《小・中学校》

○伊勢崎独自のシステムで
授業の充実

- ①小学校における教育課程
特例校「英語科」の推進
- ②小中9年間の一貫した
英語教育の推進
- ③外国語指導助手（ALT）
や小学校英語活動支援
助手、中学校英語支援
助手の有効活用

○各学年の到達目標の設定
及び適切な評価

- ①小学校英語チャレンジによ
る達成感や成就感の体得
- ②中学校スピーキングテスト
による自己表現力の向上
- ③中学校英語基本文のト
レーニングメニューで
基礎表現の定着

○海外語学研修の実施

- ①米国ミズーリ州立大学
附属語学学校（ELI）
での現地研修

伊勢崎から世界を目指す
グローバル人材育成

《中等教育学校》

○海外語学研修の実施

- ①米国ミズーリ州立大学
附属語学学校（ELI）
での現地研修

○海外の大学への進学に向
けた具体的な方法の研究

- ①伊勢崎市とミズーリ州立
大学との協定内容の周知
- ②海外の大学進学も含め
た進路指導

○グローバル人材育成に向
けたプログラムの実施

- ①グローバルスタディー
ズキャンプ
・世界で活躍する日本人
講師による特別授業等
の実施
- ②グローバルリーダーズ研修
・米国ミズーリ州立大学
附属語学学校（ELI）
におけるグローバルリー
ダープログラムの実施等

国際理解教育の推進

《高等学校》

○中国安徽省馬鞍山市第二
中学との交流

- ①異文化に関する事前学習
- ②異文化交流の体験

○台湾清傳高級商業学校と
の交流

- ①歓迎会等の体験交流を
とおした相互理解
- ②国際感覚やマナーの養成

個の適性に即した望ましい勤労観・職業観を育てます！

将来の生き方を育む
教育の推進

《小・中学校》

○学習や体験活動を通じた
キャリア教育の推進

- ①仕事調べ、職場見学の
実施
- ②職場体験や奉仕活動等
の実施

企業・大学と連携した
キャリア教育の推進

《中等教育学校》

○生徒の主体性を生かした
計画的なキャリア体験学
習の推進

- ①地元の企業等で働く社
会人へ生徒自らインタ
ビューする「社会人の
取材活動」の実施
- ②首都圏の大学に生徒が
直接訪問する「大学突
撃取材」の実施
- ③早稲田大学と連携し現
代社会の最先端の知識
や技能に触れる「アカデ
ミックキャンプ」の実施

進路実現を可能にする
教育課程の充実

《高等学校》

○進路に応じた履修コース
の設置

- ・文系コース
- ・理系コース
- ・スポーツ系コース

○進路に役立つ各種検定の
上級取得

- ・英語検定、漢字検定等

○キャリア教育の視点に基
づく進路指導・支援の推進

- ①きめ細やかな面談の実施
- ②進路講話や各種説明会
の実施
- ③大学・企業等の見学の実施

2 心豊かな地域社会の形成

「愛」 燦々プランで絆を深め「豊かな心」を育てます！

生活・学習習慣の確立

- 小中一貫生活・学習ルールの徹底
 - ①学校と家庭との協働によるルールに基づく規律ある学校づくり
 - ②朝の規律ある学校生活で規範意識の向上
 - ③学校での基本的な生活習慣や学習習慣の定着（話を聞く、忘れ物をしない等）
- じっくり話そう会議の充実
 - ①子どもと教師と保護者が互いの思いを交わす機会や場の拡充

きれいな学校づくりの推進

- 身の回りの整理・整頓
 - ①5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を視点にした学校生活の展開
- きれいな心づくり
 - ①気持ちのこもったあいさつの実践
 - ②心のノートや生活ノート等の活用による一日の振り返り活動の実施
 - ③トイレの環境整美を通じたマナーづくりや思いやりの心の育成

地域・家庭の絆の強化

- 地域の絆づくり
 - ①あいさつ運動やクリーン作戦等を通じたモラルの向上
- 早寝・早起き・朝ごはん、いせさき家族で「いただきます」の日の推進
 - ①学校と家庭との協働による生活習慣の確立と家族の絆づくりの推進
- 携帯電話3つの基本ルールの徹底
 - ①小中学生は携帯電話を持たないことを原則とする。
 - ②持たせる場合には保護者が責任をもつ。
 - ③伊勢崎版「携帯電話利用ルール」を守る。

いじめ・不登校の対策

- 生徒指導体制の充実
 - ①スクールカウンセラーや学習生活相談員等の活用
- 適応指導教室の活用推進
 - ①個別の学習指導による基礎学力の補充
 - ②スポーツ活動等による集団生活への適応
- サポートケース会議の活用推進
 - ①臨床心理士等による不登校児童生徒の自立及び学校復帰への支援



整理整頓された教室



トイレ清掃（四ツ葉学園中等教育学校）

2 心豊かな地域社会の形成

地域における望ましい人間関係の形成に努めます!

人権教育・啓発事業の充実

- 人権問題学習講座等の開催
 - ①地区別人権学習会の充実
 - ②夏休み親子人権学習会の充実
 - ③多様な人権問題学習会等の実施
- 児童生徒作品を活用した人権啓発活動の充実
 - ①人権啓発標語・ポスターの募集・活用
 - ・優秀作品の表彰、展示を通じた人権啓発
 - ②人権啓発カレンダーの作成・配布
 - ・児童生徒作品の紹介を通じた人権啓発

子どもの健全育成

- 「少年の主張」伊勢崎市大会の開催
 - ①発表者選出に向けた各中学校全生徒の取組の充実
- 放課後子ども教室の推進
 - ①地域社会の中での学習、体験と交流

家庭教育の充実

- PTA活動と連携した家庭教育事業の推進
 - ①家庭教育人権教育推進事業の実施
 - ②家庭教育講演会の実施
 - ③早寝・早起き・朝ごはん、いせさき家族で「いただきます」の日、「家族で家読を」運動、トイレピカピカプロジェクトの推進
 - ・生活習慣の徹底・確立（整理整頓・身だしなみ・言葉遣い）
 - ・思いやりの心の醸成
 - ・マナーの向上



人権啓発ポスター優秀作品展



放課後子ども教室（北小学校）



少年の主張伊勢崎市大会

3 市民が主役の生涯学習の充実

生きがいとして学べる環境づくりを目指します！

市民が主役の学習活動の創造

- 生涯学習支援ボランティア
まなびい先生事業の充実
 - ①自主企画事業「まなびい塾」の拡充
- 1行政区1楽習の推進
 - ①地域の課題に即した学習機会の充実
 - ②生涯学習推進員との連携を図り「出前講座」や「まなびい先生」を活用した身近な学びの確保
- 生涯学習大会の拡充
 - ①市民の学びの成果を発表する場と市民が集う交流の場としての生涯学習大会の実施

いつでも誰もが学べる学習機会の拡充

- 公民館等での学習機会の充実
 - ①地域の特性を生かし、人と人とのつながりを重視した世代間の交流を目指した教室、講座の開催
 - ②父親の子育て参加を促進する親子参加型の家庭教育講座等の開催
 - ③男性の積極的な参加を促せる教室、講座の開催
 - ④読書の街いせさきを推進する本に親しむ講座の開催
 - ⑤若者の積極的な参加を促せる特色ある学級、講座の開催
 - ⑥サークル活動の成果発表等の文化祭や作品展等開催への支援
 - ⑦広瀬生涯学習館での地域の外国人との交流を目的とした外国語講座（スペイン語、ポルトガル語）の開催

子どもが体験を通して学ぶ機会の拡充

- まゆドーム等での子どもへの学習機会の提供
 - ①まゆドーム「親子ふれあい事業」としての自然や環境への興味を促す体験学習の拡充
 - ②青少年育成センターでの「夏休みおもしろ教室」等の宿泊型体験教室の拡充



生涯学習大会



親子ふれあい教室（あずま公民館）

4 読書の街づくりの推進

地域や家庭、学校に読書活動を普及します！

本がつながり仲間づくりの推進

- 読書サポーター活動の促進
 - ①公民館やまゆドーム等での読み聞かせ
 - ②読書講座の開催
 - ③親子でぴよんぴよん事業
 - ④読書まっりの開催
 - ⑤スキルアップ講座の開催〈読み聞かせ活動への支援〉
 - ⑥読書ボランティア交流会の開催
 - ⑦読み聞かせスタンプラリーでの読み聞かせ
- 読書の街いせさき推進会議の推進
 - ①読書の街いせさき推進会議・読書サポーターネットワーク会議合同視察研修の実施

本との出会いの拡充

- 地域ぐるみの読書活動の推進
 - ①いせさき街角文庫の拡充
 - ②「伊勢崎市親子が推薦する図書101」の推奨
 - ③幼稚園・保育園での読み聞かせ
 - ④まゆドームでの読み聞かせ
 - ⑤読み聞かせスタンプラリーの開催

本を媒介とした人とのふれあいの創出

- 「家族で家読を」運動の推進
 - ①親子でぴよんぴよん事業
 - ②読書マラソンカードの活用
 - ③「伊勢崎市親子が推薦する図書101」読書感想文の募集
 - ④親子ふれあい読書新聞の募集

家族がふれあい、豊かな心を育む街づくりを推進します！

ライフステージに合わせた支援サービス

- ライフステージに合わせた課題解決支援サービスの充実
 - ①ビジネス支援コーナーの設置
 - ・仕事に役立つ情報を、関係各機関と連携し提供する。
 - ②子育て支援コーナーの設置
 - ・子育てに役立つ情報を、市内の子育て関係機関と連携し提供する。

親子読書の推奨・推進

- ブックスタートの実施・発展
 - ①ブックスタートの実施
 - ・読み聞かせと絵本の配付
 - ・子育て支援のメッセージ伝達
 - ②ブックスタートを発展
 - ・親子で参加できる事業（読み聞かせ、手作り絵本教室など）

市民協働の図書館活動

- 市民ボランティアを発掘・活用
 - ①定期的なボランティア
 - ・書架の整理
 - ・読み聞かせ（館内・ブックスタート等）
 - ③随時のボランティア〈イベント等〉
 - ・コンサートの演奏
 - ・講演会の講師
 - ・展示会の開催協力 等

5 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成

かけがえのない文化財の保護と活用に努めます！

国指定史跡化・史跡の保存管理の推進

- 三軒屋遺跡の国指定史跡化
 - ①国指定の準備・申請
 - ②レーダー探査の実施
 - ③啓発活動の推進
- 史跡女堀保存整備活用事業の推進
 - ①遺構確認調査の実施
 - ②調査整備委員会の開催

市指定文化財の保存と新規指定の推進

- 文化財指定の推進
 - ①文化財への新規指定
- 指定文化財の保存管理
 - ①文化財の点検と保存整備
 - ②郷土文化研究会との連携

指定文化財の普及と地域の歴史・文化の伝承

- 文化財普及啓発事業の推進
 - ①民間ホールでの埋蔵文化財展の開催
 - ②文化財説明板等の補修整備
- 赤堀歴史民俗資料館の充実
 - ①企画展・季節展事業の実施
 - ②歴史文化講座の充実

世界遺産登録に向けた支援と協力

- 史跡田島弥平旧宅の保存・管理の推進
 - ①史跡環境整備の推進
 - ②世界遺産登録との連携
- 田島弥平旧宅整備活用事業の推進
 - ①整備活用委員会の開催
 - ②建物調査の実施



上空から見た三軒屋遺跡



田島弥平旧宅案内所

6 安心・安全を大切にした健康教育の充実

いせさき元気プロジェクトで子どもたちの健康をつくり、安全を守ります！

健康の保持・増進
—元気100点満点—

- 計画的・組織的な学校保健活動の推進
 - ①基本的な生活習慣の確立、心の健康など各校の健康課題の解決に向けた学校保健計画の作成
 - ②子どもの変容や取組の過程を全職員で評価、改善
 - ③児童生徒及び教職員の適正な健康診断、保健管理の実施
- 感染症、食中毒等の予防対策の徹底
 - ①心身の健康観察の充実
 - ②保健指導の充実
 - ③適切な環境の維持及び改善
- 性に関する教育・薬物乱用防止教育の推進
 - ①小中9年間を見通した指導計画の作成
 - ②発達段階に応じた指導の実施

いせさき家族で「いただきます」の日
第1回夏休み親子作品コンテスト授賞式**健康な体づくりの推進**
—元気もりもり—

- 安心安全な学校給食の提供
 - ①学校参画による食材栽培体験活動の推進
 - ②地場産農作物の利用拡大
- 児童・生徒の体力の状況に即した指導の充実
 - ①全国体力・運動能力、運動習慣等の調査結果の活用
- 体育主任会等との連携による効果的な体力づくりの啓発
 - ①体力アップカードの活用
- 継続的な体力向上に向けた環境づくり
 - ①業前・業間運動や部活動の活用



薬物乱用防止教育

食を通した心身の健康づくり
—元気もりもり—

- 食に関する年間指導計画を活用した指導実践
 - ①学校栄養職員による食に関する指導の推進
 - ②学校給食を活用した指導の充実
- いせさき家族で「いただきます」の日の推進
 - ①家族の絆を深める一家団らんの時間の創出
 - ②心の居場所づくりを推進
- 食育啓発
 - ①食育の理解を深めるイベント開催
 - ②ホームページの充実

安心安全な学校生活の確保
—元気が親の願い—

- 災害・緊急時等の対応訓練の充実
 - ①災害対応マニュアルに基づく地域や保護者と連携した避難訓練の実施
 - ②訓練を振り返り、評価で明らかになった成果・課題に対するマニュアルの見直し
- 通学路の安全対策
 - ①学校・地域・保護者が連携した交通、防犯上の危険箇所調査の実施及び安全マップの作成
 - ②安全マップと連動した通学路の見直し
 - ③職員・保護者・地域安全ボランティアが協働した巡回及び安全指導の徹底
- 普通救命講習会の受講
 - ①受講率100%を目指した講習会の開催

7 奉仕活動の支援・充実と活用

地域の学校いきいきプランで教育活動を充実させます!

教育改革・いせさき未来会議の推進

- 教育改革・いせさき未来会議の充実
 - ①未来志向で教育改革の方向性を検討、提言

知的資源としてのスマイルサポーターの活用

- 企業や大学のカリキュラムパートナーと協働した教育活動の実施
 - ①より質の高い体験や学習を目指した教育活動の実施
- 「未来力」学習講座の実施
 - ①全ての学校、学年での意図的・計画的な実施
 - ②子どもたちの夢づくり、目標づくりの支援

地域人材によるスマイルサポーターの活用

- 学校支援ボランティアと協働した教育活動の実施
 - ①ボランティアリーダーを核とした組織的教育活動の実施
 - ②コミュニティスクールの拡充

学んだ成果を活かす意識の醸成を図ります!

地域における奉仕活動への支援

- 公民館事業等でのボランティア養成講座の開催
 - ①AED講習会等の開催
- 公民館のボランティアサークルへの支援
 - ①地区文化祭・作品展等の開催への支援
- 生涯学習支援ボランティアまなびい先生への支援
 - ①自主企画事業における会場の提供と広報活動

地域の人材活用の推進

- 生涯学習支援ボランティアまなびい先生、読書サポーター、機織ボランティア等としての活用
 - ①市民の要請に応じた事業での活用
 - ②まなびい先生の自主企画事業
 - ③読書まつりの運営(読書サポーター)
 - ④イベントにおける読み聞かせ(読書サポーター)
- 図書館ボランティアとしての活用
 - ①読み聞かせボランティア
 - ②イベントボランティア
 - ③書架の整理ボランティア等
- まゆドーム「親子ふれあい事業」での活用
 - ①伝承的な事業
 - ・もちつき体験、田植え体験、豆まき、お正月遊びをしよう
 - ②自然と関わる事業
 - ・家族でジャガイモ作り

8 教育環境の整備・充実

豊かな心を育む学校を創ります！

学習環境の改善

- トイレ改修整備
 - ①トイレ改修設計
 - ・小学校・中学校の計画
 - ②トイレ改修工事
 - ・平成26年度より順次実施
- グリーン作戦の展開
 - ①グリーンカーテンの設置
 - （全校へゴーヤ・朝顔等の配布）
 - ②散水の指導
 - ③通風による換気指導
 - ④節電指導など

学習空間の確保

- 赤堀中学校の整備
 - ①学校設計
 - ・実施設計
 - ・周辺環境の整備計画
 - ②学校建設
 - ・校舎、体育館建設事業（平成25・26年度）

安心安全な学校環境の整備

- 耐震補強工事
 - ・境小学校校舎
 - ・境采女小学校校舎
 - ・殖蓮第二小学校体育館
 - ・広瀬小学校体育館
 - ・第三中学校体育館
 - ・第一幼稚園園舎
- 耐震補強工事設計委託
 - ・広瀬小学校校舎
 - ・境東小学校校舎
 - ・豊受小学校校舎
 - ・殖蓮第二小学校校舎
 - ・殖蓮小学校校舎
 - ・宮郷中学校体育館
 - ・第三中学校校舎
 - ・南幼稚園園舎
 - ・あかぼり幼稚園園舎
 - ・あずま幼稚園園舎



宮郷小学校プール改築建築工事



境西中学校体育館耐震工事

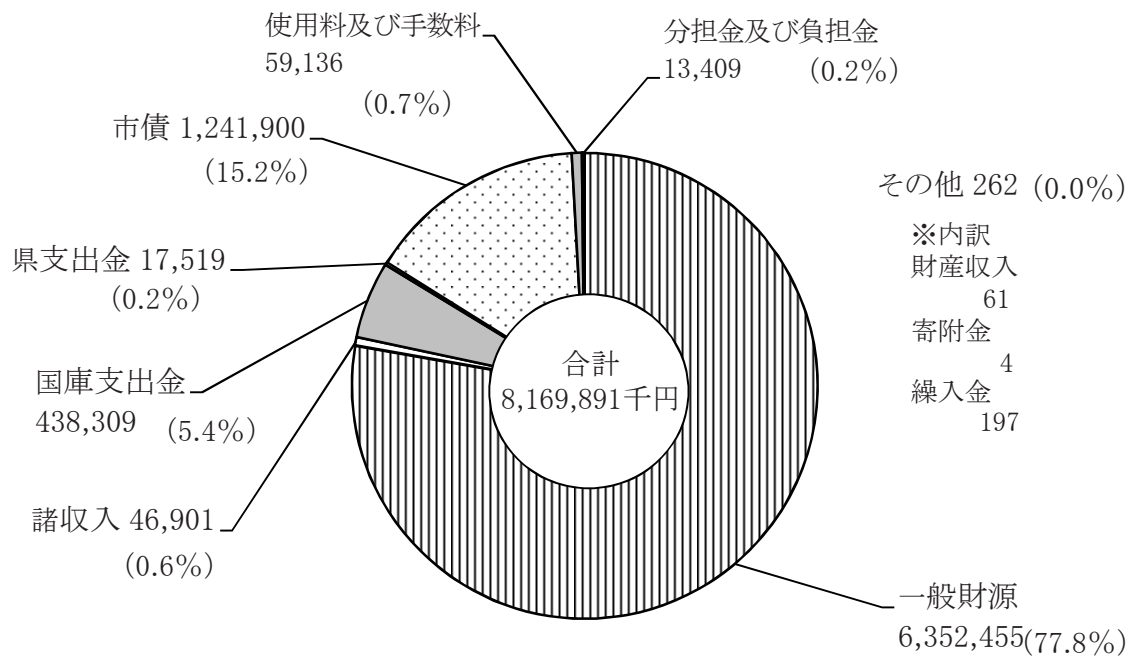


宮郷中学校グラウンド整備事業

平成25年度教育費に係る一般会計予算

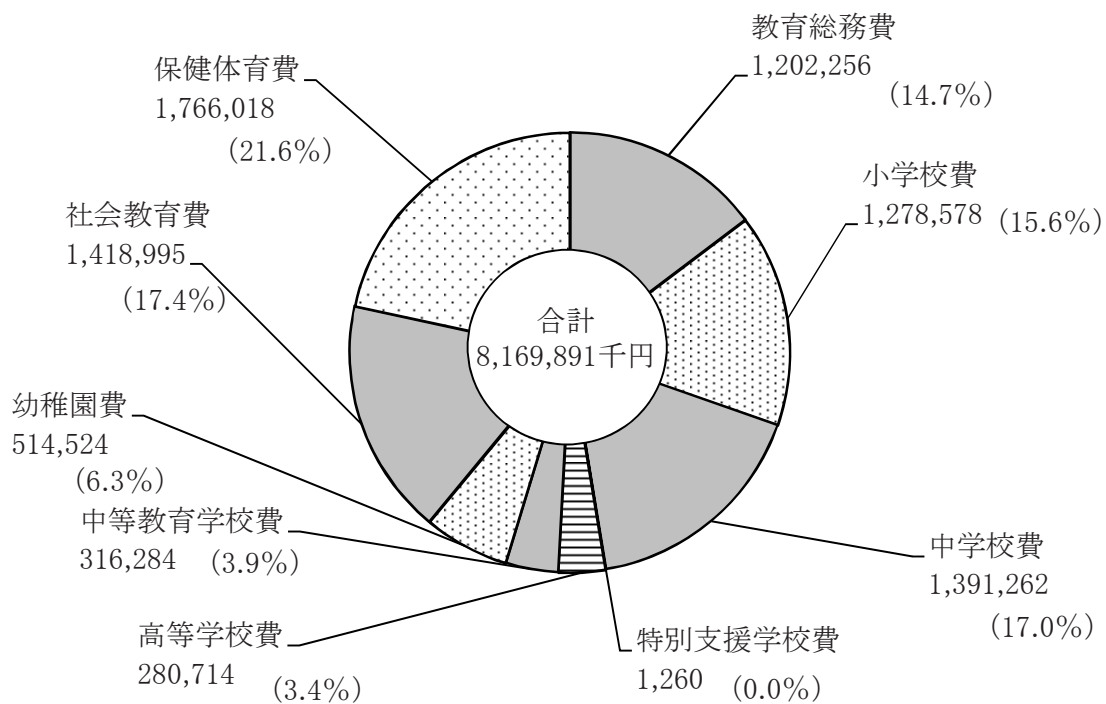
歳入

(単位:千円)



歳出 (給与等を除く)

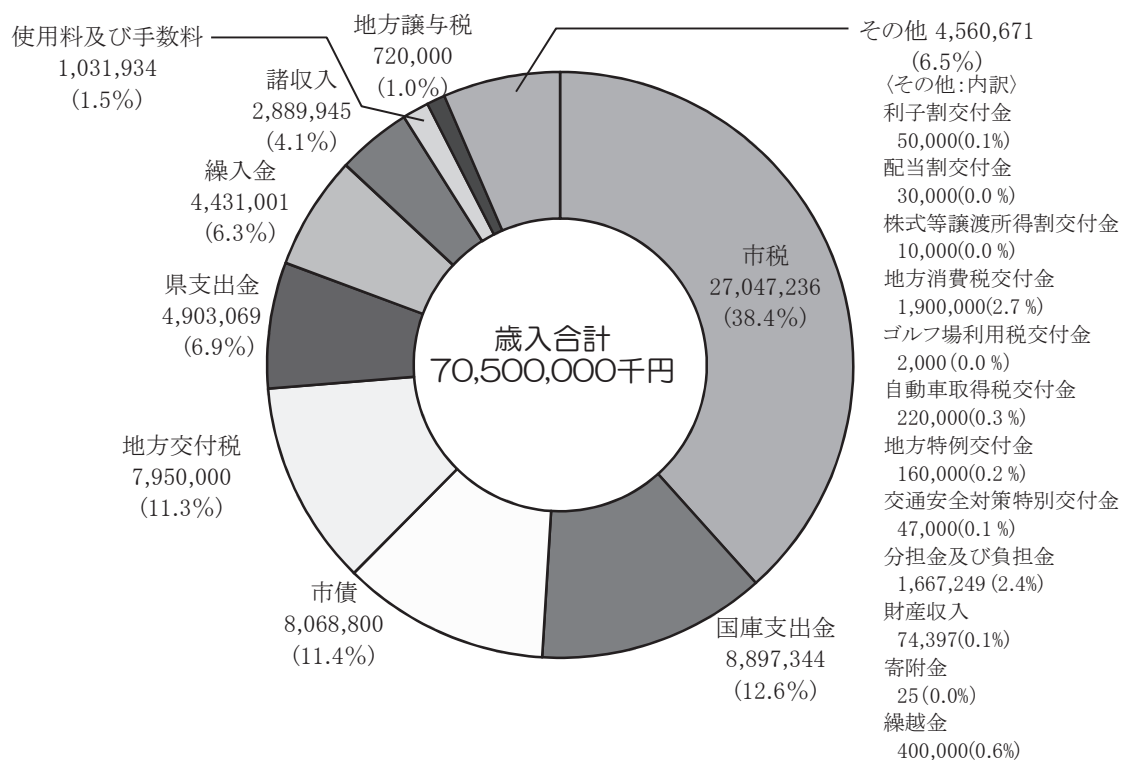
(単位:千円)



平成25年度伊勢崎市一般会計予算

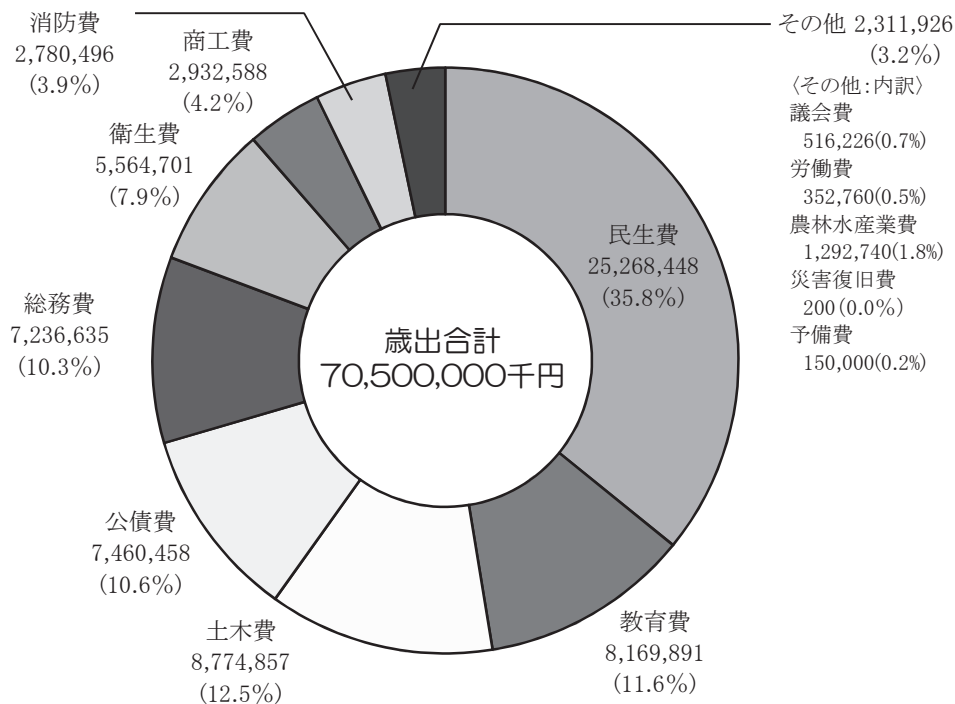
歳入

(単位:千円)



歳出

(単位:千円)



平成25年度 教育費項目別予算

項 目	平成25年度(A)		平成24年度(B)		比較 (A)-(B)	前年度比 (A) / (B)	平成24年度 決算見込額
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比			
1 教育総務費	千円 1,202,256	% 14.72	千円 1,165,941	% 13.11	千円 36,315	% 103.11	千円 1,230,035
1 教育委員会費	4,572	0.06	4,787	0.05	-215	95.51	4,542
2 事務局費	838,905	10.27	806,169	9.07	32,736	104.06	885,971
3 教育指導費	300,104	3.67	297,750	3.35	2,354	100.79	284,166
4 教育研究所費	33,776	0.41	34,584	0.39	-808	97.66	35,399
5 臨海学校費	24,899	0.30	22,651	0.25	2,248	109.92	19,957
2 小学校費	1,278,578	15.65	2,221,937	24.99	-943,359	57.54	2,117,429
1 学校管理費	996,901	12.20	1,803,813	20.29	-806,912	55.27	1,715,893
2 教育振興費	281,677	3.45	283,124	3.18	-1,447	99.49	271,536
3 学校建設費	0	0.00	135,000	1.52	-135,000	0.00	130,000
3 中学校費	1,391,262	17.03	1,619,111	18.21	-227,849	85.93	2,003,927
1 学校管理費	421,775	5.16	399,013	4.49	22,762	105.70	985,751
2 教育振興費	195,887	2.40	239,640	2.70	-43,753	81.74	227,743
3 学校建設費	773,600	9.47	980,458	11.03	-206,858	78.90	790,433
4 特別支援学校費	1,260	0.02	58,095	0.65	-56,835	2.17	85,988
学校管理費	0	0.00	47,049	0.53	-47,049	0.00	78,127
1 教育振興費	1,260	0.02	11,046	0.12	-9,786	11.41	7,861
5 高等学校費	280,714	3.44	414,270	4.66	-133,556	67.76	329,328
1 高等学校総務費	224,783	2.75	354,802	3.99	-130,019	63.35	273,118
2 高等学校管理費	40,112	0.49	41,489	0.47	-1,377	96.68	39,429
3 教育振興費	15,819	0.19	17,979	0.20	-2,160	87.99	16,781
6 中等教育学校費	316,284	3.87	133,706	1.50	182,578	236.55	214,544
1 中等教育学校総務費	281,215	3.44	108,234	1.22	172,981	259.82	190,873
2 学校管理費	19,398	0.24	10,847	0.12	8,551	178.83	9,758
3 教育振興費	15,671	0.19	14,625	0.16	1,046	107.15	13,913
7 幼稚園費	514,524	6.30	526,336	5.92	-11,812	97.76	516,480
1 幼稚園費	514,524	6.30	526,336	5.92	-11,812	97.76	516,480
8 社会教育費	1,418,995	17.37	1,260,462	14.18	158,533	112.58	1,190,759
1 社会教育総務費	938,965	11.49	896,472	10.08	42,493	104.74	843,932
2 公民館費	154,272	1.89	124,194	1.40	30,078	124.22	122,571
3 図書館費	180,139	2.20	141,598	1.59	38,541	127.22	137,131
4 青少年対策費	22,951	0.28	24,148	0.27	-1,197	95.04	22,149
5 文化財保護費	122,668	1.50	74,050	0.83	48,618	165.66	64,976
9 保健体育費	1,766,018	21.62	1,490,977	16.77	275,041	118.45	1,613,758
1 保健体育総務費	1,021,255	12.50	1,048,167	11.79	-26,912	97.43	1,025,750
2 体育施設費	744,763	9.12	442,810	4.98	301,953	168.19	588,008
計	8,169,891	100.00	8,890,835	100.00	-720,944	91.89	9,302,248

教育費年度別決算額一覽

項 目	年 度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度 (見込み)
		千円	千円	千円	千円
1 教育総務費		1,213,877	1,107,146	1,250,441	1,230,035
1 教育委員会費		4,209	4,406	4,471	4,542
2 事務局費		874,187	759,584	899,689	885,971
3 教育指導費		279,734	284,983	288,116	284,166
4 教育研究所費		33,976	35,935	37,029	35,399
5 臨海学校費		21,771	22,238	21,136	19,957
2 小学校費		896,485	1,191,658	1,069,361	2,117,429
1 学校管理費		589,997	548,996	539,061	1,715,893
2 教育振興費		302,992	270,983	363,811	271,536
3 学校建設費		3,496	371,679	166,489	130,000
3 中学校費		508,953	598,306	1,121,078	2,003,927
1 学校管理費		321,093	400,771	375,008	985,751
2 教育振興費		187,860	177,304	200,516	227,743
3 学校建設費		0	20,231	545,554	790,433
4 特別支援学校費		71,431	63,778	54,855	85,988
1 学校管理費		59,520	52,783	43,718	78,127
2 教育振興費		11,911	10,995	11,137	7,861
3 学校建設費		0	0	0	0
5 高等学校費		402,802	395,516	386,675	329,328
1 高等学校総務費		350,663	340,523	331,788	273,118
2 高等学校管理費		33,061	38,565	36,940	39,429
3 教育振興費		19,078	16,428	17,947	16,781
6 中等教育学校費		840,618	147,111	131,159	214,544
1 中等教育学校総務費		32,306	57,508	104,512	190,873
2 学校管理費		4,841	5,629	6,594	9,758
3 教育振興費		23,325	16,511	20,053	13,913
4 教育建設費		780,146	67,463	0	0
7 幼稚園費		515,247	619,568	493,989	516,480
1 幼稚園費		515,247	493,809	493,989	516,480
2 幼稚園建設費		0	125,759	0	0
8 社会教育費		1,196,328	1,292,501	1,233,917	1,190,759
1 社会教育総務費		340,107	880,147	874,499	843,932
2 社会教育施設費		530,825	0	0	0
3 公民館費		126,832	161,460	113,138	122,571
4 図書館費		123,925	146,967	152,704	137,131
5 青少年対策費		14,554	23,850	23,084	22,149
6 文化財保護費		60,085	80,077	70,492	64,976
9 保健体育費		1,531,856	1,426,939	1,757,773	1,613,758
1 保健体育総務費		904,331	1,043,646	981,414	1,025,750
2 体育施設費		627,525	383,293	776,359	588,008
計		7,177,597	6,842,523	7,499,248	9,302,248

Ⅱ 教育施設



境西中学校体育館の耐震補強



宮郷小学校のプール改築



豊受小学校体育館の耐震補強

教育施設一覽

1 幼稚園

区 分	所 在 地	創 立 年 月 日	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数			教 職 員 数		
				男 人	女 人	計 人	教 員		
							男 人	女 人	計 人
第 一 幼 稚 園	曲輪町24番26号	明治23年 5月12日	2	21	13	34		5	5
南 幼 稚 園	上泉町116番地	昭和18年11月 1日	2	19	15	34		3	3
殖 蓮 幼 稚 園	上植木本町2740番地2	昭和25年 9月 1日	2	29	28	57		5	5
茂 呂 幼 稚 園	茂呂町二丁目2139番地1	昭和25年 6月21日	2	12	17	29	(1)	3	4
三 郷 幼 稚 園	波志江町1067番地	昭和30年 4月 1日	2	17	14	31	(1)	3	4
宮 郷 幼 稚 園	田中島町1486番地8	昭和31年 4月 1日	2	25	27	52		4	4
名 和 幼 稚 園	堀口町260番地	昭和47年 4月 1日	2	14	13	27		3	3
豊 受 幼 稚 園	下道寺町163番地	昭和46年 4月 1日	2	5	16	21		3	3
あ か ぼ り 幼 稚 園	西久保町二丁目100番地	昭和50年 4月 1日	4	47	63	110		7	7
あ ず ま 幼 稚 園	東町2672番地1	昭和44年 4月 1日	4	55	45	100		7	7
合 計			24	244	251	495	(2)	43	45

2 小学校

北 小 学 校	曲輪町28番24号	明治 6年 6月 9日	17	225	202	427	11	19	30
南 小 学 校	上泉町310番地	昭和 5年 4月 1日	14	188	201	389	7	14	21
殖 蓮 小 学 校	上植木本町2763番地	明治 6年11月 2日	25	391	348	739	11	23	34
茂 呂 小 学 校	茂呂町二丁目2169番地1	明治 6年11月 5日	28	384	349	733	13	24	37
三 郷 小 学 校	波志江町1620番地	明治 7年 2月28日	26	372	366	738	14	20	34
宮 郷 小 学 校	田中島町1475番地4	明治17年11月 6日	31	438	432	870	14	25	39
名 和 小 学 校	堀口町502番地1	明治 7年 2月	21	266	229	495	9	17	26
豊 受 小 学 校	馬見塚町1130番地	明治 7年 4月 7日	23	313	328	641	11	20	31
北 第 二 小 学 校	宗高町125番地	昭和50年 1月 1日	12	129	116	245	8	10	18
殖 蓮 第 二 小 学 校	下植木町1203番地	昭和53年 1月 1日	17	227	229	456	11	14	25
広 瀬 小 学 校	新栄町4074番地1	昭和54年 1月 1日	25	357	345	702	12	24	36
坂 東 小 学 校	除ヶ町422番地	昭和57年 4月 1日	20	271	265	536	11	16	27
宮 郷 第 二 小 学 校	連取町3069番地1	平成13年 4月 1日	33	454	458	912	16	29	45
赤 堀 小 学 校	西久保町一丁目72番地	昭和22年 4月 1日	25	337	326	663	12	22	34
赤 堀 南 小 学 校	堀下町264番地1	平成 3年 4月 1日	21	330	254	584	9	18	27
赤 堀 東 小 学 校	香林町一丁目260番地2	平成12年 4月 2日	17	202	229	431	10	14	24
あ ず ま 小 学 校	東町2770番地	明治 6年 7月15日	21	283	278	561	11	19	30
あ ず ま 南 小 学 校	三室町4290番地	昭和56年 4月 1日	23	320	321	641	12	19	31
あ ず ま 北 小 学 校	国定町二丁目1627番地	昭和62年 4月 1日	18	236	242	478	9	15	24
境 小 学 校	境515番地	明治 7年 3月 1日	15	190	153	343	9	15	24
境 采 女 小 学 校	境下淵名2020番地	明治22年 4月 1日	17	245	192	437	10	13	23
境 剛 志 小 学 校	境下武士831番地	明治 6年11月20日	17	221	213	434	9	14	23
境 島 小 学 校	境島村1968番地40	明治 6年 8月 8日	3	12	7	19	4	2	6
境 東 小 学 校	境米岡253番地2	昭和32年11月 1日	13	182	134	316	8	11	19
合 計			482	6,573	6,217	12,790	251	417	668

3 中学校

第 一 中 学 校	茂呂町一丁目24番地1	昭和40年 4月 1日	18	285	276	561	18	15	33
第 二 中 学 校	堀口町237番地1	昭和42年 4月 1日	19	309	325	634	20	16	36
第 三 中 学 校	波志江町1903番地1	昭和46年 4月 1日	19	312	327	639	23	14	37
第 四 中 学 校	下道寺町26番地	昭和59年 4月 1日	20	303	305	608	22	17	39
殖 蓮 中 学 校	上植木本町2152番地2	昭和22年 4月29日	18	281	273	554	22	14	36
宮 郷 中 学 校	田中島町1065番地	昭和22年 4月29日	26	470	398	868	30	18	48
赤 堀 中 学 校	西久保町二丁目398番地	昭和22年 4月 1日	23	373	340	713	24	20	44
あ ず ま 中 学 校	東町2707番地2	昭和22年 4月29日	24	385	371	756	27	19	46
境 北 中 学 校	境下淵名2011番地1	昭和22年 1月 1日	8	106	118	224	10	7	17
境 西 中 学 校	境下武士872番地2	昭和22年 4月29日	8	116	107	223	11	6	17
境 南 中 学 校	境188番地	昭和39年 4月 1日	11	197	172	369	13	11	24
合 計			194	3,137	3,012	6,149	220	157	377

4 高等学校

伊 勢 崎 高 校	上植木本町1702番地1	昭和29年 4月 1日	5	89	206	295	13	5	18
-----------	--------------	-------------	---	----	-----	-----	----	---	----

平成25年5月1日現在

事務員			教職員数			校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
県職 人	市職 人	計 人	労務技士	栄養教諭 栄養職員	合計				
			(1)		6	3,251	1,045		
			(1)		4	3,409	849		
			(1)		6	4,254	681		
			(1)		5	3,966	592		
			(1)		5	1,733	370		
			(1)		5	3,400	904		
			(1)		4	3,653	689		
			(1)		4	5,435	748		
			(1)		8	4,781	965		
			1		8	7,823	976		
			1(9)		55	41,705	7,819		

2		2	(1)		33	23,697	7,421	1053
1		1	(1)		23	26,101	5,204	900
1		1	2		37	28,059	6,343	2,222
1		1	(1)		39	24,705	5,853	895
1		1	(1)	2	38	32,168	5,168	900
2		2	(1)		42	29,482	6,060	910
1		1	(1)		28	32,188	5,405	891
1		1	(1)		33	34,284	5,700	891
1		1	(1)		20	16,513	3,685	760
1		1	1		27	33,319	5,319	870
1		1	(1)		38	31,800	6,478	868
1		1	(1)		29	32,999	5,022	900
2		2	(1)		48	31,802	7,351	1,393
1		1	(1)		36	16,122	4,949	844
1		1	(1)		29	18,788	4,543	924
1		1	1	2	28	28,223	4,559	1,116
1		1	(1)	2	34	28,439	5,231	965
1		1	1		33	27,596	4,765	898
1		1	1		26	26,478	4,305	908
1		1	(1)		26	25,191	4,905	1,008
1		1	(1)	1	26	22,416	4,674	1,100
1		1	(1)		25	15,406	4,395	750
1		1	(1)		8	12,518	1,239	732
1		1	(1)		21	15,323	4,090	746
27		27	6(19)	7	727	613,617	122,664	23,444

1		1	(1)		35	38,323	6,128	1,442
2		2	(1)	2	41	48,551	7,715	1,450
1		1	(1)		39	38,385	6,381	1,484
1		1	(1)		41	43,976	7,602	1,450
1		1	(1)		38	38,919	6,824	1,450
2		2	(1)		51	50,727	6,996	1,559
2		2	(1)		47	22,966	6,132	833
2		2	(1)		49	36,339	8,832	1,495
1		1	(1)		19	30,857	4,283	1,179
1		1	(1)		19	26,385	3,627	1,159
1		1	(1)	1	27	29,306	5,598	1,205
15		15	(11)	3	406	404,734	70,118	14,706

		0	2(1)		21	59,681	7,461	4,021
--	--	---	------	--	----	--------	-------	-------

()内は1日7時間45分未満勤務者。面積は施設台帳による。

5 中等教育学校

区 分	所 在 地	創 立 年 月 日	学 級 数	児 童 ・ 生 徒 数			教 職 員 数		
				男	女	計	男	女	計
				人	人	人	人	人	人
四ッ葉学園中等教育学校	上植木本町1702番地1	平成21年 4月 1日	16	307	323	630	33	10	43

6 教育研究所

区 分	所 在 地	設 置 (建 物) 年 月 日	敷 地 面 積 (㎡)	建 物 面 積 (㎡)
伊勢崎市教育研究所	鹿島町581番地1	昭和58年 4月 1日	2,515.46	929.19

7 臨海学校

伊勢崎市臨海学校	新潟県長岡市寺泊田ノ尻603番地	昭和48年5月31日	4,165.90	1,780.51
----------	------------------	------------	----------	----------

8 学校給食センター

第一学校給食調理場	堀口町500番地1	昭和45年12月	6,960.15	1,597.06
第二学校給食調理場	安堀町240番地	平成 5年 4月	6,797.00	1,948.36
赤堀学校給食調理場	西久保町二丁目74番地	昭和57年 4月	学校内	717.33
あずま学校給食調理場	田部井町二丁目689番地	昭和56年 4月	3,337.00	965.00
境第一学校給食調理場	境米岡272番地4	平成 9年 4月	2,027.87	675.00
境第二学校給食調理場	境下瀨名787番地	平成10年 4月	3,880.00	873.65

9 公民館等

北 公 民 館	平和町27番32号	昭和45年 6月20日	2,806.79	885.60
南 公 民 館	上泉町619番地1	平成 7年 4月 1日	4,194.49	525.96
殖 蓮 公 民 館	上植木本町2760番地	平成16年 3月22日	4,854.00	768.69
茂 呂 公 民 館	美茂呂町3032番地7	昭和62年 3月25日	3,334.72	405.80
三 郷 公 民 館	波志江町1029番地	平成 8年 3月29日	3,962.00	755.02
宮 郷 公 民 館	田中島町1164番地	昭和47年 3月31日	4,083.61	778.38
名 和 公 民 館	堀口町492番地	昭和55年 3月25日	5,317.24	509.36
豊 受 公 民 館	馬見塚町1296番地	昭和48年 3月25日	3,573.19	726(本館495,別館231)
赤 堀 公 民 館	西久保町二丁目81番地	昭和54年 2月28日	6,918.16	2,397.08
あ ず ま 公 民 館	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	3,428.70	1,563.48
境 公 民 館	境萩原1750番地1	昭和45年 3月30日	8,729.14	0.00
境 采 女 公 民 館	境下瀨名2023番地1	昭和54年 2月28日	1,378.01	770.85
境 剛 志 公 民 館	境下武士862番地3	平成元年 3月17日	1,665.75	642.91
境 島 村 公 民 館	境島村2720番地	平成 6年 4月 8日	3,141.00	552.11
境 東 公 民 館	境米岡764番地1	平成 5年 4月 6日	2,410.00	758.75
広 瀬 生 涯 学 習 館	ひろせ町4080番地5	平成13年 4月 1日	3,001.00	770.25
あ ず ま ホ ー ル	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	1,210.10	1,229.57

10 集会所

今 井 町 集 会 所	今井町21番地	昭和48年 3月25日	891.49	169.00
道 伝 集 会 所	山王町1484番地1	昭和50年 3月10日	803.00	168.00
宮 子 町 集 会 所	宮子町1713番地6	昭和52年 3月20日	982.00	336.00
柴 町 集 会 所	柴町953番地42	昭和52年 3月31日	1,038.00	165.00
連 取 町 集 会 所	連取町582番地2	昭和54年 3月25日	463.85	161.00
三 室 町 集 会 所	三室町6146番地1	昭和53年 3月 1日	877.30	149.00

11 青少年育成センター

青少年育成センター	波志江町2237番地6	平成18年 4月 1日	14,165.80	2,189.62
-----------	-------------	-------------	-----------	----------

12 図書館

伊勢崎市図書館	曲輪町22番21号	大正10年 4月11日	6,158.94	2,657.98
赤堀図書館	西久保町二丁目82番地1	平成 7年 4月 1日		400.50
あずま図書館	田部井町三丁目2901番地1	平成11年 4月 1日	4,790.21	1,837.85
境図書館	境724番地1	昭和38年 8月 1日	4,582.81	1,433.90
境絹の館	境724番地1	昭和61年 4月 1日		320.20

教職員数					校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員				
県職 人	市職 人	計 人						
1		1			44			※面積は市立高校に含む。

備 考
教科書センター併設

収容人数 220人

給食能力	副食	9,000食
"	副食	9,000食
"	副食	約2,500食
"	副食	約2,700食
"	副食	約2,000食
"	副食	約3,000食

対象地区人口(平成25年4月1日現在)	9,861 人
"	7,708 人
"	21,894 人
"	17,108 人
"	14,325 人
"	26,179 人
"	17,775 人
"	18,987 人
"	22,202 人
"	24,884 人
"	6,688 人
"	8,641 人
"	6,972 人
"	1,355 人
"	6,312 人
対象外地区人口	
"	

敷地は借地

建物面積(本館 1340.64㎡、プレイホール 794.98㎡ 野外炊事場 54.00㎡)

新築移転(昭和52年3月1日)
赤堀芸術文化プラザとの複合施設
新築(平成11年3月30日)
新築移転(昭和61年6月8日)

13 文化施設

区 分	所 在 地	設置(建物)年月日	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)
文 化 会 館	昭和町3918番地	昭和56年 4月 1日	27,047.00	6,696.88
赤堀芸術文化プラザ	西久保町二丁目82番地1	平成 2年 9月15日	7,308.60	2,581.70
境総合文化センター	境木島818番地	平成 8年 5月24日	28,461.45	5,515.39

14 赤堀歴史民俗資料館

赤堀歴史民俗資料館	西久保町二丁目98番地	昭和60年 4月 1日	1,925.00	1,192.72
-----------	-------------	-------------	----------	----------

15 青少年指導センター

青少年指導センター	昭和町1712番地2	昭和43年11月11日		346.00
-----------	------------	-------------	--	--------

16 体育施設

市 民 体 育 館	堤西町93番地	昭和54年10月	7,750.00	8,888.48
第 二 市 民 体 育 館	乾町75番地5	昭和47年 3月	3,972.00	2,199.00
庭 球 場	堤西町116番地	昭和60年 3月	9,855.50	1,274.71
野 球 場	堤西町41番地	平成10年 3月	17,323.00	3,160.00
陸 上 競 技 場	堤西町121番地	昭和43年 4月	39,000.00	4,612.18
ソ フ ト ボ ー ル 場	堤西町39番地	昭和57年 3月	7,036.00	1,059.94
第 二 グ ラ ウ ン ド	堤西町39番地	昭和57年 3月	5,098.00	
補 助 競 技 場	堤西町76番地	昭和63年 3月	11,191.00	
弓 道 場	堤西町141番地	平成 2年 3月	3,642.00	253.16
相 撲 場	堤西町7番地	平成 2年 8月	600.00	
市 民 プ ー ル	堤西町114番地	昭和46年 6月	7,781.62	1,242.24
赤 堀 体 育 館	西久保町二丁目81番地	昭和55年 5月	6,707.00	1,893.85
赤 堀 剣 道 場	西久保町一丁目乙64番地	昭和48年 1月	1,445.25	313.65
赤堀中央運動場野球場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	13,220.00	
赤堀中央運動場テニス場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	2,998.00	
あかぼり運動公園テニス場	西久保町二丁目334番地3	平成14年 7月	5,023.00	管理棟 103.90
あかぼり運動公園球技場	西久保町二丁目334番地3	平成16年 3月	6,277.50	
赤堀西部スポーツ公園野球場	下触町873番地1	平成 4年 8月	11,907.00	
赤堀西部スポーツ公園多目的広場	下触町873番地1	平成 4年 8月	6,058.00	
赤堀西部スポーツ公園ゲートボール場	下触町873番地1	平成 4年 8月	892.00	
赤堀西部スポーツ公園テニス場	下触町873番地1	平成 4年 8月	1,875.00	
赤堀香林運動公園	香林町二丁目1291番地6	昭和57年10月	12,457.00	
赤堀グラウンドゴルフ場	五目牛町104番地10	平成13年 3月	10,623.60	
赤堀コミュニティひろば	西久保町二丁目95番地	昭和61年 4月	17,055.00	
あ ず ま 体 育 館	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	5,059.65	2,150.24
あずま総合公園テニスコート	田部井町三丁目2091番地	平成元年 3月	2,797.00	
あずまスタジアム	田部井町三丁目1908番地	平成 6年10月	15,502.75	1,229.00
あずまサブスタジアム	田部井町三丁目1913番地1	平成 8年 3月	9,720.85	117.14
あ ず ま 弓 道 場	田部井町三丁目1905番地1	平成 6年10月	645.00	322.95
あずま総合運動場	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	17,320.00	69.30
三室西公園運動場	三室町6202番地	昭和57年 3月	10,023.00	20.30
三室西公園スケートボード場	三室町6202番地	平成18年 3月	1,947.00	
あずまゲートボール場	国定町二丁目2328番地1	平成 7年 4月	6,465.00	
つつみ公園グラウンドゴルフ場	国定町二丁目1940番地	平成11年 3月	7,406.00	8.16
あずまサッカースタジアム	東小保方町3236番地1	平成 8年10月	9,849.00	364.00
あずまウォーターランド	田部井町三丁目340番地	平成10年 5月	8,224.00	2,256.98
境 体 育 館	境609番地1	昭和52年 2月	2,414.00	1,355.95
境 武 道 館	境萩原1750番地2	平成 2年 3月	2,233.52	1,224.20
境いよく野球場	境伊与久3105番地	昭和52年 4月	9,300.00	
境いよくテニス場	境伊与久3105番地	昭和53年 6月	3,920.00	
境 弓 道 場	境木島823番地	平成 9年 3月	4,808.49	208.76
境 総 合 運 動 場	境上武士846番地	平成元年 5月	30,200.00	本部棟 200.00
境上武公園野球場	境上矢島678番地	昭和50年11月	8,700.00	
境上武公園テニス場	境上矢島678番地	昭和53年 6月	1,600.00	
境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 4年 3月	10,238.00	
境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 7年 3月	5,120.00	
利根川河川境運動場	境平塚1073番地	昭和47年 4月	18,139.00	
境矢ノ原公園運動場	境東新井1048番地24	平成 2年 3月	7,140.00	
ラ グ ビ ー 場	境島村3454番地297	平成22年 5月	17,654.00	
境 プ ー ル	境下武士853番地3	昭和57年 6月	5,500.00	管理棟 291.00

備 考
大ホール固定席 1,440 席、車椅子席 6席、母子席 8席、立見 76人 小ホール固定席 494席、立見 56人 ホール固定席 511席
大ホール固定席 708席、車椅子席 4席、小ホール移動席 208席

展示室2室、復元民家、研修室

平成11年4月1日、旧市立女子高校跡地へ移転

1F トレーニング室、小体育室(卓球10台・ボクシング)、剣道場、柔道場、会議室 2F メインフロア バスケットボール3面(バレーボール3面・バドミントン12面・テニス3面・外3種目競技可能)、3F ジョギングコース1周210m
バレーボール2面・外4種目競技可能
1,200人収容 人工クレーコート12面 夜間照明12基
硬式野球 内野3,200人・外野6,800人収容 両翼98m・センター122m ラバーフェンス 夜間照明6基
5,000人収容 公認二種 400mトラック(8コース)
1,334人収容 両翼・センター70m 夜間照明4基
ソフトボール場 両翼・センター70m
300mトラック(5コース)・ソフトボール2面・サッカー 100m×65m 1面
近的6人立
2面
公認50m(9コース)、25m(7コース)、流水120m、スライダー(ルーフ、ストレート)、子供プール、スライダープール
バスケットボール2面(バレーボール2面・バドミントン6面・テニス1面)、柔道場
1面
軟式野球 両翼90m 椅子席70 夜間照明7基
テニス 全天候2面、クレー2面 夜間照明6基
人工芝8面(4面 夜間照明15基)
少年野球1面、フットサル2面 夜間照明6基
軟式野球 両翼90m・センター110m
多目的広場(サッカー1面)
ゲートボール2面
全天候3面
軟式野球 両翼88m
天然芝16ホール、東屋
300mトラック(6コース) クレー舗装
1F バスケットボール2面(バレーボール3面・バドミントン6面・テニス1面)、2F ギャラリー 卓球6台
人工芝2面、クレー2面 夜間照明18基
硬式野球 両翼98m・センター122m 内野1,200人・外野2,300人収容 夜間照明6基
軟式野球 両翼85m・センター114m
近的6人立ち28m、遠的3人立ち60m
軟式野球2面・ソフトボール4面他 夜間照明14基
少年野球・ソフトボール1面、ゲートボール
スケートボード・インラインスケート・BMX
ゲートボール・グラウンドゴルフ
天然芝16ホール
人工芝 105m×68m 1面(少年用(72m×50m)2面) スタンド約300人収容 夜間照明4基
25m(6コース)、幼児用プール、スライダー、屋外プール、サウナ室 2F トレーニングルーム
バレーボール2面(バスケットボール1面・バドミントン3面)、卓球室、トレーニングルーム
剣道場2面(競技場面積466㎡)、柔道場2面(競技場面積476㎡)
軟式野球 レフト85m・ライト86m・センター98m 夜間照明6基
人工芝4面 夜間照明4基
近的6人立
400mトラック(8コース)・ソフトボール4面・サッカー100m×70m 1面 夜間照明14基
軟式野球 レフト80m・ライト80m・センター100m
クレー4面
天然芝16ホール(セバレート)
天然芝16ホール(フラット)
ソフトボール・少年野球、ターゲットバードゴルフ場
軟式野球 レフト78m・ライト72m・センター90m
天然芝7,696㎡
流水プール、幼児用プール、スライダープール、スライダー

平成24年度施設建設等主要事業

実施した校舎建設等の主要事業は、次のとおりです。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
南小学校ブロック塀改修工事	南側既存ブロック塀が老朽化したことにより危険となったので解体し、南側歩道と一体となる遊歩道を設置する工事。	12,033				12,033
境島小学校プール水槽塗装外工事	プール水槽および洗体槽外の塗替えとプールサイドのシート張替を行う工事。	7,413				7,413
豊受小学校トイレ改修工事	トイレの排水管の詰まり漏水のため、排水管を改修し、北校舎トイレの大便器の一部を和式から洋式へ改修する工事。	18,102				18,102
広瀬小学校フェンス改修外工事	南側及び東側のフェンスが腐食により酷く傷んでいる為、フェンスパネルの取替え等を行う工事。 フェンスパネル取替え341㎡	2,615				2,615
あずま小学校門扉改修外工事	門扉が道路と近接しているため、門扉の開閉時に交通上支障をきたしていることから門扉等改修を行う工事。	3,570				3,570
あずま北小学校音楽室床改修工事	音楽室床カーベットの剥がれが酷く、児童がつまずき危険なため天然木化粧複合フローリングに改修する工事。 工事面積 128.75㎡	1,733				1,733
茂呂小学校トイレ排水管改修工事	小便器の排水管の詰まりや漏水のため、排水管を改修する工事。また、小便器の洗浄をハイタンク方式からフラッシュバルブ方式へ改修する工事。	4,043				4,043
茂呂小学校プールろ過装置改修工事	老朽化したプールろ過装置を改修する工事。 砂式全自動ろ過装置 7.5m ³ /h×1基	7,476				7,476
三郷小学校外6校空調室外機安全フェンス設置工事	三郷小学校外6校の空調室外機の廻りに高さ2mの安全フェンスを設置する工事。	5,964				5,964
名和小学校外7校空調室外機安全フェンス設置工事	名和小学校外7校の空調室外機の廻りに高さ2mの安全フェンスを設置する工事。	5,838				5,838
南小学校外7校空調室外機安全フェンス設置工事	南小学校外7校の空調室外機の廻りに高さ2mの安全フェンスを設置する工事。	5,723				5,723
北小学校南校舎外壁改修工事	南校舎において、外壁浮き部等の改修工事。	1,260				1,260
北小学校発達相談室ほか外壁改修工事	発達相談室、北校舎、中校舎、メディアセンター各棟において、外壁浮き部の改修工事。	1,260				1,260
南小学校インターホン改修工事	既設インターホン設備を改修する工事。	1,229				1,229
あずま北小学校外1校プールろ過機改修工事	あずま北小学校及び境小学校において、老朽化したプールろ過機の自動五方弁を改修する工事。	3,497				3,497

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
南小学校外6校遊具・体育器具改修工事	南小学校外6校において遊具・体育器具の塗装及び部品交換等を行う工事。	4,463				4,463
赤堀小学校外10校遊具・体育器具改修工事	赤堀小学校外10校において遊具・体育器具の塗装及び部品交換等を行う工事。	4,599				4,599
茂呂及び境島小学校高圧受変電設備改修工事	茂呂小学校及び境小学校の既存キュービクル等を改修する工事。	3,990				3,990
宮郷小学校外2校遊具・体育器具改修工事	宮郷小学校・三郷小学校・宮郷第二小学校において遊具・体育器具の塗装及び部品交換等を行う工事。	1,113				1,113
あずま小学校外1校雨漏改修工事	あずま小学校校舎エキスパンションジョイント部のコーキング打ち直し及び校舎1・2階廊下腰壁クラック改修工事。また、境采女小学校2階多目的室東側の窓及び壁クラック改修工事。	1,155				1,155
坂東小学校ガスヒートポンプエアコン改修工事	平成9年度に設置した職員室、保健室及び事務室系統のガスヒートポンプエアコン室外機の老朽化による部品交換を行う工事。（熱交換器、コンデンサ等）	1,260				1,260
南小学校外1校雨漏改修工事	南小学校南校舎西妻側の外壁クラックの改修工事。また、殖蓮第二小学校の階段室窓コーキングの打替え、外壁爆裂を補修を行う工事。	1,260				1,260
名和小学校体育館耐震補強工事	体育館を耐震補強する工事。耐震性能評価において補強、改修が必要であるとされた為、鉄骨アングルブレース補強、接合部溶接補強及び玄関庇片持ち梁方丈補強等を行う工事。	45,150	21,237	23,800		113
豊受小学校体育館耐震補強工事	体育館を耐震補強する工事。耐震性能評価において補強、改修が必要であるとされた為、鉄骨ブレース補強・山形フレーム接合部補強・玄関庇方持ち梁方丈補強等を行う工事。	40,866	21,237	19,600		29
境東小学校体育館耐震補強工事	体育館を耐震補強する工事。耐震性能評価において補強が必要とされたため、耐震性能を高める補強工事。	60,753	17,781	42,800		172
小学校空調設備工事	市内全校に空調設備を設置する工事。	1,015,749	294,558	685,000		36,191
宮郷小学校プール改築建築工事	プール改築工事に伴う建築工事一式とする。FRP製25m、FRP製12m、管理棟（更衣室、機械室）鉄筋コンクリート造平屋建て 延床面積169.77㎡	95,151				
宮郷小学校プール改築電気設備工事	プール改築工事に伴う電気設備工事である。幹線・動力設備工事、電灯コンセント設備工事、インターホン設備工事、撤去工事	2,174	22,125	77,000		16,491
宮郷小学校プール改築機械設備工事	プール改築工事に伴う、機械設備工事である。【改修工事】給水設備・排水設備・衛生器具設備・消火設備・循環濾過設備・換気設備【撤去工事】給水設備・排水設備・衛生器具設備・循環濾過設備	18,291				

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
赤堀南小学校職員室改修工事	教室の数を平成23年度に増加した事により、職員室が手狭になったための既存職員室の改修工事。	6,269				
赤堀南小学校職員室改修電気設備工事	職員室及び校長室改修に伴う電気設備工事。職員室改修工事（幹線・電灯・コンセント・弱電設備等工事）仮設職員室工事（幹線・コンセント・LAN設備等工事）	5,492				
赤堀南小学校職員室改修機械設備工事	職員室及び校長室の改修に伴う、機械設備工事。 新設空調機：パッケージエアコン 天井カセット形×1組 冷房能力10.0kw：暖房能力11.2kw	893				13,830
赤堀南小学校職員室ハードディスク改修工事	職員室の防犯カメラ用ハードディスクレコーダーを交換する工事。	378				
赤堀南小学校職員室暖房器具交換工事	職員室のFF式温風暖房機を交換する工事。FF式温風暖房機能力：暖房出力15.9kW(13,700kcal/h)×2台	798				
境西中学校外壁等改修工事	外壁クラックの補修及び階段室雨漏りの改修、トップライトシール打替えを行う工事。	10,983				10,983
殖蓮中学校外壁等改修工事	外壁劣化部及び渡り廊下建具からの雨水流入を防ぐ為の改修を行い、階段室A,Bにおいても高所建具のガラスブロック老朽化に伴い落下の危険性があるため、併せて改修する工事。	12,390				12,390
宮郷中学校理科室外改修工事	理科室及び理科準備室のビニル床シート貼替えおよび実験台取替えを行う。併せて多目的室の東面サッシに安全手摺取付及び校長室の壁・天井クロスの貼替え行なう工事。	7,728				7,728
第一中学校理科室床改修工事	理科室の床を特殊防滑性長尺シート張りで改修する工事。	5,595				5,595
第一中学校体育器具改修工事	バスケットゴール（壁伸縮式）4基について、作動不良のため、伸縮ハンドルを改修する工事。	1,050				1,050
境北中学校柔道場外壁等改修工事	柔道場の外壁、屋根の張替え及び柱、梁の塗装並びに防球ネット（H=5.0m）を設置する改修工事。 建築：平成4年 延床面積：100.87㎡	4,116				4,116
境西中学校防球ネット設置工事	体育館東側に防球ネット（高さ7m、長さ38m）を新設する工事。	1,974				1,974
第一中学校体育館バスケットコート改修外工事	バスケットボール競技のルール改正によるコートライン等を改修する工事。 併せて、境西中学校の体育館入口にスロープを設置する工事。	1,287				1,287
第二中学校南校舎屋上防水外改修工事	南校舎屋上のトップライト周りの防水改修（シーリング打替137㎡）と、中央部外壁面のクラック補修（樹脂注入12㎡）を行う工事。	1,050				1,050

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
境西中学校 体育館耐震 補強工事	昭和52年に建設された鉄骨造、地上2階建、1159㎡の体育館について、耐震性能評価において補強が必要とされた為、荷重軽減、水平方向荷重伝達の成立、桁行方向耐力増強等の補強により耐震性能を高める工事。	97,650	33,686	63,900		64
中学校空調 設備工事	市内全校に空調設備を設置する工事。	605,126	150,096	389,900		65,130
宮郷中学校 グラウンド 整備工事	敷地造成工、施設構造物撤去工、擁壁工、縁石工、グラウンド・コート舗装工、グラウンド・コート柵工、バグネット工、競技施設工、掲揚ポール工、給水設備工、雨水排水設備工、管理施設整備工、管理施設舗装工、付帯施設工、植栽工	120,225		98,600		21,625
宮郷中学校 グラウンド 整備事業道 路築造工事 (第1工 区)	【市道(伊)3-320号線】側溝工(GPU2自由勾配側溝)、舗装工(車道・歩道)、縁石工、区画線工【市道(伊)2級23号線】排水工、舗装工	35,196				35,196
宮郷中学校 グラウンド 整備事業道 路築造工事 (第2工 区)	【市道(伊)3-320号線】側溝工(自由勾配側溝)、舗装工(車道・歩道)、縁石工、区画線工【市道(伊)3-319号線】側溝工、舗装工(車道)	34,283				34,283
宮郷中学校 夜間照明等 改修工事	宮郷中学校グラウンド整備工事に伴い、夜間照明等の電気設備を改修する工事です。 (1)高圧幹線設備工事、(2)電灯設備工事、(3)照明器具設備工事、(4)防犯カメラ設備工事、(5)撤去工事	27,300				27,300
宮郷中学校 自転車置場 設置工事	自転車置場(100台分)を新設する工事です。 駐輪場①：鉄骨造平家建(2.0m×22.4m=44.8㎡)1棟、駐輪場②：鉄骨造平家建(2.0m×16.8m=33.6㎡)1棟、駐輪場③：鉄骨造平家建(2.0m×16.8m=33.6㎡)1棟	8,159				8,159
養護学校遊 具改修工事	遊具の保守点検で改善指示のあった屋外固定遊具の改修をする工事です。	1,155				1,155
養護学校空 調設備工事	空調設備を改修する工事です。 ○空調方式EHP(ビルマルチ形) ○設置台数室外機3台 室内機28台 ○室内機設置箇所普通教室20教室 特別教室7教室	32,655				32,655
南幼稚園 物置改修工事	既存木造物置の老朽によりプレハブ物置(26.6㎡)を設置する工事。	1,691				1,691
南幼稚園 舎北側整備 工事	土砂掘削・運搬V=62.7m ³ 舗装工A=329.8m ² U型側溝(車道用)L=11.5mプレキャスト集水樹1箇所 グレーチング撤去・設置L=40m コンクリート工(浄化槽天端)V=3.7m ³ Co取壊し運搬処理V=4.7m ³ 地先境界ブロックL=23.9m	2,573				2,573
あかぼり幼 稚園床改修 工事	廊下、保育室の床がきしみ、不陸など老朽化しているため、床組、仕上げを改修する工事。 床改修面積192㎡。	3,098				3,098

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
殖蓮幼稚園プール改修工事	プール槽内側、プールサイドの塗装が劣化しており、園児が素足で利用するのに危険な為、改修する工事です。プール塗装面積 78.3㎡ プールサイドシート貼り面積 50.8㎡	1,344				1,344
第一幼稚園フェンス等改修工事	老朽化した既存ブロック塀等を解体し、高さ1.2mのメッシュフェンスを設置する。	3,885				3,885
名和幼稚園労務技士室改修工事	労務技士室の畳床部分を解体し、既存作業室と一体の部屋を造る改修工事。また、幼児用シャワーパンを設置し、園児の粗相対策を図る。	1,187				1,187
幼稚園遊具等改修工事	遊具の保守点検で改善指示のあった幼稚園の屋外固定遊具等の改修をする工事。	1,155				1,155
殖蓮幼稚園外1園焼却炉撤去工事	殖蓮幼稚園及び南幼稚園の焼却炉を撤去する工事。	1,218				1,218
幼稚園空調設備工事	市内全園に空調設備を設置する工事。	37,748				37,748
危険物倉庫設置工事	教育研究所にPCBを保管する倉庫（軽量鉄骨造平屋建て延べ面積9.27㎡）を設置する工事。	3,098				3,098
第一学校給食調理場排水処理施設駆動装置更新工事	排水処理施設の駆動装置の老朽化に伴い円板用駆動装置、トルクアーム受台、円板用軸受の更新工事	10,679				10,679
第一学校給食調理場変電設備改修工事	変電設備の老朽化に伴い電気室からキュービクルに変更	11,634				11,634
第二学校給食調理場ボイラー改修工事	小型貫流ボイラー1台を改修工事	9,797				9,797
北公民館外空調設備取替工事	北公民館、赤堀公民館の空調設備の老朽化による取替工事。	7,865				7,865
境公民館外柱上高圧気中開閉器・高圧ケーブル改修工事	境公民館・境東公民館の柱上高圧気中開閉器・高圧ケーブルの老朽化に伴う改修工事。	1,528				1,528
境公民館解体工事	耐震診断結果による耐震性能の低い境公民館の解体工事。	10,805				10,805
宮郷公民館空調設備改修工事	会議室の空調設備の老朽化に伴う改修工事。	1,680				1,680
青少年育成センター厨房設備改修工事	食中毒防止用に食器洗浄機を設け、冷蔵庫等を交換する工事。	5,523				5,523
文化会館大ホールデジタル音響調整卓設置工事	大ホールデジタル音響調整卓の設置工事。	24,150				24,150

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
境総合文化センター舞台吊物装置ワイヤーロープ取替工事	ホール内の舞台吊物装置取替工事。	4,200				4,200
市民体育館改修工事(H24・25債務負担)	バリアフリー化改修・防災対応化改修及び耐震補強をする工事。(エレベーター棟設置・各所便所及び男女更衣室のバリアフリー化、授乳室・防災倉庫の設置改修、RC壁打増・鉄骨ブレース壁補強及び屋根ブレース補強などの耐震補強等)	33,075	16,632	19,300		3,758
市民体育館改修電気設備工事(H24・25債務負担)	改修工事に伴う電気設備改修工事。(アリーナ照明、電灯・コンセント、防犯カメラ等の改修)	2,835				
市民体育館改修機械設備工事(H24・25債務負担)	改修工事に伴う、機械設備工事。(給水設備・排水設備・給湯設備・衛生器具設備・屋内消火栓設備・ガス設備・空調設備・換気設備)	3,780				
あずま体育館改修工事(繰越事業)	バリアフリー化改修・省エネルギー化改修及び耐震補強をする工事。(外部出入口のスロープ化改修、洗面所の多目的トイレ化・授乳室化改修、男女便所及び男女更衣室のバリアフリー化改修、屋根ブレース補強などの耐震補強等)	149,919	60,952	70,700		52,802
あずま体育館改修電気設備工事(繰越事業)	改修工事に伴う電気設備改修工事。(アリーナ照明器具、電灯・コンセント、トイレ緊急呼出装置設備、自動火災報知設備、非常用発電機設備等の改修)	19,982				
あずま体育館改修機械設備工事(繰越事業)	改修工事に伴う、機械設備工事。(給水設備・排水設備・給湯設備・衛生器具設備・屋内消火栓設備・ガス設備・換気設備)	14,553				
陸上競技場公認更新工事	陸上競技場の公認(2種)継続のため、トラック・砂場等の改修工事(ウレタンオーバーレイ工、内圏縁石改修工、踏切板補修工等)	14,679				14,679
陸上競技場仮設事務所改修工事	市民体育館改修工事に伴い陸上競技場管理棟内に仮設事務所の設置をする内装改修工事。	4,725				4,725
あずまサブスタジアム防球ネット嵩上げ工事	既存外野ネット(H2.9m)が低いことから、レフト・ライト側(H8m×L50m)のネットを嵩上げする工事。	5,481				5,481
あずまサッカースタジアム遮光ネット設置工事	スタジアムの照明が周辺に漏れるのを防ぐための遮光ネットを設置する工事。	1,008				1,008
あずま体育館バスケットボールゴール改修設置工事	経年劣化によるバスケットゴール(2対)の改修設置する工事。(折りたたみ式バスケットボールゴール)	3,339				3,339
華蔵寺公園運動施設防犯カメラ設置工事	施設内に防犯カメラ(7台)及び防犯カメラ付照明器具(4台)を設置する工事。	2,121				2,121

平成25年度施設建設等主要事業計画

校舎建設等の主要事業は、次のとおりである。

- 1 殖蓮幼稚園遊戯室改修工事
- 2 殖蓮幼稚園園庭改修工事
- 3 茂呂幼稚園フェンス改修工事
- 4 宮郷幼稚園テラス改修工事
- 5 あかぼり幼稚園保育室等床改修工事
- 6 あずま幼稚園園舎西側整備工事
- 7 殖蓮第二小学校外プール改修工事【ゼロ市債】
- 8 広瀬小学校体育館耐震補強工事
- 9 殖蓮第二小学校体育館耐震補強工事
- 10 境采女小学校校舎耐震補強工事
- 11 境小学校校舎耐震補強工事
- 12 南小学校外受水槽・高架水槽改修工事
- 13 南小学校放送設備改修工事
- 14 殖蓮小学校校舎給水管改修外工事
- 15 茂呂小学校校舎外壁改修工事
- 16 宮郷小学校黒板改修工事
- 17 名和小学校校舎屋上防水改修工事
- 18 豊受及びあずま南小学校校舎外壁等改修工事
- 19 宮郷第二小学校増築校舎廊下改修外工事
- 20 赤堀小学校体育館屋上防水工事
- 21 あずま南小学校音楽室床改修工事
- 22 あずま南小学校浄化槽回転板交換工事
- 23 あずま北小学校校庭段差解消工事
- 24 境剛志小学校校舎屋上防水改修工事
- 25 境島小学校雨水排水処理施設改修工事
- 26 境東小学校下水道接続工事
- 27 殖蓮第二小学校放送設備改修工事
- 28 第三中学校体育館耐震補強工事
- 29 第一中学校放送設備改修工事
- 30 第一中学校駐輪場周辺舗装工事
- 31 第二中学校プールろ過機五方弁改修工事
- 32 第二中学校自転車置場照明設置工事
- 33 第三中学校テニスコート改修工事
- 34 第四中学校廊下高所窓開閉装置改修工事
- 35 第四中学校サーバー室エアコン設置工事
- 36 第四中学校防犯カメラ設置工事
- 37 殖蓮中学校外バスケットコートライン改修工事
- 38 宮郷中学校北校舎屋根防水工事

- 39 宮郷中学校プールサイド立上り壁塗装改修工事
- 40 赤堀中学校新校舎水道設置工事
- 41 あずま中学校図書館間仕切り設置工事
- 42 境北中学校校舎外壁補修工事
- 43 境西中学校パソコン教室屋根改修工事
- 44 境南中学校体育館照明改修工事
- 45 境南中学校バックネット張替工事
- 46 境南中学校側溝設置工事
- 47 境南中学校体育館クラック改修工事
- 48 第一中学校外電話設備改修工事
- 49 赤堀中学校校舎・体育館建設工事
- 50 赤堀中学校校舎・体育館建設電気設備工事
- 51 赤堀中学校校舎・体育館建設給排水衛生設備工事
- 52 赤堀中学校校舎・体育館建設空調設備工事
- 53 第二学校給食調理場スチームコンベクション改修工事
- 54 赤堀調理場回転釜改修工事
- 55 茂呂公民館増築工事
- 56 境公民館駐車場舗装外工事
- 57 青少年育成センターPAS設備交換工事
- 58 今井町集会所新築工事
- 59 今井町集会所外構工事
- 60 今井町集会所合併浄化槽設置工事
- 61 今井町集会所解体工事
- 62 伊勢崎市図書館外電話交換機交換工事
- 63 境図書館空調機入替工事（ゼロ市債）
- 64 絹の館改修工事
- 65 文化会館小ホール舞台吊物機構改修工事
- 66 文化会館エントランスホール授乳室設置工事
- 67 文化会館大小ホールインカム設備交換工事
- 68 赤堀芸術文化プラザ冷温水機設備更新工事
- 69 境総合文化センター冷温水機設備更新工事
- 70 市民体育館改修工事
- 71 市民体育館改修電気設備工事
- 72 市民体育館改修機械設備工事
- 73 赤堀体育館改修工事
- 74 陸上競技場選手召集所下屋改修工事
- 75 赤堀西部スポーツ公園多目的広場防球ネット嵩上げ工事
- 76 あずまサブスタジアムエアコン設置工事
- 77 境いよく野球場防球ネット設置工事

Ⅲ 学校教育



制作にかかわった大学生とともに「方言カルタ」に取り組む児童

平成25年度 伊勢崎市の学校教育方針

伊勢崎市教育委員会

I 伊勢崎市の学校教育が目指す子ども像

教育基本法、学習指導要領などの法令等や、県の学校教育の指針及び市教育行政方針等に基づき、本市の目指す子ども像を次の通り設定するとともに、公教育として踏まえなければならない各種事項の重点を下記II以下にまとめる。

「生きる力」を身に付け、実践する、自立した子ども

- | | |
|-----|--------------------------|
| <知> | 基礎・基本を身に付け、自ら学び、自ら考える子ども |
| <徳> | 人や環境を大切にして地域・社会に貢献する子ども |
| <体> | 心身ともにたくましく生きる子ども |

また、この学校教育方針の下、本市学校教育の独自性を発揮するために選択・集中した単年度方式の教育構想である「伊勢崎式教育力向上『徹底』構想」を別に策定し、創意工夫を生かした特色ある学校教育を推進する。

II 信頼される学校・園づくりの推進

1 学校・園運営の充実 <「徹底」構想、スクール・クリエーションプラン>

- (1) 「徹底」構想による教育活動を本市の共通性として踏まえるとともに、「選択と集中」「具体と行動」「継続と徹底」を視点に学校経営を見直し、小中9年間のつながりを大切にした創意工夫のある教育活動が実施できるよう、教育課程の編成・実施、評価の工夫・改善に努めます。
- (2) 経営の重点や家庭・地域の願い等を反映させた学校関係者評価の改善・充実を図るとともに、子どもたちの生活・学習状況の過程や結果の見える化を図り、子どもたちの頑張りを保護者・地域の方々々と共有化しながら、家庭・地域との連携による学校・園づくりに努めます。
- (3) 学校・園の課題について共通理解を図るとともに、その解決に向けて各種主任などのミドルリーダーをより一層活用した組織的な指導体制を整えたり、教職員の意欲や資質能力の向上の観点から人事評価制度を活用したりするなど、教職員の参画意識の向上に努めます。
- (4) 学校安全計画及び学校災害対応マニュアルを地域等の実態に合わせて見直しを図るとともに、災害時・緊急時等における対応訓練として、火災・地震・不審者侵入等の実践的な避難訓練を実施します。

2 教職員の資質向上

- (1) 学校・園が重点に掲げる目標及び課題と教職員一人一人の目標等を密接に連動させるとともに、課題解決のために教職員同士が協働して取り組む場や機会を意図的につくるなど、日常的な職務を通して教職員が互いに学び合い、職能成長が図れる職場環境づくりに努めます。
- (2) 教職員は各自の経験や能力、分掌等に応じた目標を設定し、その達成に向けて校内研修に主体的に参画したり、平素の管理職による授業参観及びその後の面談を活用したりしながら、自己の専門性や指導力のさらなる向上に努めます。

3 異校種間や地域社会との連携 <地域の学校いきいきプラン>

- (1) 中学校区内の学校・園が協働して推進委員会や協議会などを開催し、異校種間で情報交換したり、系統的・継続的な教育活動を実践したりするなど、各地域における幼・小・中の一貫した教育の充実に努めます。
- (2) 平素の授業・保育の様子や学校評価で明らかとなった課題に対する具体的な取組等について、各学校・園だよりやWebページ、PTA集会等で保護者や地域に情報提供したり、授業公開や保育公開を計画的に実施したりするなど、地域に開かれた学校・園づくりに努めます。

- (3) 学校支援ボランティアや企業・大学関係者等の外部指導者（スマイルサポーター）を意図的・計画的に活用し、「未来力」学習講座を実施したり、英語力向上プログラムなどの伊勢崎式教育プログラムを実践したりするなど、学校教育の質の向上を図ります。

Ⅲ 「生きる力」を育む指導の充実

1 学びの芽生えを大切にして、「生きる力」の基礎を育む幼稚園教育 **＜ふたばすくすくプラン＞**

- (1) 地域の人たちとの交流を図るジョイふるタイムや未就園の親子を対象とした子育てふれあいタイムを柱とする、ふたばすくすくプランを積極的かつ計画的に実施するなど、幼児教育の充実に努めます。
- (2) 保護者が子育ての楽しさや意義、幼児教育の重要性を学んだり、基本的生活習慣やしつけなどについて相談したりできるよう、保護者同士の交流の場を設けるとともに、預かり保育・教育などによる保護者への子育て支援に努めます。
- (3) 絵本に親しむ活動や集団で体を動かす活動を意図的・計画的に行い、言葉の感覚やイメージを豊かにしたり、自ら体を動かす楽しさやみんなで一緒に活動しようとする意欲を育んだりするなど、小学校への滑らかな接続を図ります。
- (4) 園児が自分なりのイメージをもって主体的に活動できるよう、園児の興味や関心を大切にするとともに、教師が意図をもって環境を構成し、遊びを通して気付いたり、工夫したり、考えたりするなどの学びの芽生えの育成に努めます。

2 「生きる力」を育む小学校・中学校教育

(1) 学力の向上 **＜学カパワーアッププラン＞**

- ア 児童生徒の学力や学習習慣等に関する実態を適切に把握し、いせさき子ども元気作戦を基本に据え、ステップアップ作戦やベシック作戦を加味した具体的な方策を学校全体で立て、校内研修や研究授業を推進するなど、学校としての学力向上対策の充実を図ります。
- イ 教科分担制を加えた指導体制の一層の充実により、児童生徒が教科の魅力を十分に味わえるようにするとともに、学習の成果や課題を日常的に伝えたり、通知表5分類方式を活用したりするなど、より正確な学習状況を児童生徒、保護者、教師で共有し、学習意欲の向上を図ります。
- ウ 伊勢崎式学力向上学習プリントを効果的に活用し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、5W（読む・聞く・考える・書く・話す）の徹底や「なぜ？」を大切に授業の充実により、思考力・判断力・表現力の育成を図ります。
- エ 小学校「英語科」と中学校の連続性を明確にした指導の充実や、外国語指導助手(ALT)や英語支援助手等を有効活用した授業の工夫により、小中9年間の一貫した英語教育を一層推進し、グローバル社会に対応する英語コミュニケーション能力の育成を図ります。
- オ 学年に応じた時間の家庭学習に取り組みせ、分かる喜びやできる楽しさを味わわせる「やってよかった家庭学習」を工夫することにより、家庭学習への意欲を高め、主体的な学習習慣の定着を図ります。

(国語) 言語活動の充実を図り、思考力・表現力を育てる指導の工夫

- 児童生徒に意欲や必要感、目的意識をもたせながら、ねらいを明確にして、単元を貫く言語活動に取り組みせるとともに、伝え合う活動を一層充実させ、思考力・表現力を育てる指導の工夫に努めます。

(社会) 社会的な見方や考え方を育てる指導の工夫

- 自ら問いを見いだす活動や問いの解決に向けて、資料を比較・関連付け・総合して社会的事象の特色や意味を考え、表現する活動を充実させ、社会的な見方や考え方を育てる指導の工夫に努めます。

(算数、数学) 数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫

- 言葉や式、図など数学的な表現を用いて自他の考えを説明させたり、ねらいに結び付くようそれぞれの考えを比較・検討させたりするなどの算数的（数学的）活動を一層充実させ、数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫に努めます。

（理科）科学的な見方や考え方を育てる指導の工夫

○導入の活動を重視し、子ども自身の気付きや疑問から問題を見いださせるとともに、観察・実験などの体験活動と予想や考察における言語活動をバランスよく行うことで、科学的な見方や考え方を育てる指導の工夫に努めます。

（生活）気付きの質を高める指導の工夫

○人や社会、自然へのかかわりを深める多様な学習活動を取り入れ、一人一人の思いや願い、驚きや発見などを丁寧に見取り、気付かせたいことを明確にして体験や振り返りの活動を設定するなど、気付きの質を高める指導の工夫に努めます。

（音楽）音楽の要素を基に音楽のよさや美しさを感じ取り、表現する力を高める指導の工夫

○〔共通事項〕で示された音楽の要素に着目した音楽的な感受の学習を基に、思考・判断し表現する一連の過程を大切に授業づくりに努め、思いや意図をもって音楽表現したり、音楽全体を味わって聴いたりすることができるよう指導の工夫に努めます。

（図画工作、美術）生活を美しく豊かにする造形や美術の働きを実感できる指導の工夫

○形や色をとらえ、イメージをもつなど、〔共通事項〕で示された資質や能力と学習内容との関連を明確にし、自分の思いや感じ取ったことを伝え合う活動を意図的に取り入れるなど、生活を美しく豊かにする造形や美術の働きを実感できる表現や鑑賞の指導の工夫に努めます。

（家庭、技術・家庭）実生活で活用できる力を育てる指導の工夫

○児童生徒の生活環境の実態を踏まえ、学習した知識と技術を実生活に生かす視点から実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習を展開し、実生活で活用できる能力と態度を育てる指導の工夫に努めます。

（体育、保健体育）運動の楽しさやできる喜びを味わえる指導の工夫

○各運動の行い方や技能のポイントを理解させるとともに、学習課題に応じた場づくりを工夫し、運動の楽しさやできる喜びを味わえる授業展開に努めます。
○学んだ知識を活用する学習活動となるよう工夫するとともに、課題解決的な学習や実験、実習などを取り入れ、実践的・科学的に理解できるよう指導の工夫に努めます。

（英語）小中9年間の継続指導により英語コミュニケーション能力を高める指導の工夫

○小学校では、市共通の展開例を有効活用し、発達の段階に応じた文字学習を取り入れながら、英語でコミュニケーションをする楽しさや自分の伝えたい内容が表現できたという達成感・成就感が得られる指導の工夫に努めます。
○中学校では、トレーニングメニュー「BEST」の活用や書く活動の工夫を通して基礎・基本の確実な定着を図るとともに、小学校での学習内容を踏まえた言語活動を計画的に実施するなど、英語コミュニケーション能力を高める指導と評価の工夫に努めます。

（総合的な学習の時間）小・中学校の連携を踏まえた単元構成と探究的な学習活動の工夫

○小・中学校の連携を踏まえて単元の精選・重点化を図り、各教科等との関連した指導の充実に努めるとともに、スマイルサポーターの活用や観察・実験、見学・調査、整理・分析、発表や討論などの多様な活動を展開させるなど、探究的な学習活動の一層の充実に努めます。

（2）豊かな心の育成 <「愛」燦々プラン>

ア 豊かな心を育む道徳教育

○感動や葛藤を生み、心に響く魅力的な資料の活用や体験的な活動を中核に置くとともに、明確な価値観・児童生徒観・資料観に基づいた授業展開や発問構成を工夫し、道徳的価値の自覚を深める道徳の時間の充実に努めます。
○道徳教育推進教師を中心に教育活動全体を通して道徳教育を推進し、じっくり話そう会議の充実やスマイルサポーターの積極的活用など、学校と家庭、地域が連携を深め、子どもたちの規範意識の向上や生命を尊重する心の育成に向けた環境の醸成に努めます。

イ 社会性の育成を図る特別活動

○集団の一員としてのよりよい生活や人間関係を築くために、学級経営との関連を深め、絆を大切に心とした居場所としての学級づくりに取り組みます。
○自主的・実践的な態度を育成するために、「目指す児童生徒の姿」を明確にした体験活動や多様な人々との交流活動、計画委員の運営による話し合い活動に組織的・計画的に取り組み、児童生徒のよさや可能性を積極的に認め、励まします。

ウ 自主・自立を促し、問題行動等の未然防止・解決を目指す生徒指導

- 児童生徒の実態や情報を共有化したり、相談員や研究所適応指導教室等との連携を深めたりするなど、教育相談機能を充実させ、学校全体で不登校・いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めます。
- 全教職員が組織として一致協力し、人権に配慮した継続的な指導を行うとともに、関係機関との連携を積極的に図り、問題行動等の未然防止や早期解決に努めます。
- 学校・園と家庭、地域が協働して、「幼小中一貫生活・学習13のルール」や「携帯電話 3つの基本ルール」を徹底し、規範意識を育みます。
- 教育活動に5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の時間を位置付け、気持ちのこもったあいさつや「いせさきトイレピカピカプロジェクト」の実践、生活ノート等による振り返り、学習環境の整備等により、きれいな心ときれいな学習環境をつくります。

エ 将来の生き方を育むキャリア教育

- 「未来力」学習講座を意図的・計画的に実施するなど、全校体制でキャリア教育を推進し、将来の夢や希望を具体的な目標や目的に変え、児童生徒が自己の生き方について考えることができるようにします。
- 小学校における仕事調べや職場見学、中学校における職場体験や奉仕活動等、ねらいや意義を明確にした体験活動を工夫したり、事前・事後の学習活動をより一層充実させたりするなど、発達の段階に応じた望ましい職業観や勤労観の育成に努めます。

オ 人権尊重の意識を高める人権教育

- 教育活動全体を通してあいさつや言葉遣い等において範を示すなど、人権教育の基盤である常時指導を一層充実させ、互いのよさを認め合える温かい学級・学校の雰囲気づくりに努めます。
- 様々な人々との交流活動や模擬体験活動を実施したり、「みんなの願い」等の資料を活用した同和教育を実践したりするなど、人権尊重の意識を高める指導の充実に努めます。
- 虐待防止のため、校内体制を整備し、児童生徒の状況や変化を的確にとらえるとともに、関係機関と連携を図りながら、虐待の早期発見・早期通告等、迅速な対応に努めます。

カ 互いの文化を理解し、共生する態度を育てる国際理解教育

- ALTの有効活用や外国籍児童生徒との交流活動を充実させるなど、国際的な視野から互いの文化を理解し合い、共生していこうとする態度の育成に努めます。
- 外国籍児童生徒学校生活適応指導助手を有効活用した日本語教室の指導体制の充実や個に応じた指導の工夫により、外国籍児童生徒の学校生活への適応や日本語指導の改善に努めます。

キ 環境保全に配慮して自ら行動できる実践力を育てる環境教育

- 環境教育全体計画を活用し、各教科や総合的な学習の時間等を通じた総合的な取組の推進に努めます。
- 家庭・地域と連携した環境美化活動やリサイクル活動を実施したり、省エネルギーや資源の有効利用に取り組んだりすることを通して、身の回りの環境に配慮して自ら行動できる実践力の育成に努めます。

ク 情報活用能力と情報モラルを育てる情報教育

- 情報教育指導体制を充実させ、ICT機器（電子黒板や教育コンテンツ、ネットワーク等）の効果的な活用を通して、情報活用能力の育成に努めます。
- 道徳や各教科等の年間指導計画に基づいた系統的な情報モラル育成のための授業を実施するとともに、携帯電話やパソコン等によるインターネットの利便性や危険性などの情報提供や啓発事業を行うなど、家庭と連携して安全に情報社会に参画する態度の育成に努めます。

ケ 主体的に読書しようとする心を育む読書活動の推進

- 学校図書館の蔵書の拡充やデータベースの有効活用、調べ学習コーナーの活用など、魅力ある学校図書館づくりを組織的・計画的に進め、年間指導計画に学校図書館の利用を位置付けた授業を展開するなど、考えを広め深める読書活動の一層の充実に努めます。
- 読書の街いせさき「読書活動」の充実のため、「親子が推薦する図書101」や「おすすめ本」、読書サポーター等を積極的に活用したり、「家読」（家族ふれあい読書）の推進を図ったりするなど、日常的に読書に親しみ、幅広く読書しようとする態度の育成に努めます。

(3) 健康教育の推進

ア 学校保健活動の充実

- 児童生徒の健康課題を的確に把握し、教職員の共通理解の下、学校保健計画に基づき、家庭や地域関係機関と連携した学校保健活動を計画的・組織的に推進するとともに、多面的かつ継続的な評価を行います。
- 平常時及び感染症等発生時における校内体制を整備し、日常の健康観察や保健指導を適切に行うとともに、家庭や関係諸機関と連携して、感染症や食中毒等の予防対策の徹底を図ります。
- 喫煙、飲酒、薬物乱用等の防止や性に関する教育の充実のために、児童生徒の発達の段階や実態を考慮した小中9年間を見通した系統的・継続的な指導に努めます。

イ 学校における食育の推進

- 家族の絆を深めるコミュニケーションの場づくりとして「いせさき家族で『いただきます』の日」を推進し、心も体も健康で活力ある児童生徒の育成に努めます。
- 食に関する指導の年間指導計画に基づき、教職員の共通理解の下、指導方法や内容を工夫しながら教科等の内容に食育のねらいを関連させた授業を展開し、継続的・体系的な指導に努めます。
- 給食の時間や各教科、特別活動等において学校給食を生きた教材として活用した指導が実践できるよう、学校と調理場との連携を深め食育の推進に努めます。

ウ 学校安全の徹底

- 家庭や地域の関係機関と連携した実践的な避難訓練を実施するとともに、評価で明らかになった成果や課題に対する学校災害対応マニュアルの見直しを図ります。
- 学校安全に対する資質向上等を目指した職員研修を学校安全計画に位置付け実施します。
- 教職員、保護者、学校支援ボランティア等の協働による通学路の安全点検や安全マップづくりを実施し、交通・防犯上の危険箇所を把握するとともに、児童生徒の危険回避能力を育成するための安全指導の充実に努めます。

エ 体力の向上

- 各種運動能力調査結果等を基に児童生徒の体力の現状を的確に把握し、体力の向上の必要性についての認識を高めるとともに、教師と児童生徒が一緒に運動できる環境を整えたり、体力アップカードを活用したりするなど、児童生徒が継続して体力向上に取り組めるように努めます。
- 体育の学習内容と学校行事等に関連させたり、親子や地域の人と運動に親しむ機会・場を提供したりするなど、学校・家庭・地域が連携して日常的に体力向上に取り組む環境づくりに努めます。

3 一人一人の障害や特性等に配慮した特別支援教育

- (1) 校園長のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーターが中心となって、特別支援教育に関する校内（園内）委員会や校内（園内）研修会を積極的に開催し、関係機関とも連携しながら、特別な支援が必要な園児児童生徒に対する全校的な支援体制の充実に努めます。
- (2) 特別な支援が必要な園児児童生徒に対し、特別支援学校や通級指導教室等の助言または援助を受けつつ、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の工夫・改善及び積極的な活用により、一人一人の指導目標や指導内容・方法を明確にしたきめ細かな指導を行います。
- (3) 特別な支援を必要とする園児児童生徒が学習や生活上「何に困っているか」を理解し、学級内における温かい人間関係づくりに努めるとともに、個に応じた授業展開等を工夫します。
- (4) 計画的に校内就学指導委員会を開催するとともに、保護者との面談を継続的に実施しながら、就学指導の充実に努め、一人一人のニーズに応じた指導に努めます。
- (5) 特別支援学校との居住地校交流や特別支援学級との交流などを積極的に実施し、障害の有無にかかわらず児童生徒がお互いの理解を深めるための指導に努めます。

平成25年度 主要事業

1 全市的な研修

- ①小中連携研修：教育構想等の展開に向けた各中学校区の学校園による連携研修
- ②小中教科等研修：小13、中13、小中合同2（養護教諭、特別支援教育）
- ③実技等研修：授業改善に向けた実技指導力の向上を目指した研修
- ④幼稚園一日研修：保育の改善・充実のための保育研究（会場：殖蓮幼稚園）

2 学校訪問

- ①経営訪問：市教委の方針説明、経営課題の協議、授業参観
- ②要請訪問：随時要請に応じて実施、学校課題に基づく協議、授業研究会、個別指導等
- ③幼稚園訪問：経営課題の協議、保育参観、保育研究会

3 指定校等

<文部科学省・県教育委員会等指定校>

- ①北小学校、赤堀南小学校、あずま南小学校、第四中学校、殖蓮中学校
：「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進への取組」（文科省 H.25～26）
- ②赤堀東小学校：「社会福祉協力校」（社会福祉協議会 H.24～26）
- ③宮郷第二小学校：「社会福祉協力校（単年度学校指定モデル事業）」（社会福祉協議会 H.25）
- ④境剛志小学校・境西中学校
：「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」（日本学校歯科医会 H25～26）

<市教育委員会指定校>

- ①殖蓮幼稚園：「特色ある幼稚園教育実践指定園」（H.25）

4 教育力向上「徹底」構想2013（トップランナー宣言校）

<ステップアップ作戦>

- （小3プロジェクト）殖蓮小学校、殖蓮第二小学校、赤堀東小学校、あずま南小学校、あずま北小学校、境剛志小学校、境島小学校
- （小5プロジェクト）北小学校、三郷小学校、名和小学校、北第二小学校、坂東小学校、赤堀南小学校、あずま小学校、境東小学校
- （小6プロジェクト）南小学校、茂呂小学校、宮郷小学校、豊受小学校、北第二小学校、広瀬小学校、宮郷第二小学校、赤堀小学校、境小学校、境采女小学校

<ベシック作戦>

- （言語力向上プロジェクト）第一中学校、第二中学校、第三中学校、第四中学校、殖蓮中学校、宮郷中学校、赤堀中学校、あずま中学校、境西中学校
- （計算力向上プロジェクト）第三中学校、あずま中学校、境南中学校
- （ライティング力向上プロジェクト）第三中学校、あずま中学校、境北中学校

5 市教委主催の研修等

- ①管理職研修
- ②教務主任研修
- ③研修主任研修(確かな学力向上推進委員会)
- ④生徒指導主任研修
- ⑤人権教育主任研修
- ⑥安全教育担当教員研修
- ⑦情報教育主任研修
- ⑧教科等指導員研修
- ⑨小学校英語研修
- ⑩日本語教室担当教員研修
- ⑪学社連携推進担当研修
- ⑫学校経営研修
- ⑬事務職員研修
- ⑭特別支援教育コーディネーター研修
- ⑮通級指導教室担当教員連絡協議会
- ⑯外国籍児童生徒学校生活適応指導助手研修

挑戦の年

新しい自分への第一歩

伊勢崎市教育委員会

Building Hearts! Building the Future!

心と未来の道しるべ

ISESAKI WAY

伊勢崎市の学校教育で大切にしたい共通の価値観



夢から目標へ! 目標から行動へ!

発行者/伊勢崎市教育委員会(学校教育課) 〒372-8501 伊勢崎市今泉町二丁目410 Tel.0270-24-5111

夢があるから 人は輝く

夢は語った方がよい
語ることで思いは強く明確になる

夢は考えた方がよい
考えることで行動につながる

夢は信じた方がよい
信じることで困難に打ち勝てる

夢があるから 輝ける

5Wは夢を具体的な目標に変える

読む 聞く 考える 書く 話す

目標があるから 人は輝く

目標は決めた方がよい
決めることで進むべき道が定まる

目標は具体的な方がよい
具体的にすることでやることははっきりする

目標は大きい方がよい
大きいことで未来への挑戦が生まれる

目標があるから 輝ける

5Sは目標を達成する支えとなる

整理 整頓 清掃 清潔 しつけ

責任一貫教育

3プラン・3作戦



分かるまで
徹底して
教えます

学力 パワーアップ プラン

基礎学力 づくり

9年間の連続性による基礎学力の定着!

きめ細かな実態把握による授業力の向上
通知表5分級方式で学習状況を子ども、保護者、教師で共有化します。教科分担制で教科の魅力、学ぶ楽しさを伝えます。ステップアップ作戦とベシク作戦で学習内容の確実な定着を図ります。

繰り返し学習による基礎学力の確実な定着
パワーアップタイム130で伊勢崎式学習プリントを徹底活用します。毎日の読書活動で読む力を伸ばします。

なぜ?を大切に授業で考える力の育成
問題提示や発問の工夫、5Wの徹底で主体的に考える授業を行います。観察・実験、レポート、話し合いなど知識・技能を活用する授業を行います。

英語力 づくり

英語コミュニケーション能力の育成!

グローバル社会に対応した伊勢崎市独自のシステムで英語力の向上
小中一貫9年間の英語力向上プログラムで英語コミュニケーション能力を育てます。外国語指導助手や英語支援助手の活用で楽しく分かる授業をつくります。

定期的な振り返り活動で学習意欲の向上と英語力の定着
小学校ではイングリッシュサポートとレツトライでやる気を育てます。中学校ではBESTとライティング教材で自分の考えを表現できる力を伸ばします。

家庭学習 づくり

自ら学び、学習の楽しさを実感!

やってよかった家庭学習で学習意欲の向上

生活・学習ノート等で子どもの頑張りを認め、励まします。宿題を生かした授業で分かる喜びやできる楽しさを味わわせます。

家庭学習時間の確保と学習習慣の定着
小学校低学年30分、中学年60分、高学年90分、中学校120分を目標とします。家庭学習の手引き等で学習習慣の定着を図ります。親子で作る家庭学習ルールで集中して学習に取り組みます。

豊かな心と
礼儀を
育てます

愛 燦々プラン

生活・学習 習慣づくり

学校生活を充実!

幼小中一貫生活・学習ルールの徹底
幼小中一貫生活・学習13のルールを共通実践します。生活と学習のきまりを守らせ、規範意識を育てます。学習用具を準備して、チャイムで授業を始めます。

じっくり話す会談の充実
子ども同士や子どもと教師の絆づくりで子どもの自己存在感を高めます。家庭との連携を深めて、いじめや不登校の未然防止を目指します。

きれいな 学校づくり

5Sできれいな心と
学習環境!

身の回りの整理整頓できれいな学習環境
整理整頓を徹底し、積極的に学ぶ心構えをつくります。清掃や後かたづけ等の実践で、学びやすい環境をつくります。進んで清掃に取り組み、学校をきれいにします。

身近な取組を大切にきれいな心
気持ちのこもったあいさつや言葉づかいで心を通い合わせます。生活ノート等により、一日の行動や心のあり方を振り返らせます。トイレカピカプロジェクトで心を磨き、思いやりの心を育てます。

家庭生活の 基盤づくり

家庭・地域の絆を
強化!

家庭・地域の絆づくりの促進
いせさき家族で「いただきます」の日、「親子の会話」を推進します。地域で明るいあいさつを交わして絆を深めます。地域行事やクリーン作戦で地域への愛着心やモラル意識を高めます。

携帯電話 3つの基本ルールの徹底
携帯電話は持たせないことを原則とします。持たせる場合には保護者が責任を持ちます。伊勢崎版「携帯電話利用ルール」を守ります。

保護者・地域、
企業・大学の
力が子どもを
笑顔にします

地域の学校 いきいき プラン

夢や希望 づくり

子どもの
未来力の強化!

「未来力」学習講座の意図的・計画的な展開

家庭・地域の力を生かした魅力ある教育活動を展開します。様々な職業観や人生観に触れさせ、子ども自身に将来の生き方を考えさせます。保護者や地域の方々の力をかりて、子どもの夢や希望をつくります。子どもの夢や希望を具体的な目標に変えて、具現化を図ります。

やる気と 元気づくり

家庭・地域の
教育力の活用!

スマイルサポーターと協働した教育活動の充実

読み聞かせや教材・教具づくりで、子どものやる気を育てます。安全ハトールにより、子どもの安心安全な生活をつくります。外部人材による補習活動や部活動支援で、子どもを笑顔にします。勉強塾等にたくさん的大学生に来てもらい、個別指導を徹底します。

伊勢崎独自の 教育づくり

企業・大学との
連携!

カリキュラムパートナーとの連携拡充

大学教授やプロスポーツ選手との協働授業を行います。専門家との共同研究を行い、授業プログラムを共同開発します。企業や大学の施設を利用し、より質の高い体験や学びを目指します。いせさき未来会議を開催し、本市教育の特色づくりを推進します。

学力向上

本市では、学力向上対策推進事業として、「伊勢崎『徹底』構想 2013」における教育プランの一つとして「学力パワーアッププラン」を実施する。「学力パワーアッププラン」は、本市で目指す子ども像「『生きる力』を身に付け、実践する、自立した子ども」の具現化に向けて、「基礎・基本を身に付け、自ら学び、自ら考える子ども」の育成に重点を置き、教師・子ども・保護者の三者が一体となり、「確かな学力」を培おうとするものである。事業の内容は、①学力検査結果の分析等による児童生徒の実態把握に基づいた学力向上対策の計画的な推進を図ること、②小学校では、学年ごとに学習内容の定着を図り、継続した学力向上を目指す「ステップアップ作戦」、中学校では問題解決力等の土台となる知識・技能の確実な定着を目指す「ベシック作戦」を実施すること、③教師の専門性や特技・特性を生かした「教科分担制」の導入等により授業の質を高めるとともに、日常のきめ細かな見取りによる「通知表5分類方式」の活用により正確な学習状況を子ども自身に伝え学習意欲の向上を図ること、④「パワーアップタイム130」として授業時間外の補充学習の時間を週に130時間以上設定し、伊勢崎式学力向上プリントの小中一貫した活用や読書活動により基礎学力の定着の徹底を図ること、⑤5Words（読む・聞く・考える・書く・話す）活動を重視した「考える授業」づくりに取り組み、観察や実験、レポートの作成や論述、話し合いや発表など、知識・技能を活用する学習活動を充実させ、思考力・判断力・表現力の育成を図ること、⑥外国語指導助手（ALT）や小学校英語支援助手・中学校英語支援助手を有効活用した授業を行うなど、小中一貫した指導により英語力の育成を図ること、⑦学年に応じた目標時間を設定し、「分かる喜び」や「できる楽しさ」を味わい、学習意欲を高める「やってよかった家庭学習」に取り組みせ、自ら学ぶ習慣の確立を図ることである。

学力向上対策にかかわる全市的な教職員研修としては、「中学校区別研修会」を開催し、市内11中学校区ごとにそれぞれの校区の幼稚園・小学校・中学校の教員が全員参加して、幼稚園・小学校・中学校が連携した継続性のある教育活動の在り方を検討する。また、「共通授業研究会」を小・中学校の各校種で教科別に実施し、授業研究を基にして指導力向上を図るとともに、「実技等研修」を実施し、教員の資質や専門的な能力の向上を図る。幼稚園については、「幼稚園一日研修」を実施し、保育研究を基にして保育改善を図る。

各学校園の校区内研修を支援する体制としては、研修主任を委員とした「確かな学力向上推進委員会」を設置し、研修の計画・実施・まとめ、基礎・基本の確実な定着、学習習慣の定着化などについて協議する。

学校訪問については、学校経営上の課題解決を支援するための「経営訪問」を1学期に、校内研修で取り組んでいる学習指導上の課題解決を支援するための「要請訪問」を2学期に全学校で実施する。

児童生徒に基礎・基本の確実な定着を図るために、標準学力検査を実施し、結果等を分析し授業改善の方策を具体化して、実際の指導に役立てる。また、小学校国語・算数、中学校国語・数学・英語では、「伊勢崎式学力向上プリント」を市内の教員が作成し、授業や家庭学習等で活用する。

学校・幼稚園訪問

1 趣 旨

学習指導要領・幼稚園教育要領、群馬県教育委員会の「学校教育の指針」、本市教育委員会の「伊勢崎『徹底』構想 2013」及び「学校教育方針」に基づいた学校・幼稚園経営、教育課程の編成実施、教職員の指導力の向上、学力向上、生徒指導等の改善・充実を図るために、事務局職員等が学校・幼稚園に直接出向いて指導援助に当たる。

2 各訪問の概要

<小・中学校>

(1) 経営訪問（1学期）

学習指導要領や「伊勢崎『徹底』構想 2013」に基づいた学校経営（教育課程の編成・実施、学力向上、学習指導、生徒指導等を含む）上の課題やその解決策等について協議を行う。

(2) 要請訪問

学習指導上の課題解決のための援助を中心に、校内研修、指定研修への対応、授業研究等、学校からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

<幼稚園>

(1) 幼稚園訪問（1・2学期）

幼稚園教育要領や「伊勢崎『徹底』構想 2013」に基づいた幼稚園経営（教育課程の編成・実施、園内研修）上の課題やその解決策等について協議を行うとともに、園内研修の課題を踏まえて、指導力向上のための保育参観及び研究協議を行う。

(2) 要請訪問

幼稚園経営の課題解決のための援助を中心に、園内研修、指定研修への対応、保育研究等、園からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

進路指導

子どもに自らの進路を切り開こうとする意欲や態度を育てるためには、学校と家庭・地域社会が連携し、子ども一人一人の能力・適性を多面的に捉え、個性を伸ばす進路指導を行うことが大切である。また、子ども自身が、将来の生き方を自己の意志で選択し、自分で選んだ生き方については自分自身で責任をとることができる資質や能力を身に付けられるよう、学校の教育活動全体を通して指導・支援する必要がある。

そのために、小学校では、児童が将来への夢や職業へのあこがれをもてるよう、進路に関する学習を意図的・計画的に行うなど、小学校段階における望ましい勤労観の育成に努めている。中学校では、学級活動における進路学習と各種職場体験事業などの啓発的活動との関連を図りながら、望ましい勤労観や職業観の育成に努めている。

また、夢や希望を抱き、その実現に向けて挑戦する意欲や態度を「未来力」と規定し、子どもの「未来力」を高めるために、企業や大学をはじめ、地域で活躍する人が人間の生き方や社会のしくみ等を教える「『未来力』学習講座」を、小中9年間の全学年において実施する。

人権教育

本市では、多様化する人権問題の解決を図るため、市人権教育方針に基づいて、学校における人権教育の一層の改善と充実に努めている。

1 基本方針

- (1) 人権教育とは、人権を相互に尊重し合う人権共存の考え方を理念とし、人権という普遍的文化を構築するための教育活動であり、日常的・体験的な活動を通して推進する。
- (2) 学校教育においては、子どもの発達の段階に即し、各教科の特質に応じ、全教育活動を通じて生命や人権を尊重する心や他人を思いやる心などの豊かな人間性を育成するとともに、一人一人を大切にされた教育の充実に努める。
- (3) 人権教育の推進に当たっては、生涯学習の観点に立ち、地域の実態に即して積極的に推進されるよう努めるとともに、公教育としての主体性を守り、関係諸機関・団体との連携を図り総合的に推進する。

2 取組の概要

本市では、人権尊重の精神に基づいた教育行政を行うとともに、「伊勢崎『徹底』構想 2013」の3つの教育プランとして「学力パワーアッププラン」、「『愛』燦々プラン」、「地域の学校いきいきプラン」を位置付けている。そして、小中学校が連携した9年間の一貫教育を実施することにより、学校と家庭、地域社会が協働して、子

どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいる。また、講演会等を開催し、教師の人権意識の高揚と指導力の向上を図っている。

各学校・園においても創意工夫ある人権教育を推進するため、人権教育全体計画、推進計画及び年間指導計画の改善を図り、互いの人権を尊重し、望ましい人間関係を確立できる子どもの育成を目指している。さらに、教師自身も地域の人権教育・啓発に関する社会教育活動に参加し、自らの人権意識の高揚を図るとともに、学校・学年・学級通信や授業公開、懇談会等を通して、保護者や地域住民への啓発活動を行うよう努めている。

なお、各学校・園においては、人権に関わる講演会や校長講話、ビデオ視聴、人権標語やポスターの作成、いじめに関するアンケートや友だちの良さや頑張りを認め合う活動、老人ホームへの訪問、外国籍児童や特別支援学校との交流や車いす体験など、子どもの発達の段階に即した創意工夫ある様々な人権教育を推進している。

環境教育

環境を大切に作る心と実践力を育てる環境教育を推進するため、各学校において、伊勢崎市クリーン作戦やリサイクル活動を実施したり、省エネルギーや資源の有効利用に取り組んだりするなど、環境保全を尊重する心と循環型社会づくりに向けた実践力の育成に努めている。

平成16年度には「第41回全国花いっぱいコンクール県最優秀賞」を赤堀東小学校が、平成17年度には「第13回群馬県環境教育賞優秀賞」を第二中学校が、平成18年度には、「第14回群馬県環境教育賞最優秀賞」を殖蓮中学校が、「第7回環境美化教育優良校リサイクル部門協会会長賞」を赤堀南小学校が、平成19年度は、「第15回群馬県環境教育賞最優秀賞」を境剛志小学校がそれぞれ受賞している。平成20年度は、「第1回群馬銀行環境財団教育賞最優秀賞」を境南中学校が受賞している。地域と連携した平野部での里山づくりで平成22年度「第3回群馬県銀行環境財団教育賞特別賞」、平成23年度「第4回群馬銀行環境財団教育賞優秀賞」を殖蓮中学校が受賞している。またビオトープによる環境学習で平成23年度「第4回群馬銀行環境財団教育賞優秀賞」、平成24年度には「群馬県環境功績賞」を赤堀東小学校が受賞している。

本年度は、全小中学校でグリーンカーテンの設置や給食の牛乳パックのリサイクル活動を実践するとともに、中学校区ごとにクリーン作戦を実施する。また、総合的な学習の時間における児童生徒の主体的な環境に関する追究活動をはじめ、それぞれの学校が家庭や地域とも連携しながら特色ある活動を行っていく。



総合的な学習における環境教育学習

情報教育

将来の高度情報通信ネットワーク社会において、子どもたちが主体的に対応できるよう必要な資質を養うなど、情報社会に適切に対応していくことは今日の重要な課題となっている。

本市では、情報教育指導体制を充実させ、効果的なICT（Information and Communication Technology）機器（電子黒板や教育コンテンツ、ネットワーク等）の活用などにより、各教科や総合的な学習の時間等の学習において、子どもたちの情報活用能力の育成を図っている。また、道徳や各教科等の年間指導計画に情報モラル育成のための授業を位置づけ、携帯電話やパソコン等によるインターネットの利便性や危険性などの情報提供や啓発事業を行うなど、家庭と連携して児童生徒が安全に情報社会に参画する態度の育成を図っている。

一方、各教科等の目標を達成する際に効果的にICT機器を活用することについては、すべての教員および児童

生徒がコンピュータ等のICT機器を活用できる環境の整備を進めるとともに、情報教育主任会を中心に、ICT機器を活用した授業実践研究やICT活用に関する情報提供を行いながら、教員のICT活用能力の向上を図っていく。

また、校務の情報化や事務の効率化に向けて、PCサポーター活用の推進、校内LANの拡充、教員研修の実施、県総合教育センターとの連携などの事業を充実していく。

特別支援教育

本市には、知的障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由の各特別支援学級がある。それぞれの特別支援学級では、特別な教育課程を編成し、個々の児童生徒の実態に合ったきめ細かな指導ができるように配慮している。

知的障害特別支援学級は、現在、小学校21校、中学校10校に設置されている。自閉症・情緒障害特別支援学級は、小学校21校、中学校9校に、また、肢体不自由特別支援学級は、小学校1校に設置されている。個々の障害等の状況に応じ、知的障害が軽度の児童生徒は、主として特別支援学級に入級しているが、中度・重度あるいは知的障害を主障害とした重複障害のある児童生徒は、県立特別支援学校に入校している。

また、通級指導教室では、言語や情緒の面で、一部特別な支援を必要とする幼児や児童に対して指導を行っている。現在、北小学校（言語、情緒、LD・ADHD）、赤堀小学校（言語、LD・ADHD）、あずま小学校（言語、LD・ADHD）、境小学校（言語、情緒）の4校に「こども発達相談室」という名称で設置されている。

本年度県立移管された県立伊勢崎特別支援学校（伊勢崎養護学校）では、今まで同様に本市における特別支援教育のセンター的役割を担う学校として、来校相談や訪問相談等の相談業務、諸検査や教材開発等の支援業務、講師派遣や校内研修の参加等の研修業務も積極的に行っている。

障害のある子どもの就学指導にあたっては、学校、幼稚園等で作成した就学指導に関する基礎資料を基に市適正就学指導委員会の審査により、入級、入校等の就学方針を決定している。

現在、各学校とも、学校長のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーターが中心となり、発達障害等（LD・ADHD）の理解のための研修を行ったり、校内の支援体制を整えたりするなど、関係機関との連携を深め、教育環境の整備に努めている。

外国語指導助手

今日、経済・社会等のグローバル化が進展する中、子どもたちが21世紀を生き抜くためには、国際的共通語である英語によるコミュニケーション能力の基礎を身に付けることが必要であり、このことは子どもたちの将来のためにも、本市の発展のためにも非常に重要な課題である。

そこで、本市では、ネイティブスピーカーである外国語指導助手の有効活用に重点を置いた施策を展開し、合計20名の外国語指導助手を市内小学校、中学校、市立伊勢崎高等学校、四ツ葉学園中等教育学校に配置し、子どもたちの発達の段階に応じた英語によるコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に努めている。

1 市立中学校11校における英語指導

11名の外国語指導助手を各中学校に配置し、各学校の英語担当教員とのティーム・ティーチングにより、英語によるコミュニケーション能力の基礎を養うために、「聞くこと」「話すこと」の指導の充実重点を置いた授業を展開している。また、通常の授業指導に加えて、英語弁論大会に向けての音声指導などの支援も行っている。日常生活や学校行事など様々な場面を通じて、生徒との会話を積極的に図りながら、生徒の英会話能力の育成を目指している。



「話す」「聞く」に重点を置いた授業

2 市立伊勢崎高校・四ツ葉学園中等教育学校における英語指導

伊勢崎高校には1名、四ツ葉学園中等教育学校には2名の外国語指導助手が年間を通じて常駐し、英語担当教員とのティーム・ティーチングによる英語指導を行っている。また、クラブ活動でも英語クラブの顧問として、英会話指導に継続して当たっている。これらにより、伊勢崎高校・四ツ葉学園中等教育学校の生徒が、生きた英語を学べる魅力ある学校生活を送れるよう努めている。

3 市内小学校24校における英語指導

子どもたちが英語の授業を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けることを目指して、小学校専任6名、小中学校兼務3名、合計9名の外国語指導助手が各小学校へ週1回程度の訪問指導を行っている。各学校の学級担任とのティーム・ティーチングでは、特に音声面を重視した指導を心がけ、英語を使いながら活動を楽しむことに指導の中心を置いている。



音声面を重視した指導

4 国際理解教育の推進

市内小学生・中学生・市立伊勢崎高校・四ツ葉学園中等教育学校の児童生徒及び各学校の教職員に対して、20人の外国語指導助手が直接外国の生活や文化について伝える機会を設け、国際理解教育の推進を図っている。授業中における情報提供だけでなく、日常生活や学校行事など様々な場面を通じて、外国の言語や文化について学ぶ機会を提供している。さらに、アメリカ姉妹都市のスプリングフィールド市の学校と相互に代表が訪問し合ったりするなど、国際的に開かれた学校としての取組を行うことが計画されている。

外国籍児童生徒学校生活適応指導助手配置事業

1 趣旨

本事業は、外国籍園児児童生徒や帰国子女が学校生活に適応できるように、学校生活適応指導助手24人を配置し、日本語や日常の生活習慣を中心に指導・援助を行う。

2 事業内容

- (1) 本事業の対象となる園児児童生徒を調査・把握し、それぞれに適する適応指導助手の採用及び配置に努める。ただし、本事業の対象は、市内小中学校及び幼稚園に在籍する外国籍園児児童生徒及び帰国子女の中で、日本語が全く、あるいはほとんど通じない者など、学校生活への適応が困難な者とする。
- (2) 適応指導助手による指導・援助は、原則として該当校へ出向いて行うものとする。その計画は、事前に該当校関係者と協議して決めるものとする。
- (3) 該当校園における指導・援助は、園長、校長及び関係学級担任の指導のもとに、原則として個別指導を中心に行うものとする。ただし、実情に応じて効果のある指導形態を工夫する。
- (4) 適応指導助手による訪問指導は、原則として午前4時間、午後2時間をそれぞれ単位として、週2～5回、1ヶ月を一単位の継続指導とする。また、必要に応じて延長することができるものとする。

3 外国籍園児児童生徒数（5月1日現在）

(1) 該当校園数および該当園児児童生徒数

※公立学校に限る。 ※（ ）は適応指導を必要とする数。

幼稚園	8/10園	23 (15)	前年比	+2園	+1名
小学校	23/24校	583 (203)		+3校	+18名
中学校	10/11校	288 (48)		+2校	+13名
中等教育学校	1/1校	2 (0)			
合 計	42/46校園	896 (266)			

(2) 言語系列および国籍別園児児童生徒数〔日本国籍を含む〕

①スペイン語〔ペルー・アルゼンチンなど〕	365 (88)	前年比	+91名
②ポルトガル語〔ブラジルなど〕	275 (97)		-55名
③ベトナム語	120 (32)		+12名
④フィリピン語	73 (26)		+19名
⑤その他〔韓国・タイ・バングラディッシュなど〕	63 (23)		-44名

地域の教育力の活用

1 学校支援センター制度 ～家庭と地域の力で学校教育の充実を！～

本市では、合併後、各小中学校において「学校支援センター制度」に積極的に取り組んできた。これは「地域の学校いきいきプラン」の一環として、学校の教職員だけを子どもたちの「先生」としてとらえるのではなく、家庭や地域の方々にも「先生」として学校における教育活動に協力していただくものである。これにより児童生徒の指導に当たる大人の数を飛躍的に増加させ、学校の教育力の充実はもとより、開かれた学校運営を通じた地域から信頼される学校づくりを大きく前進させることができた。

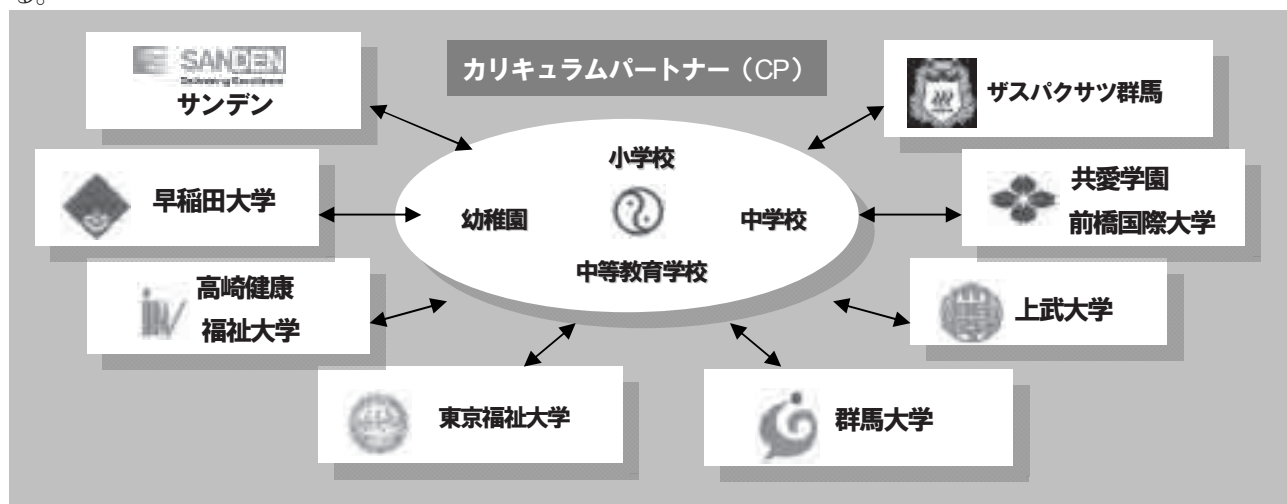
各学校では、教育力の充実と信頼される学校づくりの拠点として「学校支援センター」を設置するとともに、PTAや地域に「学校支援ボランティア」としての参加を呼びかけ、平成24年度の登録人数は15,683人であり、多くの方々の協力をいただくことができた。

2 カリキュラムパートナー制度 ～企業と大学の力で学校教育のさらなる充実を！～

企業や大学は専門性を持つ人材の宝庫で、様々な分野において最先端の取組を行っている人材がたくさんいるとともに、小中学校では考えられないような素晴らしい施設・設備を保有している。学校による活用の工夫によっては、今まで考えられなかったような大きな教育力を発揮してくれる可能性がある。

このようなことから、保護者や地域の方を学校支援ボランティアとして活用する「学校支援センター制度」に加え、もう一つの地域の教育力として、企業人や大学教授・学生を外部指導者・支援者として活用する「カリキュラムパートナー制度」を、「地域の学校いきいきプラン」の一環として、平成20年度に導入した。

現在、地元伊勢崎市やその近隣に本拠地・活動拠点を置くサンデン株式会社と株式会社草津温泉フットボールクラブ(ザスパクサツ群馬)の2企業、群馬大学教育学部・同社会情報学部や共愛学園前橋国際大学、上武大学、東京福祉大学、早稲田大学、高崎健康福祉大学の6大学と包括的協力関係に関する協定を結んでいる。



このカリキュラムパートナー制度を推進させる原動力として、「教育改革・いせさき未来会議」を設置し、これからの教育の方向性やカリキュラムパートナーとの連携事業について意見交換をしている。カリキュラムパートナーとの主な連携事業は、次のようなものがある。

サンデン	: サンデンフォレスト自然体験、キャリア講話
ザスパクサツ群馬	: プロのコーチによるサッカー教室、サッカー授業プログラム開発、キャリア講話
共愛学園前橋国際大学	: 学生ボランティア、小中一貫英語力づくりプログラム開発
上武大学	: キャリア講話、元オリンピック選手による体育授業
群馬大学教育学部	: 古典授業、小中一貫英語力づくりプログラム開発
群馬大学社会情報学部	: キャリア講話
早稲田大学	: 小中一貫英語力づくりプログラム開発、アカデミックキャンプ共同授業、特別支援教育に関する校長研修
東京福祉大学	: 学生ボランティア（夏休み勉強塾・保健室・通常授業）、キャリア講話
高崎健康福祉大学	: 食育に関する授業、キャリア講話

3 スマイルサポーター制度

本市では、学校教育をさまざまな面から支援してくれる家庭・地域や企業・大学などの地域人材をすべて「指導者」と位置付け、学校支援センターとカリキュラムパートナーの人材を合わせて「スマイルサポーター」と名付けて指導体制の改善・充実を図っている。この制度は、多様な外部人材により児童・生徒の笑顔を引き出す教育活動の充実を図るためのものである。

これまでもカリキュラムパートナーの協力により、たくさんの外部指導者や学生ボランティアが学校に入り、「できた」「分かった」「よかった」という子どもたちが笑顔になる支援をしてもらった。例えば、平成24年度に全ての小・中学校で実施した夏休み勉強塾では、東京福祉大学をはじめとする約150人を超える大学生が児童・生徒の学習支援を行ってくれた。英語活動や日本語教室にも、学生ボランティアが授業支援をしてくれた。そして、大学の先生や企業の方から話を聞く授業では、「すごい」「分かった」「もっと知りたい」といったやる気や笑顔があちこちであふれていた。家庭・地域の外部指導者・学校支援ボランティアの授業やカリキュラムパートナー（企業・大学）の外部指導者の授業でも同様である。これらの取組を継続し、さらに充実させることをねらっている。

4 「未来力」学習講座 ～ 夢や希望をもち、学習や生活の向上に自ら取り組む児童生徒を～

家庭・地域やカリキュラムパートナー（企業・大学）などのスマイルサポーターが、自己の生き方や専門分野などについて教える「未来力」学習講座を、平成23年度から小・中学校の全ての学年において実施している。これは、多種多様な外部講師とのふれあいを通して、児童生徒が夢や希望を膨らませ、それに迫るための目標に向かって努力することの大切さ、素晴らしさを感じることができるようにするものである。

例えば、憧れのサッカー選手から、成功した話だけでなく、壁にぶつかり挫折して苦しんだ話を聞く。グローバル展開している企業の方から、就職するまでの足跡や仕事上の喜びや厳しさ、現在の自分の夢やそれをかなえるために努力していることについての講話を聞く。また、生活科や社会科の現地学習でスーパーマーケットの店長さんから仕事内容の話とともに、仕事上の喜びや大変さなどの話を聞く。そうすることにより、児童生徒が、未来の自分の進路を夢や希望として考えるとともに、それをかなえるために目標をもち、自らの学習や生活の向上に日常的に取り組むようになることをねらっている。

各種補助・援助

1 要保護及び準要保護就学援助

経済的理由によって就学困難な児童生徒に対し、就学援助として、学用品、学校給食費、修学旅行費、校外活動費、医療費等を給付し、円滑な義務教育の実施を目的として行っている。

区分	小学校			中学校		
	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)
平成24年度事業	471	28,726,379	60,990	286	34,890,964	121,996
平成25年度事業計画	489	37,226,490	76,127	299	43,496,530	145,473

2 特別支援教育就学奨励

小、中学校の特別支援教育の特殊事業に配慮し、特別支援学級等の就学に必要な保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を目的として、国の援助を受けて行っている。

区分	小学校			中学校		
	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)
平成24年度事業	129	3,923,935	30,418	49	2,526,618	51,563
平成25年度事業計画	150	4,832,030	32,213	76	3,929,540	51,704

3 幼稚園就園奨励

(1) 幼稚園就園奨励費補助事業

幼稚園教育の振興充実を図るため、幼稚園に就園する3、4、5歳児及び満3歳児（満3歳に達した幼児が翌年度の4月を待たずに年度途中に入園する場合）の保護者で比較的所得の低い者に対して、国の定めた基準により保育料の減免（補助）を行っている。

平成25年度幼稚園就園奨励費補助金の保育料補助（減免）表

	市民税額による階層区分	通常の場合			小学1～3年生の兄・姉がいる場合		
		1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の年長者 (第1子)	同一世帯から2人以上就園している場合の次長者 (第2子)	同一世帯から3人以上就園している場合の左以外の園児 (第3子以降)	小学1～3年生の兄・姉 (第1子)	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者 (第2子)	同一世帯から2人以上就園している場合の左以外の園児 (第3子以降)
市立幼稚園	生活保護世帯	20,000円	50,000円	70,800円	△	35,000円	70,800円
	非課税の世帯						
	均等割だけ課税になる世帯（所得割非課税世帯）						
	上記区分以外の世帯						
私立幼稚園	生活保護世帯	229,200円	268,000円	308,000円	△	249,000円	308,000円
	非課税世帯	199,200円	253,000円	308,000円		226,000円	308,000円
	均等割だけ課税になる世帯（所得割非課税世帯）						
	所得割課税額が77,100円以下となる世帯※						
	所得割課税額が211,200円以下となる世帯※	62,200円	185,000円	308,000円		114,000円	308,000円
上記区分以外の世帯							

※夫婦「片働き」と16歳未満の子ども2人の世帯の場合

平成24年度 事業実績

＜公立幼稚園＞減免対象者	26人（8園）	減免金額	704,100円
＜私立幼稚園＞補助対象者	1,104人（31園）	補助金額	106,914,700円
合 計	1,130人		107,618,800円

(2) 第3子以降保育料軽減（無料化）事業

幼稚園就園奨励費補助金と同様に、幼稚園に第3子以降の子どもを就園させる保護者で比較的所得の低い者に対して、保育料の軽減または無料化を行っている。

ただし、公立幼稚園は就園奨励費補助金と合わせて年額保育料70,800円を、私立幼稚園は就園奨励費補助金と合わせて204,000円を減免（補助）する。

平成25年度補助（減免）限度額基準表

	市民税額による階層区分	通常の場合			小学1～3年生の兄・姉がいる場合	
		1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の年長者（第1子）	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者（第2子）	同一世帯から3人以上就園している場合の左以外の園児（第3子以降）	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者（第2子）	同一世帯から2人以上就園している場合の左以外の園児（第3子以降）
公立幼稚園	生活保護世帯	50,800円	20,800円	/	35,800円	/
	非課税の世帯					
	均等割だけ課税になる世帯（所得割非課税世帯）	70,800円	70,800円	/	70,800円	70,800円
	所得割課税額が77,100円以下となる世帯※					
私立幼稚園	生活保護世帯	4,800円	/	/	/	/
	非課税世帯					
	均等割だけ課税になる世帯（所得割非課税世帯）	88,800円			41,000円	
	所得割課税額が77,100円以下となる世帯※					

※夫婦「片働き」と16歳未満の子ども2人の世帯の場合

平成24年度 事業実績

＜公立幼稚園＞減免対象者	10人（6園）	減免金額	488,000円
＜私立幼稚園＞補助対象者	10人（5園）	補助金額	576,400円
合 計	20人		1,064,400円

4 奨学金制度

本市の奨学金制度は、旧伊勢崎市、旧赤堀町、旧東村、伊勢崎佐波広域組合にあった制度を統合し、平成17年1月1日伊勢崎市奨学金条例が設けられた。

貸与額

区 分	金 額
高等学校 年額	120,000円
大学 年額	300,000円

給与額

入学時給付金	30,000円
--------	---------

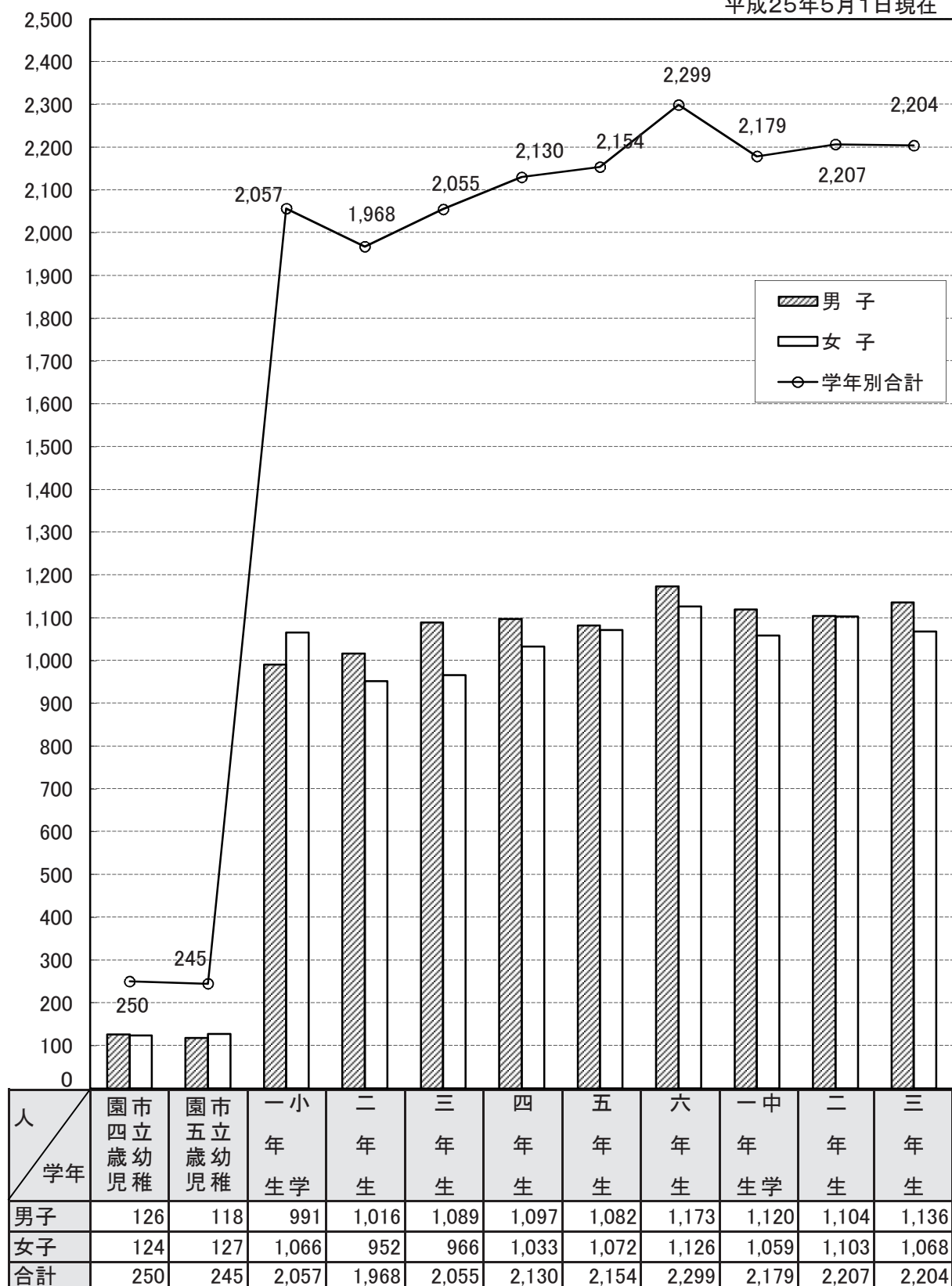
貸与利用状況

	高等学校	大 学	計
平成24年度	2人	14人	16人
平成25年度	2人	9人	11人

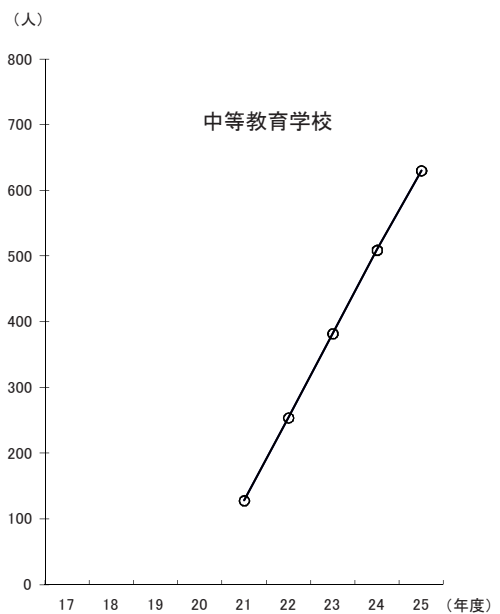
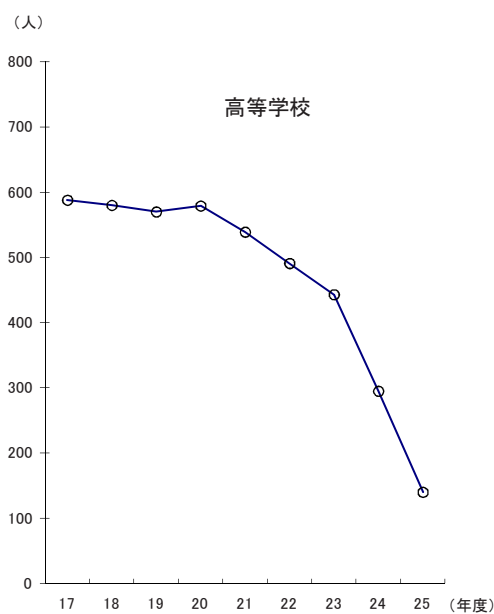
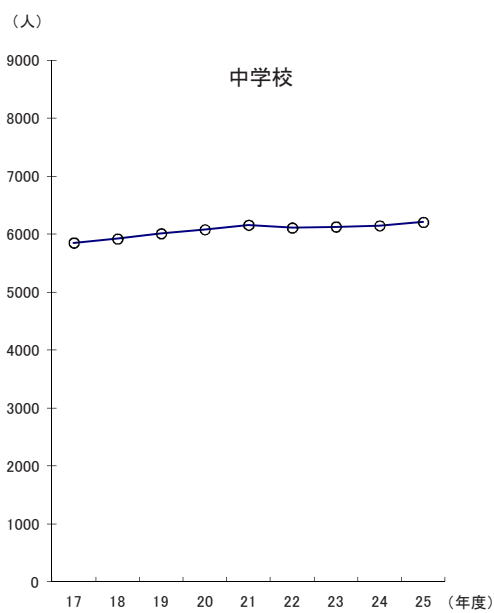
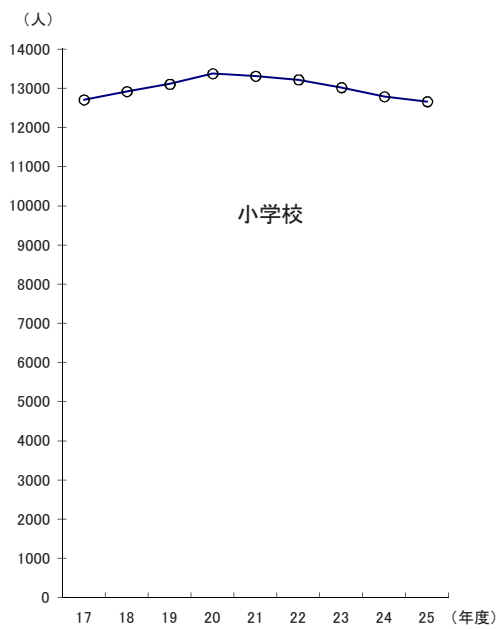
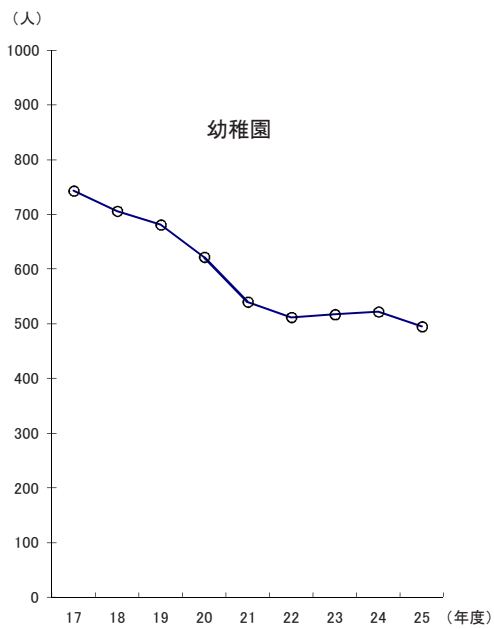
園児・児童生徒数

学年別・男女別構成図

平成25年5月1日現在



※中学1年生～3年生の生徒数には、中等教育学校の1年生～3年生の生徒数を含んでいます



25年5月1日現在児童生徒数 男女別

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
小学校	北小	40	36	76	32	38	70	38	41	79	41	31	72	36	33	69	47	30	77	234	209	443
	南小	30	33	63	26	27	53	29	32	61	36	31	67	31	32	63	34	40	74	186	195	381
	殖蓮小	60	46	106	57	48	105	70	59	129	61	60	121	59	54	113	73	70	143	380	337	717
	茂呂小	54	69	123	65	60	125	71	61	132	68	53	121	59	52	111	59	65	124	376	360	736
	三郷小	42	52	94	77	50	127	53	56	109	65	62	127	66	76	142	64	54	118	367	350	717
	宮郷小	75	69	144	60	82	142	63	59	122	77	53	130	77	65	142	76	81	157	428	409	837
	名和小	38	55	93	35	37	72	44	41	85	40	38	78	45	39	84	46	42	88	248	252	500
	豊受小	50	61	111	45	51	96	53	48	101	46	48	94	46	59	105	65	63	128	305	330	635
	北二小	18	18	36	14	22	36	20	13	33	14	29	43	22	17	39	29	13	42	117	112	229
	殖二小	49	35	84	29	29	58	54	33	87	34	41	75	40	36	76	32	49	81	238	223	461
	広瀬小	42	53	95	54	35	89	58	38	96	57	64	121	57	72	129	62	67	129	330	329	659
	坂東小	38	53	91	33	35	68	47	42	89	54	44	98	55	55	110	41	45	86	268	274	542
	宮二小	68	65	133	65	74	139	72	60	132	82	62	144	85	85	170	68	105	173	440	451	891
	赤堀小	55	42	97	60	47	107	62	47	109	59	60	119	37	60	97	60	56	116	333	312	645
	赤南小	52	56	108	62	35	97	45	49	94	56	51	107	58	42	100	54	35	89	327	268	595
	赤東小	38	43	81	30	34	64	30	44	74	31	37	68	35	45	80	37	29	66	201	232	433
	あずま小	42	43	85	42	52	94	44	46	90	55	51	106	55	37	92	50	53	103	288	282	570
	あずま南小	51	62	113	55	46	101	57	47	104	44	58	102	55	51	106	61	69	130	323	333	656
	あずま北小	41	44	85	37	43	80	42	36	78	39	36	75	39	39	78	44	45	89	242	243	485
	境小	20	26	46	44	22	66	34	19	53	27	30	57	22	29	51	37	25	62	184	151	335
	境采女小	30	43	73	34	40	74	30	40	70	36	27	63	45	27	72	56	29	85	231	206	437
	境剛志小	31	37	68	28	26	54	35	29	64	43	42	85	33	39	72	42	41	83	212	214	426
	境島小	1	2	3	2	1	3	2	0	2	2	3	5	1	2	3	3	1	4	11	9	20
境東小	26	23	49	30	18	48	36	26	62	30	22	52	24	26	50	33	19	52	179	134	313	
小学計		991	1066	2,057	1016	952	1,968	1089	966	2,055	1097	1033	2,130	1082	1072	2,154	1173	1126	2,299	6,448	6,215	12,663
中学校	第一中	78	98	176	99	100	199	102	89	191									279	287	566	
	第二中	116	97	213	110	123	233	103	85	188									329	305	634	
	第三中	103	106	209	101	131	232	103	94	197									307	331	638	
	第四中	102	98	200	98	92	190	107	103	210									307	293	600	
	殖蓮中	98	83	181	76	94	170	97	105	202									271	282	553	
	宮郷中	162	147	309	169	136	305	146	129	275									477	412	889	
	赤堀中	145	131	276	133	103	236	122	129	251									400	363	763	
	あずま中	126	127	253	121	125	246	145	132	277									392	384	776	
	境北中	36	26	62	32	42	74	42	41	83									110	109	219	
	境西中	38	35	73	42	32	74	39	41	80									119	108	227	
	境南中	54	46	100	61	59	120	69	54	123									184	159	343	
	中学計		1058	994	2,052	1042	1037	2,079	1075	1002	2,077									3,175	3,033	6,208

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
	四ツ葉学園	62	65	127	62	66	128	61	66	127	62	65	127	60	61	121	0	0	0	307	323	630

幼稚園

園名	4歳児			5歳児			男計	女計	合計
	男	女	計	男	女	計			
第一	6	7	13	15	6	21	21	13	34
南	11	5	16	8	10	18	19	15	34
殖蓮	11	14	25	18	14	32	29	28	57
茂呂	5	9	14	7	8	15	12	17	29
三郷	9	9	18	8	5	13	17	14	31
宮郷	14	15	29	11	12	23	25	27	52
名和	5	6	11	9	7	16	14	13	27
豊受	4	8	12	1	8	9	5	16	21
あかぼり幼	26	29	55	21	34	55	47	63	110
あずま幼	35	22	57	20	23	43	55	45	100
幼稚園計	126	124	250	118	127	245	244	251	495

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計			
	伊市高			0			0	37	103	140	37	103	140

学校体育保健

1 基本方針

- (1) 体力の向上
- (2) 健康・安全教育の推進
- (3) 食育の推進
- (4) 学校体育・保健関係団体の充実
- (5) 臨海学校の充実

2 重点施策

(1) 体力の向上

ア 新体力テストの実施と体力の向上

各学校の体力の現状に応じて、児童生徒が継続的に体力向上に取り組めるよう努める。

イ 運動部活動の充実と指導者及び選手の育成

中学校における適正な部活動運営に基づき、学校と地域・家庭、外部指導者等と積極的に連携しながら、県・関東・全国大会に出場できる選手の育成を図る。

(2) 健康・安全教育の推進

ア 健康診断の充実と健康管理の徹底

健康診断や健康観察等から児童生徒の健康状態を的確に把握するとともに、事後指導の徹底に努める。

インフルエンザ等の感染症から児童生徒を守るため、基本的な生活習慣の確立や手洗い・うがい・咳エチケットの励行を各学校・園に啓発し、蔓延予防に努める。

「学校における麻しん対策ガイドライン」に従い、定期予防接種の勧奨と発生の予防に努める。

イ 登下校における安全管理の徹底

各学校・園において、通学路上の危険箇所調査を実施して個々の通学状況を把握するとともに、各学校・園と保護者、地域、関係各課、警察署、交通指導員、土木事務所等の連携により、通学路の安全確保に努める。

交通安全については、自転車の安全利用（ヘルメット着用、一時停止励行等）の徹底を図るとともに、交通規則の厳守・励行の指導強化及び危険回避能力を育成するための安全教育の充実に努める。

ウ 自動体外式除細動器（AED）のメンテナンスとAED 普通救命講習会の受講

全学校・園へ配備された自動体外式除細動器（AED）のバッテリーやパッド交換のメンテナンスを行うとともに、各学校・園における普通救命講習会開催を促進し、万一の時に備えた万全の体制を整える。

エ 薬物及びエイズを含む性に関する指導の徹底

飲酒・喫煙・薬物乱用防止に関する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができるよう関係機関と連携した薬物乱用防止教育の開催に努める。

発達段階に応じた性教育（エイズ含む）を実施し指導の充実に努める。

オ 生活安全指導の徹底

各学校・園の部活動、クラブ活動、休憩時間等の日常生活における事故防止の徹底

と避難訓練（火災・地震）、防犯訓練（不審者侵入）の充実に努める。

カ 学校安全・学校保健・学校給食の点検の徹底

学校安全・学校保健・学校給食の点検を例月実施して、その結果を点検集約票にまとめるとともに施設設備の遊器具の安全確保に努める。

(3) 食育の推進

ア 望ましい食習慣育成のための食育の充実

「3食スマイルプロジェクト」の推進を図り、基本的な生活習慣の確立、心身の成長や健康の保持増進、家族のコミュニケーションを通じた親子の信頼関係の構築等、豊かな人間形成の基礎とする。

イ 食に関する指導の充実

地場産農作物を活用した給食の提供や職員研修として講演会や授業研究の機会を設ける等、学校における食に関する指導の充実に努める。

(4) 学校体育・保健関係団体の充実

ア 小学校体育研究会の充実

児童の水泳・陸上記録会の開催とザスパクサツ群馬との体育授業プログラムやなわとび指導者講習会の実施及び研究会の充実に努める。

イ 中学校体育連盟の充実

春季大会、総合体育大会、新人大会の運営の充実と生徒の競技力の向上を図る。

ウ 学校保健会の充実

講演会及び学校保健発表会の開催、機関誌「すこやか」の発行等により充実に努める。

エ 小・中学校体育主任会の充実

学校体育・保健体育の指導及び部活動等、児童生徒の体力向上に関して小・中学校並びに伊勢崎市教育研究所との連携を図る。



ザスパクサツ群馬との体育授業プログラム

(5) 臨海学校の充実

ア 集団宿泊学習の充実

海水浴の訓練、キャンプファイヤー、レクリエーション、水族博物館見学、係活動等を通して、集団行動の楽しさや秩序の大切さを指導する。

イ 臨海学校運営委員会・実施校合同会議の開催

臨海学校の充実、発展のために伊勢崎市・玉村町教育委員会と伊勢崎市・玉村町 29校の連携と連絡を図る。

ウ 臨海学校指導者研修会の実施

臨海学校の目的を達成するために、入校学年の教諭等を対象とした事前研修の充実に努める。

エ 臨海学校金山海水浴場ボランティア清掃の実施

児童の活動場所である金山海水浴場の清掃をボランティア活動として行い、美化の一助とするとともに、臨海学校周辺地域への感謝の意を表す。

日本スポーツ振興センター

学校管理下における児童・生徒の負傷に備え、日本スポーツ振興センターに加入しております。

1. 月別災害発生件数（平成24年度）

（単位：件）

月 区別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
	幼稚園	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	
小学校	36	66	87	36	11	45	68	76	47	46	43	26	587
中学校	46	48	55	58	35	90	33	49	34	34	58	34	574
特別支援学校	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
中等教育学校	0	2	6	2	4	7	4	10	2	5	1	5	48
高等学校	3	4	1	3	0	3	1	0	0	5	0	0	20
合 計	86	120	151	99	51	146	106	136	83	90	102	65	1,235

2. 傷害発生件数（平成24年度）

（単位：件）

種別 区別	捻挫		骨折		打撲	挫傷・挫創	擦過傷	裂創・切傷	頭部外傷	脱臼	歯牙損傷	眼球外傷	その他	合 計
	上肢	下肢	上肢	下肢										
幼稚園	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	4
小学校	46	71	111	35	57	92	8	23	32	4	30	37	41	587
中学校	52	102	108	57	68	59	6	7	9	7	5	25	69	574
特別支援学校	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
中等教育学校	2	11	11	6	2	4	0	1	1	2	0	2	6	48
高等学校	3	2	4	0	5	3	0	0	1	0	0	0	2	20
合 計	103	186	235	99	133	159	14	33	43	13	35	64	118	1,235

3. 災害発生の場合別件数（平成24年度）

（単位：件）

場合別 区別	各教科 (保育中)	特別活動	部活動	休憩時間		始業前 授業終了後	登下 校中	その他	合 計
				業間	昼食時				
幼稚園	3	1	0	0	0	0	0	0	4
小学校	155	34	0	100	112	83	62	41	587
中学校	143	17	296	17	34	10	35	22	574
特別支援学校	0	0	0	0	2	0	0	0	2
中等教育学校	15	4	24	0	1	1	3	0	48
高等学校	3	1	13	0	0	1	2	0	20
合 計	319	57	333	117	149	95	102	63	1,235

伊勢崎高等学校

1 施設概要

校舎 64 室（普通教室 27 室・特別教室 26 室・演習室・少人数教室 10 室、※各室冷暖房完備）
体育館 1 階：セミナーハウス（冷暖房完備宿泊室 2 室・浴室 2 室・洗面所室等）、トレーニングルーム（各種トレーニングマシン）、多目的ホール、柔道場、茶室
2 階：アリーナ 2 室、ステージ、管理室、器具庫

2 校訓(創立の精神)

真 善 美 聖

3 教育目標

(1) 人格の発達

真の学力、強靱な体力、豊かな情操を育み、人格を発達させることを目指す。

(2) 個性の伸長

個人の尊厳と自他の敬愛や協力の精神を養い、豊かな個性の伸長を目指す。

(3) 文化の継承・発展

先人の築いた文化、真理、正義を受け継ぎ発展させることを目指す。

(4) 自立した人間の育成

民主的で平和な社会を形成する一員として、自立した人間の育成を目指す。

4 行事

月別	主な行事	月別	主な行事
4 月	始業式・対面式・離任式	10 月	中間試験
5 月	高校総体・中間試験	11 月	
6 月	期末試験	12 月	期末試験・終業式
7 月	終業式	1 月	始業式・期末試験（3 年）
8 月	始業式	2 月	期末試験
9 月	体育祭	3 月	卒業式・閉校式

5 進路状況

年度	大学	短大	専・種	就職	その他	合計
平成20年度	43	34	60	31	11	179
平成21年度	77	27	67	9	13	193
平成22年度	60	36	63	22	9	190
平成23年度	45	25	39	19	14	142
平成24年度	48	26	54	16	2	146

平成 24 年度地域別就職者数			
伊勢崎	7	東京	0
市外	9		
県内小計	16	小計	0
		合計	16

四ツ葉学園中等教育学校

1 概要

所在地 群馬県伊勢崎市上植木本町 1702 番地 1
職員数 校長、教頭、教諭 51 人、養護教諭 1 人、事務職員 1 人 合計 55 人
生徒数 630 人（1 年 127 人、2 年 128 人、3 年 127 人、4 年 127 人 5 年 121 人）

2 教育理念

未来・世界にはばたく、高い知性と道徳性を身に付けた教養人を育成する。

3 教育目標

教育理念の実現に向け、4 つの目標（四ツ葉）を柱に、6 年間の一貫教育を推進する。

(1) 自 学

高い志をもち、自ら考え、自ら探究する。

(2) 自 律

自らを律し、強い気力をもち、豊かな道徳性を身に付ける。

(3) 共 同

大学・企業から学び、知識を深め、創造性を高める。

(4) 共 生

集団の一員としての自覚をもち、共に認め、共に磨く。

4 特色ある教育

(1) 中等教育学校のメリットを最大限に活用

- ①6 年間の一貫教育で夢と希望を実現
 - ・発達段階に応じた 3 段階の学習ステージ（「**基礎期**」「**充実期**」「**発展期**」）
- ②高校入試の影響を受けない教育活動
 - ・継続的・効率的な学習・生活・部活動等の実施
- ③中等教育学校ならではの教員配置
 - ・前期課程から義務校及び高等学校にて経営豊かな教師をバランスよく配置
- ④上級生と下級生の交流の充実（**サポートリーダー制**）
 - ・上級生から下級生へ学習・生活・進路面等でのアドバイスを受ける機会を設置
- ⑤教育効果を高める充実した施設
 - ・セミナーハウス（宿泊室・浴室・和室）、トレーニングルーム、進路指導室など

(2) 一人ひとりの学力を徹底的に伸ばす SUP

学習習慣の定着や基礎学力の養成及び、さらなる学力向上のため、授業以外の学習時間として、スキルアッププログラム（SUP）を導入しています。毎朝の始業前に読書などを行う「**朝 SUP**」、放課後に学習内容を補充したり英検・数検・漢検などの検定試験学習をしたりする「**7・8 SUP**」、土曜日に各教科のさらなる学力向上を図る「**土曜 SUP**」、夏期休業中に基礎学力の強化や発展的学習による学力向上を図る「**夏季 SUP**」、夏期休業中に自学自習を行い、教科の先生方のサポー

トを受けることもできる「合宿SUP」などを、年間を通して計画的に実施し一人ひとりの学力を伸ばします。

(3) 知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びをつかみとるチャレンジ学習

伊勢崎市とカリキュラムパートナー関係にある企業及び大学や地域の方々と連携し、学校では学ぶことのできない専門的な知識や技能の習得にチャレンジする授業の実施など、特色ある教育活動を展開しながら生徒の知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びをつかみとることができるようにします。



1年生は、サンデン株式会社と連携し、環境についての探究学習「森に学ぶ」を行います。2年生は、早稲田大学と連携した「アカデミックキャンプ」において、「環境」「ものづくり」「伝統文化」「多文化理解」の4領域で最先端の知識・技能に触れる活動を行います。3年生は、首都圏の総合大学や一流企業を訪問する「キャリアディスカバリー」を行い、社会人としての資質の向上を図るとともに、一人ひとりの将来へのビジョンを具体化します。

(4) グローバル社会を見据え、世界を目指す人づくり



これからの世の中は、グローバル化が一層進みます。子どもたちの視野を世界に広げ、国際社会で活躍のできる生徒を育成します。

そこで、3年生の希望者30名は米国ミズーリ州スプリングフィールド市にある**ミズーリ州立大学附属の語学学校(ELI)**において、2週間の語学研修を実施します。

また、4年生は9月に2泊3日の「**グローバルスタディーズキャンプ**」を高山村で実施し、英語のコミュニケーション能力の向上とグローバル化する社会に対応する力を培います。

5年生は、ミズーリ州立大学で11日間の**海外グローバルリーダー研修**を実施します。生徒の英語力の向上はもちろん、視野を世界に広げ、生徒が自分の未来に、そして世界にはばたいていける教育を推進します。

5 行事

月別	主な行事	月別	主な行事
4月	始業式、入学式 宿泊オリエンテーション(1年)	10月	中間試験、学力テスト 学校公開、体育祭
5月	高校総体、中間試験、母校訪問(1年) 音楽教室、海外グローバル研修(5年)	11月	小学校対象入学者選抜説明会 キャリアディスカバリー(3年)
6月	マラソン大会 学校説明会、期末試験	12月	期末試験 合唱コンクール
7月	中体連総体、キャリア講話 夏季SUP(前期)、情報モラル教室	1月	入学者選抜検査
8月	海外語学研修(3年)、 合宿SUP(1年) 夏季SUP(後期)	2月	入学予定者オリエンテーション 社会人の取材活動(2年) 期末試験
9月	アカデミックキャンプ(2年) グローバルスタディーズキャンプ(4年)	3月	関西伝統文化研修(3年) 終業式、春季SUP

教育研究所

1 概要

- (1) 根拠条例 伊勢崎市教育研究所条例（平成 17 年 1 月 1 日条例第 95 号）
伊勢崎市教育研究所条例施行規則（平成 17 年 1 月 1 日教育委員会規則第 28 号）

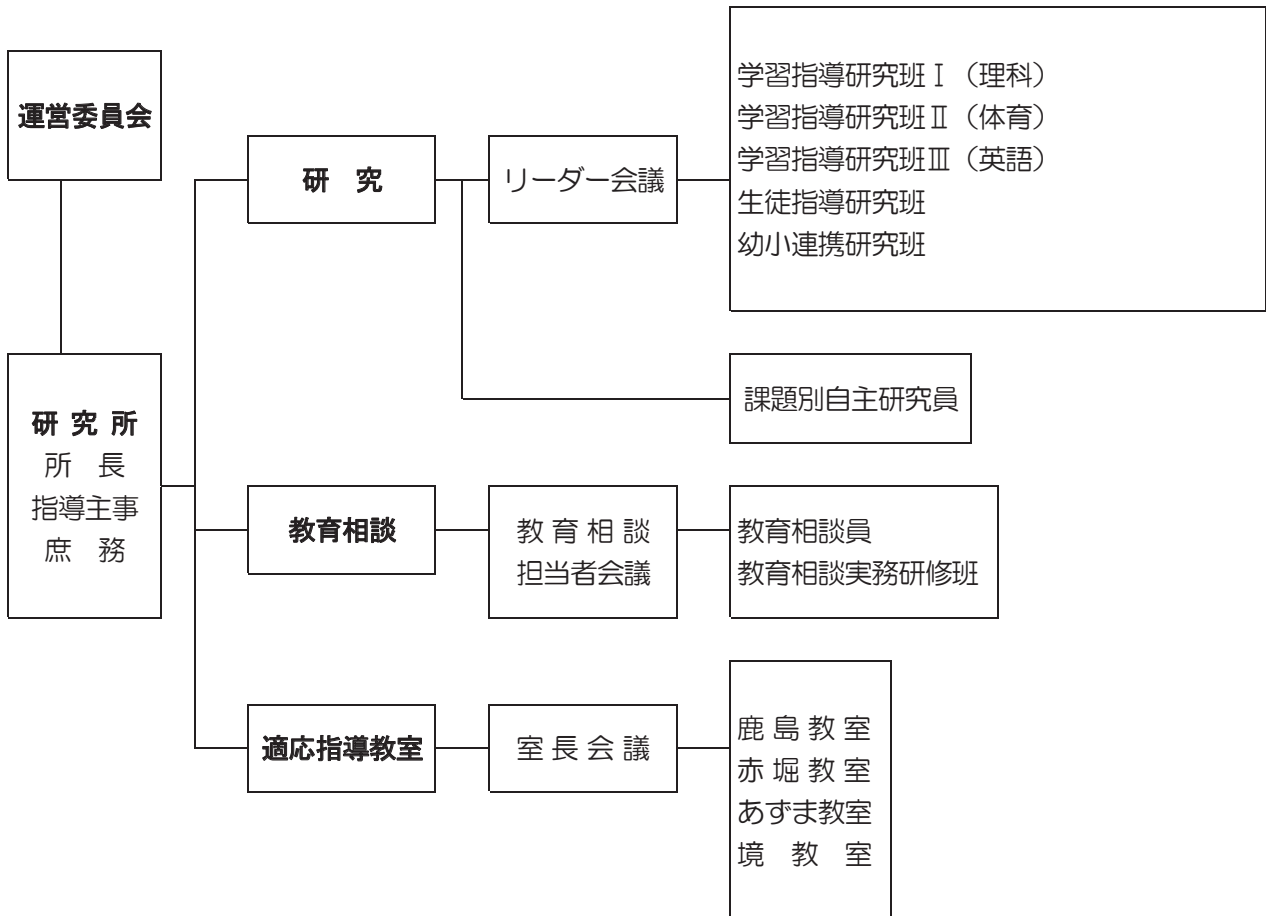
(2) 基本方針

伊勢崎市教育行政方針を踏まえ、教職員の資質の開発、向上及び学校教育の課題解決に寄与するために、研究事業、教育相談事業、不登校対策事業、研修講座事業、教育資料提供事業を実施する。

(3) 努力点

- ア 学校の教育課題の即時解決に向けた実践研究及び情報発信に努める。
- イ 教育相談技術の向上と教育相談体制の改善・充実に努める。
- ウ 不登校児童生徒の集団や学習への適応力を培うために、体験活動を重視するなど子どもに寄り添った指導を行う。

(4) 組織



〈運営委員会〉	小学校長顧問、中学校長顧問、幼稚園長顧問、 小学校教頭顧問、中学校教頭顧問 学校教育課長、教育企画係長、教職員係長、指導係長、管理主事、指導主事、 所長、研究所担当指導主事
〈リーダー会議〉	研究班リーダー、所長、研究所担当指導主事
〈教育相談担当者会議〉	教育相談員、教育相談実務研修員、研究所担当指導主事
〈室長会議〉	適応指導教室室長、所長、研究所担当指導主事

2 研究事業

(1) 研究班

ア 研究テーマ

- (ア) 学習指導研究班Ⅰ（理科）
「主体的に観察・実験に取り組む児童生徒の育成」
～導入で使える活動例の活用と充実を通して～
- (イ) 学習指導研究班Ⅱ（体育）
「できる実感を味わい工夫を楽しむ、運動好きな児童の育成」
～個に応じた「体づくり運動」の実践を通して～
- (ウ) 学習指導研究班Ⅲ（英語）
「英語コミュニケーション能力を身に付けた児童生徒の育成」
～小中一貫英語力向上プログラムの改善を通して～
- (エ) 生徒指導研究班
「不登校の未然防止・早期解決に向けた実践的研究」
～子どもの心の居場所づくりの実践を通して～
- (オ) 幼小連携研究班
「幼小のなめらかな接続を図るための実践的研究」
～集団の一員としての自覚を育てる活動の実践を通して～
- (カ) 課題別自主研究班

研究員の課題をもとに班を編制して研究を推進する。ただし、既存の教育団体としての活動にもとづく課題は除く。なお、教育研究所長は提出された研究計画書の内容が教育研究所における研究にふさわしいと判断される場合、所属長をとおして参加希望者に研究承諾書を交付する。

- ・日本語教室における指導の改善について

- イ 研究日及び研究時間 水曜日 15:30～16:45
- ウ 研究の報告 ○随時、教育研究所だより等により発信。
○年度ごとに研究の記録としてまとめる。

3 教育相談事業

(1) 教育研究所教育相談員による教育相談

- 学校及び適応指導教室との連携に努める。
- 教育相談実務研修員と協力しながら教育相談に努める。

(2) 教育相談実務研修員による教育相談

- 教育相談技術の向上と教育相談技術中級以上の取得を目指す。
- 火～金曜日（14:30～16:45）に教育研究所教育相談員と2人体制で実施する。

4 不登校対策事業

(1) 適応指導教室の運営

- 乗馬体験や自然体験活動等の体験活動を効果的に取り入れ、児童生徒相互のかかわり合いを深めることにより、集団に適応する力を培う。
- サポートケース会議を活用し、専門家から得た助言等を指導・支援に生かす。
- 室長会議や教育相談研究協議会を定期的に開催し、適応指導教室間及び適応指導教室と学校・家庭・関係機関との連携を図ることにより、不登校の未然防止・早期解決に努める。

(2) サポートケース会議

○不登校児童生徒の自立及び学校復帰にかかわる諸問題の早期解決を目指し、心療内科医師、臨床心理士、児童相談所職員等の専門家を招聘し、今後の支援等について協議する。

(3) 教育相談研究協議会

○学校関係者との共通理解の下、以下の内容について重点的に研究協議し、不登校・いじめの未然防止、早期発見に努める。

- ・適応指導教室と学校・家庭・関係機関等との具体的な連携のあり方について
- ・不登校問題の未然防止、不登校の早期解決に向けた取り組み方について

5 研修講座事業

(1) 教育相談研修講座

- 期日 年間計画により実施（年9回12講座程度）
- 内容 教育相談技術初級取得並びに教育相談技術の向上のための講座
- 対象 各幼稚園、各学校から初級未取得者1名程度

(2) 幼稚園夏季研修講座

- 期日 7月26日（金）の午後実施
- 内容 幼稚園教員の資質の向上と幼稚園の教育内容及び指導方法の工夫・改善・充実
幼稚園の保育と小学校の学びがなめらかに接続していける指導方法の工夫
- 対象 各幼稚園 園長・教頭・教諭（市内私立幼稚園等へ紹介）
各小学校 主に小学校1年生担任

(3) 夏季研修講座

- 期日 8月8日（木）、9日（金）の午後実施
- 内容 市教育課題の解決（郷土の歴史教材の活用、小学校低学年からの英語教育の価値等）
- 対象 各小・中学校から、教職経験年数や校務分掌に応じて2人以上の参加者を募集
教育研究所研究員・研修員
各幼稚園 園長・教頭・教諭（市内私立幼稚園等へ紹介）
学校経営研修講座受講者

(4) 特別研修講座

- 期日 10月2日（水）の午後実施
- 内容 市教育課題の解決（ミドルリーダーと若手職員に期待すること等）
- 対象 教育研究所研究員等

6 教育資料提供事業

- (1) 教育資料の整備・充実
- (2) 学校及び市民への情報提供

7 その他

- (1) 群馬県総合教育センター、群教連、関教連との連携
- (2) その他の機関との連携



H24 特別研修講座講演
「ミドルリーダーと若手職員に期待すること」
講師：群馬県教育委員会 委員長
清水 和夫 先生

IV 学校給食



学校給食の充実

1 基本方針

発育期にある児童・生徒が健全な心と身体を培い、未来や国際社会に向かって羽ばたくことができるようにするとともに、心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らすことができるようにすることが大切です。

2 重点施策

(1) 学校給食を活用した食育指導の充実

- ア 栄養教諭、栄養士による食に関する指導の実施
- イ 地場産農作物を利用した給食の提供



給食時間における食育指導の様子

(2) 平成25年度給食実施計画

ア 給食実施校

幼稚園	2園
小学校	24校
中学校	11校
特別支援学校	1校
計	38校(園)

給食予定回数 幼・小・中・特別支援学校 200回以内

調理場	給食対象校
第一学校給食調理場 (給食能力 9,000食)	南小学校・茂呂小学校・名和小学校・豊受小学校・広瀬小学校・坂東小学校・養護学校(小学部)、第一中学校・第二中学校・第四中学校・養護学校(中学部) 10校
第二学校給食調理場 (給食能力 9,000食)	北小学校・殖蓮小学校・三郷小学校・宮郷小学校・北第二小学校・殖蓮第二小学校・宮郷第二小学校、第三中学・殖蓮中学校・宮郷中学校 10校
赤堀学校給食調理場 (給食能力 2,500食)	あかぼり幼稚園、赤堀小学校・赤堀南小学校・赤堀東小学校、赤堀中学校 5校
あずま学校給食調理場 (給食能力 2,700食)	あずま幼稚園、あずま小学校・あずま南小学校・あずま北小学校、あずま中学校 5校
境第一学校給食調理場 (給食能力 2,000食)	境小学校・境島小学校・境東小学校、境南中学校 4校
境第二学校給食調理場 (給食能力 3,000食)	境采女小学校・境剛志小学校、境北中学校・境西中学校 4校

イ 給食費

年間給食回数 200回以内

幼稚園（旧佐波）年間 43,200 円 小学校 年間 43,200 円
 中学校 年間 51,600 円

ウ 給食の状況（平成 25 年 4 月現在）

区 分	第一学校給食	第二学校給食	赤堀学校給食	あずま学校給食	境第一学校給食	境第二学校給食
幼稚園園児数			118	109		
幼稚園職員数			9	8		
小学校児童数	3,497	4,386	1675	1,680	677	871
小学校教職員数	192	249	93	92	57	52
中学校生徒数	1,805	2,063	712	756	367	447
中学校教職員数	122	131	45	46	29	39
養護学校児童生徒数	113					
養護学校教職員数	69					
調理場等職員数	37	40	19	18	13	12
合 計	5,835	6,869	2,687	2,686	1,143	1,421

エ 栄養摂取基準量

区 分	小 学 校 (中学年)	中 学 校	1 日の栄養所要量に対する 学校給食の割合 (%)
エネルギー (Kc a l)	640	820	33
たんぱく質 (g)	24	30	12~20
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の 25%~30%		
食塩相当量 (g)	2.5 未満	3.0 未満	
カルシウム (m g)	350	450	
鉄 (m g)	3	4	33
マグネシウム (m g)	80	140	50
食物繊維 (g)	5.0	6.5	
亜鉛 (m g)	2	3	33
ビタミンA (μ g RE)	170	300	40
ビタミンB1 (m g)	0.4	0.5	40
ビタミンB2 (m g)	0.4	0.6	40
ビタミン (m g)	20	35	33



献立…岡山県の郷土料理
 ごはん、牛乳、さわらの一夜干し
 からうま（きんぴら）、すまし汁、
 ピーチゼリー

オ 学校給食運営委員会 委員数 15 人

事業計画に関する事項、学校給食費に関する事項、その他学校給食センターの運営に関し、必要な事項を審議する。

会議は、年 2 回開催する。

カ 学校給食年間指導計画

平成 25 年度の教育行政方針に基づき、学校給食の充実を図るため、学校給食年間指導計画を作成し、成長過程にある児童・生徒が、食生活の正しい理解と望ましい食習慣を身に付けられるよう、学校栄養士による食に関する指導を行う。

平成25年度 学校給食年間指導計画

月	目 標	ね ら い	学級訪問 放送資料 掲示物 等	献立作成		
				献立作成 の留意点	おもな行事	群馬県の伝統食 日本の郷土料理 世界の料理 リクエスト給食
4	給食について知ろう	給食時の身支度や配膳の方法、食事のマナーを知り、楽しい学校給食にしよう	学校給食について・入学、進級祝い・すいとん・岡山県	旬の食べ物	入学・進級	伝ーすいとん 郷ー岡山県(からうま)
5	衛生に注意しよう	手洗いの仕方や身支度、食中毒予防について考える	衛生について・端午の節句・粉食文化・福岡県・アメリカ	日本型食生活	端午の節句	伝ー山菜うどん 郷ー福岡県(筑前煮) 世ーアメリカ (ハンバーガー)
6	よくかんで食べよう	歯の働きについて知り、よくかんで食べることの大切さを知る	歯の衛生週間・まぜご飯・高知県・フランス	かみごたえのある食べ物	歯の衛生週間 食育月間	伝ー混ぜごはん 郷ー高知県 (かつお南部揚げ) 世ーフランス (ジュリエヌスープ) リクエスト
7・8	夏の健康と食生活について考えよう	夏の食事と健康について考え、暑さに負けない体をつくる	夏の食事について・七夕・沖縄県・インド	食欲増進	七夕	郷ー沖縄県 (ゴーヤチャンプルー) 世ーインド (キーマカレー)
9	食生活の見直しをしよう	朝食の大切さを知り、望ましい食習慣を身につける	鉄分について・十五夜・凍り豆腐・韓国	鉄分強化	お彼岸 お月見 運動会	伝ー凍り豆腐のみそ汁 世ー韓国(トッポギ)
10	群馬県の食と農を知ろう	群馬県や伊勢崎の特産物について知り、食と農に興味関心を抱く	学校給食ぐんまの日・焼きまんじゅう・青森県	地場産物活用	学校給食 ぐんまの日	伝ー焼きまんじゅう 郷ー青森県 (せんべい汁)
11	感謝して食べよう	食べ物の命や給食や届くまでに関わる人へ感謝して食べ、食べ残しについて考える	食物繊維について・いせさき家族でいただきますの日・あまねじ・鹿児島県	食物繊維強化	収穫祭	伝ーあまねじ 郷ー鹿児島県 (さつま汁) リクエスト
12	冬の健康と食生活について考えよう	冬の食事を考え、寒さに負けない体をつくる	体を温める食材について・冬至・ふるさと汁・北海道	ビタミン強化	冬至 クリスマス	伝ーふるさと汁 郷ー北海道 (いももち)
1	給食の歴史を知ろう	給食の生い立ちと歩みを知り、給食に関心を抱く	学校給食週間・小正月・鏡開き・豆腐入り雑煮・カナダ	旬の食べ物	小正月 鏡開き 学校給食週間	伝ー豆腐入り雑煮 世ーカナダ (サーモン)
2	バランスの良い食事をしよう	バランスのよい食事の摂り方について知り、好き嫌いをなく食べる	大豆・大豆製品について・節分・呉汁・秋田県	大豆・豆製品強化	節分	伝ー呉汁 郷ー秋田県 (きりたんぼ) リクエスト
3	1年間の給食の反省をしよう	自分の食生活を見直し、改善しようという意欲を持つ	食生活を振り返ろう・ひな祭り・卒業祝い・ごまよごし・長崎県	栄養バランス	ひな祭り 卒業祝い	伝ーごまよごし 郷ー長崎県 (ちゃんぽん)

月	地場産・季節の食べもの	教科・学級活動 (食生活教材)	家庭・地域との連携
4	～春～ 菜の花・みつば・春キャベツ・ たけのこ・にら・さわら・新玉ねぎ・清見オ レンジ他	学活 楽しい給食が始まるよ(小1)	給食だより
5	～春～ アスパラ・たけのこ・さやえんどう・ 夏みかん・グリーンピース・あじ・かつお・河 内晩柑・いわし他	保健 けがの防止(5年) 保健 病気の予防(6年) 家庭科 見直そう!毎日の食事(6年) 学活 望ましい食習慣を身に着けよう(中1) 学活 食の自己管理を身に着けよう(中3)	給食だより
6	～夏～ アスパラ・さやえんどう・トマト・なす・か つお・とうもろこし・河内晩柑・ゴールドキ ウイ・梅他	学活 おはようランチ(小3) 学活 よくかんで食べよう(小4) 食の自己管理能力を身に着けよう(中2)	①給食だより『食育月間』
7・8	～夏～ ピーマン・パプリカ・いんげん・ かぼちゃ・とうもろこし・枝豆・なす・ すいか他	保健 けんこうな生活(3年) 保健 育ちゆくわたし(4年) 学活 おいしいおやつどんな食べ方がいいの かな(小2)	給食だより
9	～初秋～ 秋なす・いわし・ぶどう・プルーン・おは ぎ・なし他	社会 はたらく人とわたしたちのくらし(3年) 社会 住みよい暮らしをつくる(4年) 学活 やさいとなかよし(小2) 学活 一日のスタートは朝ごはんから(小5)	給食だより
10	～秋～ さつまいも・きのこ・ごぼう・ れんこん・さといも・栗・さんま さけ・さば・柿・りんご他	家庭科 まかせてね!きょうのごはん 学活 家庭や地域に伝わる料理を大切にしよう(4 年) 学活 郷土料理を知ろう(中2)	②給食だより『学校給食ぐ んまの日』
11	～秋～ さつまいも・さといも・ごぼう・きのこ さけ・さば・ほっけ・りんご他	国語 すがたを変える大豆(小3) 国語 アップとルーズ(小4) 学活 元気のひみつはななに?(小1)	③給食だより『感謝して食 べよう・いせさき家族でいた だきますの日』
12	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ 春菊・ごぼう・かぶ・みかん他	学活 健康を考えたおやつ(小6)	給食だより
1	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ねぎ・ ブロッコリー・ぶり・わかさぎ・鮭他	学活 日本食のよさをみつけよう(小5)	④給食だより『給食の歴史 を知ろう』
2	～冬～ 大根・小松菜・菜の花・水菜・ カリフラワー・さわら・あさり他	学活 バランスよく食べよう(小3) 学活 どんな食べ方がいいのかな(小6)	給食だより
3	～冬～ 菜の花・キャベツ・あさり・ いちご・いよかん他		給食だより

3 平成24年度実績

(1) 学校給食を活用した指導の充実

ア 栄養士による食に関する指導の推進

(ア) 給食時の指導

	調理場名	回数
1	第一学校給食調理場	229回
2	第二学校給食調理場	220回
3	赤堀学校給食調理場	196回
4	あずま学校給食調理場	172回
5	境第一学校給食調理場	22回
6	境第二学校給食調理場	3回

(イ) その他の指導

	主な指導内容	回数
1	学校保健委員会等における講師	22回
2	小・中学校家庭科授業等の講師	57回
3	P T A等給食試食会の講師	28回
4	P T A等給食試食会の参加者	1,241人

イ 地場産農作物を活用した給食の提供 (伊勢崎佐波管内産)

調理場地区	平成23年度実績			平成24年度実績		
	総使用量	地場産使用量	比率	総使用量	地場産使用量	比率
伊勢崎地区	301,600kg	87,700kg	29.1%	435,800kg	194,300kg	44.5%
赤堀地区	60,500kg	11,500kg	19.0%	84,500kg	33,100kg	39.2%
あずま地区	57,100kg	23,000kg	40.2%	85,100kg	43,600kg	51.2%
境地区	65,400kg	12,500kg	19.1%	77,100kg	32,800kg	19.1%
全地区	484,600kg	134,700kg	27.8%	682,500kg	303,800kg	44.5%
	平成23年度目標		30.0%	平成24年度目標		30.0%

※平成24年度から伊勢崎市内で収穫された米を米飯給食に100%使用しています。



伊勢崎市農業会議所による学校給食用ジャガイモの寄贈

采女小1年生によるジャガイモの収穫体験



V 生涯学習



読書の街いせさきイメージ
キャラクター「ブックくん」



親子でびよんびよん事業（宮郷公民館）

生涯学習の充実

1 基本方針

市民の多様な学習意欲に応え、市民が主体となった学習機会を支援することで、いつでもどこでもだれもが生きがいを持ち学べる環境づくりに努めます。

2 重点施策

(1) 市民が主役の生涯学習の推進

- ア 市民が主役の学習活動の創造
- イ 公民館における学習機会の拡充

(2) 読書の街いせさき計画の推進

- ア 大人と子どもが学ぶ街の実現

(3) 望ましい人間関係の育成

- ア 人権教育・啓発事業の充実
- イ 子どもの健全育成と家庭教育の充実

(4) ボランティアの養成と機会の充実

- ア 地域におけるボランティア活動への支援
- イ 地域の人材活用の推進

3 平成24年度事業実績

(1) 市民が主体となった学習機会の支援

ア 学習支援体制の整備

(ア)生涯学習支援事業

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習大会	<p>市民が生きがいのある生活を送るために、市民グループによるステージ発表やまなびい先生の作品展示、地域の生涯学習活動の取り組みコーナーや読書の街いせさきの啓発活動等を通して、生涯学習の推進、充実をめざした。（会場 境総合文化センター）</p> <p>○学びの楽しさを知らせるための成果発表（ステージ発表）</p> <p>ぐんま島村蚕種の会の発表、各地区団体の発表、生涯学習支援ボランティアまなびい先生の発表</p> <p>（ロビー展示）</p> <p>生涯学習の取り組み、読書啓発パネル展 まなびい先生の作品展示（華道、フラワーアレンジメント、樹脂粘土で作る盆栽、パソコン絵画、民話の語り、ぐんま島村蚕種の会の写真展示）茶道サークルによる抹茶サービス等</p>	12月15日	市 民	500人

出前講座	<p>「もっと元気で、もっと豊かで、もっと安心・安全なまちづくり」を推進しようとする市民の学習活動を支援するために、市民の求めに応じて市職員を講師として派遣し、市の施策等を情報提供した。</p> <p>44 課、60 のメニュー、申し込み件数 151 件</p>	4 月～3 月	市 民	6,055 人
生涯学習 支援ボラ ンティア まなびい 先生	<p>地域で活動している人たちの知識や技術・技能を登録、データベース化し活用していくことで、「いつでも」「どこでも」「だれもが」「なんでも」教え合う市民版出前講座を開設し、市民の手による学びの輪を広げ学習機会の充実をめざした。</p> <p>まなびい先生登録者 108 人 メニュー数 145 件 活用件数 90 件</p>	4 月～3 月	市 民	3,477 人
	<p>楽しく学びを実践していくために、生涯学習支援ボランティアまなびい先生自らが企画し、市民へ身近な学びの場を提供する「まなびい先生自主企画事業まなびい塾」を開催した。</p> <p>16 講座 延べ 39 回</p>	4 月～3 月	市 民	360 人
上武大学 公開講座	<p>地域の教育的機能を持つ上武大学との連携を図り、市民の自己啓発を推進するため、「初心者パソコン講座」（全 5 回）を開催した。</p>	3 月 6 日 ～3 月 27 日	市 民	延べ 135 人
生涯学習 だより 「まなび い」の発 行	<p>編集ボランティアの協力を得て、生涯学習情報誌「まなびい」を年 2 回発行し、毎戸配布している。</p> <p>編集ボランティア 7 人 編集会議 10 回</p>	発行日 8 月 1 日 2 月 1 日	市 民	発行部数 152,000 部



まなびい先生発表会の様子



出前講座「犯罪被害に遭わないために」

イ 公民館による学習機会の提供

市民にとってもっとも身近な社会教育施設（生涯学習施設）として、利用者ニーズを把握しながら各種学級・講座を企画実施し、学習機会の提供を行いました。

また、生涯学習ボランティアなど地域活動サークルの育成や各種行政団体等との連携を行いました。

(ア) 公民館運営審議会

社会教育法第 29 条に基づく公民館運営審議会を設置し、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議を行った。

◆構成メンバー 学校教育関係者 1 人、社会教育関係者 21 人、家庭教育の向上に資する活動を行なう者 3 人、学識経験者 5 人の計 30 人

◆開催回数 4 回

(イ) 公民館による学級・講座開設

事業名	主な内容	参加者数	実施公民館
セカンドライフセミナー	急激に変化する社会の中で、高齢者が豊かで生きがいのある生活を過ごすための学習。(料理教室・グラウンドゴルフ教室等)	2,411 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境島村、境東
女性学級	女性としての視野を広め、社会における役割を考える。(ビーズアクセサリー教室・パッチワーク教室等)	1,724 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境剛志、境島村、境東
家庭教育学級	幼稚園児、小中学校の児童生徒の親を対象に、心身ともに健康な子どもの育成を目指して、子どもの育て方、親のあり方を学ぶ。(親子でぴよんぴよん・親子体操教室等)	5,860 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
子どもクラブ	学校週 5 日制の実施を踏まえ、様々な活動を通して、子ども達の自主性、社会性を養う。(子ども農業体験・子ども将棋教室等)	4,206 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境東、境島村
健康促進講座	スポーツ等を通して地域住民の交流と健康増進を図る。(スポーツ吹矢教室・ウォーキング教室等)	1,956 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
IT講習	急激な IT 社会に住民が十分対応できるよう基礎技能を修得する。(ワード、エクセル講座・インターネット講習等)	2,095 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境采女、境東
市民講座	多角的な視点からの学習を通して、総合的な教養と学習意欲の充実を図る。(地域文化の語り部養成講座・文化歴史散歩等)	4,610 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東
第 11 期あかぼり大学塾	住民の多種多様なニーズに応えるために設立され、共通する課題を教授・生徒で共に学ぶことにより、住民相互の交流を図る。	14,075 人	赤堀
市民教養講座	著名人による講演会の実施により、知識・教養を高める。 講師 安藤 和津	450 人	

(ウ) 地域団体等との連携

各公民館が地域の各種行政団体、青少年育成関係団体、社会体育関係団体と連携を図り、納涼祭や文化祭、運動会等、地域住民の交流を支援し、地域づくり、ふるさとづくりの推進に努めました。

(エ) 公民館の利用状況

公民館名	公民館事業		サークル支援事業			各種団体事業		計	
	主催・共催事業 (学級・講座)		サークル活動			各種団体活動			
	開催 件数	参加 者数	サー クル 数	利用 件数	利用 者数	利用 件数	利用 者数	開催 ・ 利用 件数	参加 ・ 利用 者数
北	件 67	人 1,443	件 62	件 1,996	人 29,685	件 234	人 6,529	件 2,297	人 37,657
南	82	1,175	39	1,037	16,437	116	3,561	1,235	21,173
殖蓮	115	2,632	61	1,498	24,346	497	21,226	2,110	48,204
茂呂	97	2,509	36	810	9,582	306	13,670	1,213	25,761
三郷	75	1,433	42	1,203	16,007	483	15,804	1,761	33,244
宮郷	146	4,861	56	1,757	24,515	415	21,227	2,318	50,603
名和	51	1,088	38	1,142	10,775	367	14,317	1,560	26,180
豊受	71	1,473	41	1,581	20,225	292	19,954	1,944	41,652
赤堀	1,486	16,277	62	1,539	15,858	613	22,092	3,638	54,227
あずま	187	4,311	92	2,268	23,583	565	24,717	3,020	52,611
境	17	211	50	689	8,301	118	2,625	824	11,137
境采女	16	219	24	693	8,134	156	6,126	865	14,479
境剛志	31	654	27	1,161	13,844	190	7,479	1,382	21,977
境島村	37	729	14	341	2,684	116	3,414	494	6,827
境東	41	754	37	1,179	14,243	312	7,990	1,532	22,987
計	2,519	39,769	681	18,894	238,219	4,780	190,731	26,193	468,719



男の料理教室



読み聞かせ教室

(2) 生涯学習推進体制の整備

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習推進協議会幹事会	推進協議会の下部組織として生涯学習に関する計画・立案及び調整を行う。	4月18日	委員	16人
生涯学習推進協議会	生涯学習の推進に関する施策について広く市民の意見を求めるとともに、生涯学習の普及を図る。	5月24日	委員	34人
生涯学習推進員	地域住民のニーズや実態に応じた生涯学習活動の世話役として区長より推薦され、その役割は行政区にある既存の生涯学習活動への支援、学習情報の提供、地域の人材発掘と活用など、地域における生涯学習のまちづくりの中心として生涯学習推進の一翼を担う。	年間	生涯学習推進員	170人
生涯学習推進員研修会	地域の学びのボランティアとして活躍する生涯学習推進員の資質の向上を目指し、富岡製糸場ドキュメンタリー映画「はじめの始まり ブリクとシマン」の上映会、併せて、まなびい先生による「ラフターヨガ」の実演披露。	7月22日	生涯学習推進員	92人
生涯学習推進事業	地域に根ざした生涯学習の確立を目指し、各行政区において、市民一人ひとりが生きがいをもって積極的に参加できる身近な学習づくりを推進するために具体的な活動を展開する。(各行政区と生涯学習推進事業委託契約を結び推進している。)	年間	市民	170行政区
赤石楽舎活用推進事業	北小学校に併設されている赤石楽舎の有効活用をめざし、まなびい先生自主企画事業「まなびい塾」や「木目込み人形作製講習会」ミニコンサート等を開催した。併せて読書の街いせさきの啓発も兼ねた、ぐんま天文台職員による「夏の星空案内」等のサマーフェスタの開催。 また、伊勢崎燈華会、伊勢崎銘仙の日等の市民団体によるイベント会場としても活用されている。 利用件数 351件	年間	市民子ども	15,959人

(3) 社会教育の充実

充実した余暇を過ごすために、今日的な課題や社会連帯の意識の高揚、積極的な社会参加、生きがいを実現するための学習を通して、社会の変化に対応し、心豊かな市民の育成をめざす。

ア 社会教育委員会の開催

社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から選出され、社会教育に関する諸計画を立案、審議した。

委員 20人 年4回 開催

イ 子どもの健全育成と家庭教育の充実および地域づくりへの支援

事業名	趣旨	実施期日	対象	参加者数	
子どもの健全育成	少年の主張大会	市内中学生が日頃感じている事や夢、希望などの発表を通して社会の一員としての自覚を高めると共に生徒に対する市民の理解を求め、併せてあずま中学校吹奏楽部によるミニコンサートを実施した。	6月30日	市民 中学生	発表者12人 参加者377人
	子どもわくわく事業	「里山で楽しむ森のコンサート」と名づけ、自然の中で親子が音楽を通して豊かな心を実感できる機会を提供した。	10月30日	市民	200人
	放課後子ども教室推進事業	放課後や夏季休業中の子どもたちの安全安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て勉強や運動などを行う。 北小学校地区で32日間、境剛志小学校地区で8日間実施	5月～3月 (北小学校) 8月 (境剛志小学校)	対象者	(北小) 児童延べ1118人 学習アドバイザー 一等延べ96人 (境剛志小) 児童延べ135人 学習アドバイザー 一等延べ16人
	養護学校青年教室	養護学校卒業生の青年を対象に手をつなぐ育成会と連携を図り、社会人として自立していくための書道教室等を開催した。	10月～1月	対象者	150人
	定時制教育振興事業	伊勢崎佐波地区における定時制教育の振興を図ると共に、生徒への文化、スポーツ活動を支援した。	4月～3月	対象者	95人
家庭教育振興事業	幼稚園・小中中等教育特別支援学校PTAに対し、家庭教育と人権教育の推進事業を委託した。 ・各学校等で実施。	4月～3月	幼稚園・小中中等教育特別支援学校PTA会員		

家庭教育振興事業	家庭教育講演会	教育委員会、教育振興会、市PTA連合会の共催により、群馬大学教育学部大学院教授 矢島正先生を招き、「あなたの『教育力』を拝借します～学校を支える地域の力～」と題した家庭教育講演会を実施した。	10月27日	市民	197人
----------	---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------	--------	----	------



少年の主張大会





放課後子ども教室

ウ 読書の街いせさき推進事業

地域や家庭、学校に読書活動を普及し本に親しむ活動を定着させる。

事業名	趣旨	実施期日	対象	参加者数
親子ふれあい読書活動の推進	一冊読んだら、感想をおすすめカードに書き、それを市の図書館や学校の図書室に提出し、交換に受け取ったシールを読書マラソンカードに貼り、30枚貼れたカードは記念品と交換した。	年間	親子	6月～3月 マラソンカード 1,895枚提出。 読書マラソンの取組において70,628冊の本が読まれた。
親子でぴよんぴよん事業	幼児期から本に親しむことを目的に、乳幼児の10ヶ月検診時に絵本を配布するブックスタート事業のフォロー事業として、地域の読み聞かせグループと連携を図り、公民館の子育て支援事業として実施した。	年間	幼児・幼児を持つ親	68回 延べ1,751人参加
伊勢崎市親子が推薦する図書101の周知	一昨年度に選定した「伊勢崎市親子が推薦する図書101」をより周知してもらうために、読書感想文を募集した。	10月～11月	小・中学生・一般	1,334点の応募 15点の入賞

<p>家族ふれあい読書新聞の募集</p>	<p>各家庭で取り組んできた読書活動を振り返るきっかけ作りとして、家族ふれあい読書新聞の募集をした。また、応募作品の選考については、市PTA連合会読書推進委員会に依頼し、選考を実施した。</p>	<p>7月～9月</p>	<p>小・中学生・一般</p>	<p>274点の応募 32点の入賞</p>
<p>いせさき街角文庫の展開</p>	<p>「街が図書館」をスローガンに、市民がいつでも、どこでも本に親しめる場所を市内に作り、読書活動を通して、市民が交流できる場の確保と地域の活性化を図るために、趣旨に賛同する事業所、会議所などに設置した。</p>	<p>年間</p>	<p>市民</p>	<p>市内13ヶ所 5,687冊利用</p>
<p>イベントにあわせた読書の街いせさきの啓発</p>	<p>赤石楽舎「サマーフェスタ」として、七夕まつりの開催に併せ、「ぐんま天文台が赤石楽舎にやってきた」として天文台職員の協力を得て、宇宙についての話をを行った。あわせて月や星に関する本の展示、しおりづくり、オカリナの演奏会、絵本の読み聞かせ会を実施した。</p>	<p>7月14日 15日</p>	<p>市民</p>	<p>700人来場</p>
<p>読み聞かせボランティア交流会</p>	<p>読み聞かせに関心のある方、市内で活動する読み聞かせボランティア等の交流を深めるために、市内8ヶ所で読み聞かせボランティア交流会を実施した。</p>	<p>8月3日～ 10月17日</p>	<p>市民</p>	<p>市内8地区の公民館で実施。151名の参加。</p>
<p>いせさき読書まつり</p>	<p>読書の街いせさきの象徴的事業として、絵本作家による講演会、読書感想画展、読書サポーターの読み聞かせなど、子どもから大人まで楽しめる様々な発表や展示など、本に親しむ活動を展開した。 (1) 発表・展示コーナー ○読書サポーターの読み聞かせ ○親子ふれあい読書新聞入賞作品展示と入賞者の発表 ○講演会「絵本から生まれるもの」 講師 長谷川 義史 氏 ○小・中学生の読書感想画の展示</p>	<p>3月2日 市民 800人</p> <div data-bbox="960 1438 1401 1729" data-label="Image"> </div> <p>赤堀南小の児童による発表</p>		

	<p>○赤堀小・赤堀南小・赤堀東小の児童による発表</p> <p>○伊勢崎市親子が推薦する図書 101 101 の展示、101 読書感想文の展示、おすすめカードの展示</p> <p>○こどもの読書週間ポスター展示</p> <p>○目で見ると伊勢崎の移り変わり</p> <p>○伊勢崎の民話に触れよう、民話の読み聞かせ</p> <p>○伊勢崎家族で「いただきます」の日家族川柳の展示</p> <p>○年代別ベストセラーの展示</p> <p>(2) 創作・体験コーナー</p> <p>○作って楽しもう (栞づくり・オリジナル絵本バック等の製作)</p> <p>○科学に触れよう (科学に関する図書の展示と実験)</p> <p>○一日図書館員体験</p> <p>○リサイクル本の配布</p> <p>(3) その他</p> <p>○啓発しおりの配布</p> <p>○生涯学習支援ボランティアまなびい先生のコーナー</p> <p>○絵本とくつろごう</p> <p>○みんなでシネマ上映会 (ビデオ上映会)</p>	 <p>親子ふれあい読書新聞入賞者の発表</p>  <p>講演会の一場面</p>
<p>まゆドームでの読み聞かせ</p>	<p>第二土曜日に2回、読書サポーターの協力を得ながら実施。</p>	<p>計24回実施、455人の参加</p>
<p>読み聞かせスキルアップ講座の開講</p>	<p>地域で読み聞かせを行っている読書サポーターと学校で読み聞かせを行っている保護者を中心とした読書ボランティア、それぞれを対象にしたスキルアップ講座を実施。</p>	<p>計2回実施、130人の参加</p>
<p>その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園への読み聞かせ活動の展開 (117回 4,986人に読み聞かせ) ・ 読書啓発しおりの配布 ・ 読書啓発パネルの展示 (生涯学習大会、市民教養講座等、市民サービスセンター宮子、宮郷公民館) 		

エ 人権教育・啓発の推進

市民の人権問題に対する理解・認識をさらに深めるため、学習の場の提供を積極的に図るとともに、集会所管理運営事業のより一層の充実を図る。

(ア) 人権教育推進委員会

人権教育及び人権啓発の積極的な推進を図り、女性、子ども、高齢者、障害者、同和関係者、外国籍の人等の様々な人権問題の解決に努めるため、伊勢崎市人権教育推進委員会を設置。

委員構成は、33人以内 内訳は、学校教育関係者9人以内、PTA会長5人以内、その他教育委員会が適当と認める者10人以内、市職員9人以内。

(イ) 人権教育啓発事業

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
PTA家庭教育人権教育推進委託事業	家庭教育の主役であるPTA会員を対象として、正しい人権教育の理解を図り「家庭における人権教育」を推進することを目的に実施する。	4月～3月	幼稚園・小中中等教育特別支援学校PTA会員	
集会所における人権問題学習講座	市内6集会所において、人権に関するビデオの視聴や講座を延べ12回開催した。	5月,9月	市 民	304人
親子で学ぶ人権問題学習講座	夏休みに親子を対象にした人権に関するビデオの視聴を6集会所において実施した。	8月	市 民	100人
人権のまちづくり講演会	市民を対象とした啓発事業。映像による啓発や講演会等を組み合わせ実施。(会場 市民プラザ)	9月8日	市 民	360人
地区別人権学習会	地区毎に巡回した人権啓発事業。人権啓発ビデオを視聴し、意見交換などを行い、市民の人権意識の高揚を図る。(6地区で実施)	11月	市 民	472人
人権について考える集い(隣保館集会所事業成果発表会委託事業も同時開催)	基本的人権にかかわる人権・同和問題について、市民一人ひとりに正しい理解と認識を深めていただくために、講演会と隣保館集会所事業成果発表会を開催し、「差別のない明るい社会」を目指す。 講演：「ちょっと待って！人権がある」 ー子どもの権利条約などから人権を考えるー 講師：部落解放同盟栃木県連合会 執行委員長 和田献一さん	1月20日	市 民	600人
人権啓発ポスター、人権啓発標語の募集(人権啓発カレンダー作成)	小・中学生から人権啓発ポスターと人権啓発標語を募集し、子どもたちの人権に対する興味や関心を高めるとともに、その入選等で作成し、市内全校児童生徒等に配布した。併せて人権啓発イベント等での作品展示を行った。 ・人権啓発ポスター(小学校649作品、中学校429作品) ・人権啓発標語(小学校12,801点、中学校6,491点)	(人権ポスター) 7～9月 (標語) 12月	小、中学生	—

(ウ) 集会所管理運営事業

運営委員会に事業運営を依頼し、人権問題ビデオ学習会や交流教室等を開き、人権問題の早期解決をめざす。

施設名	事業名					参加者数
	内容	回数	交流教室	講座数	実施回数	
今井町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	7	177	2,407人
道伝集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	4	122	704人
宮子町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	10	253	2,028人
柴町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	9	242	2,128人
連取町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	6	180	2,054人
三室町集会所	人権問題学習講座	3	交流教室	5	98	2,943人
総計		18		41	1,072	12,264人

※ 人権問題学習講座のうち各1回は、夏休み親子ビデオシアターとして開催した。

オ 視聴覚教育

視聴覚教育の振興を目指し、視聴覚機材やフィルムやビデオテープ等の貸し出しを行う。

視聴覚ライブラリー保有機材

16ミリ映写機	4台	16ミリフィルム	374本	ビデオプロジェクター	4台
ビデオテープ	479本	スライド映写機	1台	OHP	2台

4 文化の振興と発信

(1) 公民館文化事業の充実

ア 公民館合同作品展の開催

公民館利用サークルの活動の成果を一堂に集め公開することにより、広く市民に対して公民館活動の認識を深めると同時に、より一層の公民館活動の活発化を図るため、赤堀体育館を会場に公民館合同作品展を開催しました。

3月2日～3日 出品作品数 494点

観覧者数 900人



赤堀体育館での合同作品展

関連施設

(1) 広瀬生涯学習館

利用状況：開館日数 360日

学習館主催事業		サークル支援事業			その他		合計	
開催件数	利用者数	サークル数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	開催・利用件数	利用者数
件	人	件	件	人	件	人	件	人
30	336	56	2,478	36,818	-	-	2,508	37,154

(2) あずまホール

利用状況：開館日数 336 日

主催事業：11月11日 あずまふるさと寄席

参加者数 260 人

	利用件数 (件)	利用者数 (人)
音楽	5	652
舞踏	3	700
演劇	-	-
演芸会	2	560
大会	15	5,124
会議	2	900
研修会	8	686
練習	198	5,262
準備	11	215
合計	244	14,099



あずまホール

(3) 青少年育成センター

利用状況：開館日数 335 日

	日帰り	宿泊	合計
利用件数	1,313 件	114 件	1,427 件
利用者数	19,920 人	3,520 人	23,440 人

主催事業

実施日	事業名	参加者数
5月20日	レクリエーション大会1	30人
8月10日～12日	夏休みおもしろ教室	42人
9月16日	ボランティア育成事業	23人
10月14日	野外料理教室	30人
11月11日	そば打ち教室	29人
12月9日	クラフト教室	25人
1月13日	レクリエーション大会2	32人
2月10日	わくわく体験教室	32人
2月16日	育成センターで遊ぼう	16人
2月24日	オリジナルカップづくり教室	43人
合計		302人



青少年育成センターの外観



そば打ち教室

図 書 館

図書館サービスによる生涯学習の推進

伊勢崎市の図書館は、伊勢崎市図書館、赤堀図書館、あずま図書館、境図書館の4館と伊勢崎市図書館のサービスポイントである市民プラザ図書室で構成されている。

伊勢崎市図書館は、大正10年4月伊勢崎尋常高等小学校（現北小学校）の附属図書館が町立図書館として認可された。昭和11年4月に篤志寄付により校庭の一角に新築されたが、戦災により焼失した。その後再建されるが、昭和52年現在位置に新築移転した。他の3館は公民館図書室に由来する。赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設として平成7年4月に開館、あずま図書館は平成11年4月に現在位置に新築開館した。境図書館は昭和38年8月旧町役場跡に開館し、敷地の寄付を受け昭和61年6月現在位置に新築移転した。平成19年4月から赤堀図書館に指定管理者が指定された。

平成23年4月機構改革により図書館課が新設され、管理係、奉仕係が設置された。

	伊勢崎市図書館	赤堀図書館	あずま図書館	境図書館
竣 工 年 月 日	昭和51年10月	平成7年4月(設置)	平成11年3月	昭和61年3月
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造り 3階建て	鉄筋コンクリート造り 一部鉄骨造3階建て	鉄筋コンクリート造り 平屋建て	鉄筋コンクリート造り 一部2階建て
敷 地 面 積	6,005.16㎡	—	4,790.21㎡	4,582.81㎡
延 床 面 積	2,657.98㎡	400.50㎡	1,837.85㎡	1,433.90㎡
学 習 室	102席	コーナー	コーナー及び24席	コーナー及び講座室
調 査 相 談 室	16席	コーナー	コーナー	コーナー
軽 読 書 コーナー	有	有	有	有
新 聞 雑 誌 室	有	無	有	有
視 聴 覚 コーナー	無	有	有	有
資 料 展 示	有	ロビー(共用)	ロビー	境絹の館
集 会 室・会 議 室	集会室約100席	会議室20席(共用)	視聴覚室約100席	講座室46席
駐 車 場	90台	75台(共用)	57台	28台

赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設

1 基本方針

家庭、地域、学校との連携を深めながら、それぞれの図書館の特色を生かし、市民の芸術文化の高揚と生涯学習を支援する情報の発信基地として奉仕活動に努めた。

2 重点施策（図書館サービスの充実）

(1) 読書環境の整備

4図書館の特色を活かした活動や連携により、季節や世代に合わせた事業等を実施した。

(2) 親子読書の推奨・推進

ブックスタートを実施するとともに、親子で参加できる事業を行い、親子読書を推進した。

(3) 市民一体型の図書館活動

館内業務や読み聞かせなどの事業を、市民ボランティア等と協力しながら実施した。



手作り絵本教室

3 平成24年度事業実績

(1) 図書館協議会

図書館協議会は、館長の諮問に対して答申を行う諮問機関である。定員は10人で、構成は学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、学識経験者4人、家庭教育の向上に資する活動を行なう者4人からなる。平成24年度は3回開催

第1回 平成24年7月8日（日）午後1時00分 伊勢崎市赤堀図書館 集会室 出席委員10人
平成24年度教育行政方針（図書館）

平成23年度事業報告

平成24年度事業計画

第2回 平成24年11月8日（木）午前10時00分 伊勢崎市境図書館 出席委員8人

平成24年度伊勢崎市の教育（要覧）について

平成23年度事業報告（上半期分抜粋）

第3回 平成25年3月15日（金）午前10時00分 伊勢崎市図書館 集会室 出席委員8人

平成24年度事業報告

平成25年度事業概要について

(2) 図書館資料の貸出

ア 個人貸出

貸出数は1,016,210冊で、前年度と比較して約2.5%減少した。また、貸出人数は275,966人で、前年度と比較して約2.6%減少した。学校図書館の充実に伴う貸出の大幅な増加があり、小学生以下の児童の利用に影響が出たものと考えられる。また、あずま体育館の改修工事、境図書館周辺の水道工事なども一因と考えられる。年代別では、50歳以上の年齢層で、1万冊以上利用が伸びている。これは資料の選定や、駐車場の整備・エレベーターの修理などの施設の改修、親しみやすい図書館コンサート・展示会などの事業に取り組んだ成果であると思われる。

イ 団体貸出

貸出数は、16,931冊で、前年度と比較して約2%増加した。引き続き、幼稚園・保育園（所）・学童保育所・読み聞かせサークルなどへの周知に努め、利用の促進を図ることが必要である。

ウ 蔵書構成

購入数27,402点、寄贈1,291点、その他102点で合計28,795点になり、除籍等32,246点を差し引き、全館所蔵点数は581,738点である。

一般図書は、全館通して文学の割合が高く、約40%を占めている。特に境図書館で約47%、赤堀図書館で約44%と高くなっている。文学以外では、伊勢崎市図書館の社会科学12%、あずま図書館の工業技術12%、芸術13%の割合が高い。

児童書では、文学と絵本に重点を置いた構成となっている。特にあずま図書館では、絵本の割合が高く約40%となっている。

視聴覚資料では、全館ともビデオが減少し、DVDが増加している。これは利用者の映像鑑賞機器の変更に伴い、ビデオの発売点数が大幅に減少し、DVDが増加していることが理由である。今後、DVDへの移行が一層進むと考えられる。

(3) 事業報告

ア 親子で参加できる事業

子どもたちに本の楽しさを知ってもらいながら図書館に親しんでもらえるように、読み聞かせボランティアを中心とした絵本や紙芝居の読み聞かせ、教室、映画会、人形劇等を実施した。伊勢崎市図書館では、読み聞かせとして毎月「としょかんこども会」を開催した。また木村有子氏を講師に迎えて7月に「手づくり絵本教室」、12月に「手作り手芸教室」を開催した。赤堀図書

館では、赤堀芸術文化プラザロビーで読み聞かせを行い、5月20日には「一日中紙芝居の日」を実施した。あずま図書館では、子ども向けに「アニメシアター」、こどもの日や夏休み期間中に「特別アニメシアター」を上映した。境図書館では奇数月やこどもの日、夏休み、クリスマスに「親子映画会」を実施した。

子どもに人気の高い人形劇も各館で行った。伊勢崎市図書館では5月26日に「ぶんぶくちやがま」「おばあちゃんの着物」、1月26日に「一寸法師」「なかよし」を、赤堀図書館では9月16日に「ほんとうはなかよし」「ペンペンの宝さがし」を、あずま図書館では6月17日に「おむすびころりん」「くいしんぼうのミーちゃん」、12月16日に「あかずきんちゃん」「ネコとボールとネコネコネコ」を、境図書館では2月26日に「みにくいあひるのこ」「おおきくなったら何になる」を上演した。

イ ブックスタート

10か月児健康相談の会場で、読み聞かせをしながら赤ちゃんと保護者に絵本をプレゼントし、絵本を開く楽しい体験とともに心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動であり、ボランティアの協力を得て毎月実施した。

平成24年度は「はしるのだいすき」「おやすみ」の2冊と子育てアドバイス集を、親子読書をより推進するメッセージレターを読み上げて、一緒に配布した。

配布数は、伊勢崎地区1,480冊、赤堀地区642冊、あずま地区598冊、境地区692冊、計3,412冊だった。

ウ 調べ学習

各図書館とも夏休みに小学生を対象とした調べ学習を実施した。伊勢崎市図書館では「化石のクリーニング教室」、赤堀図書館では「顕微鏡をのぞいてみよう！」と題して行った。あずま図書館、境図書館では、補助員に依頼し図書館の資料を使っての学習支援を行なった。また、4館合同の調べ学習事業として「読書感想文の書き方講座」をそれぞれの館で開催した。

エ 一日図書館員

図書館に対する理解を深めることを目的とする事業で、夏休みを利用して伊勢崎市図書館及び赤堀図書館で実施した。カウンターでの図書の貸出・返却処理、ブックカバーの装丁などの仕事を体験してもらった。



一日図書館員

オ 視覚障害者サービス

視覚に障害があり活字を読むことが困難な人を対象に、ボランティアに依頼して朗読テープを作成し、貸し出す等行っている。平成24年度の貸出数は、朗読テープ444点、CD71点、点字本2点で、利用者は延べ44人だった。

カ 配達サービス

来館できない高齢者・障害者及び介護保険制度での「要支援」以上の市民を対象に、図書及びCD等を自宅まで届けるサービスで、貸出期間は通常と同じ2週間である。平成24年度の貸出数は、図書693点、雑誌53点、CD56点で、利用者は延べ315人だった。

キ 施設見学・体験学習及びボランティアの受入

各図書館で小学生の施設見学8校、中学生の職場体験学習（チャレンジウィーク）9校を受け入れた。また、伊勢崎市図書館では配架を行うボランティア2人を受け入れた。

ク インターネット予約

インターネット予約の件数は、伊勢崎市図書館10,399件、赤堀図書館2,903件、あずま図書館5,003件、境図書館3,321件、市民プラザ図書室6,918件、計28,544で、全予約件数55,696件の約5割となった。

ケ 各種講座

伊勢崎市図書館では講師に太刀川憲一氏を迎え、文学・歴史講座「『平家物語』と平清盛について」を、伊集院静著「大人の流儀」をテキストとして市民読書会を開催した。また、はじめての能実行委員会による「いせさき能『井筒』事前学習会」が行われた。境図書館では毎月短歌教室及び俳句教室を開催している。また、6月に短歌吟行会（甘楽町）、11月に文学歴史散歩（小諸市）、2月に俳句吟行会（甘楽町）を実施した。



文学歴史散歩

コ 企画展示

伊勢崎市図書館では展示室で「こどもの読書週間ポスター」、「“こどものとも”復刻記念」、「明治館と同年～生誕100年の作家たち～」、「民謡開拓の父 町田佳聲」、「写真で見る、ちょっと昔の本町周辺」を開催した。赤堀図書館では館内で「図書館を使った調べる学習コンクール入賞作品」、「赤堀図書館文化祭」を、境図書館では図書館ギャラリーで水彩画等の展示（10回）、玄関ロビーで「俳句・短歌 作品展」を行った。

カ 図書館コンサート・映画会

気軽に図書館に足を運んで、本や図書館に親んでもらう機会となることを目指し、伊勢崎市図書館では「図書館コンサート」として6月にオカリナ演奏会、1月に弦楽合奏団演奏会を開催した。また、赤堀、あずま、境図書館では、名作を選んでの映画会を計20回実施した。

キ 図書のリサイクル

各図書館では、除籍した資料をリサイクル図書として無料配布し、有効活用している。伊勢崎市図書館では街角文庫への配布や「いせさき読書まつり」会場で配布した。赤堀図書館では産業祭「櫻祭」の会場や夏休みイベントで、あずま図書館では雑誌を中心にロビーで、境図書館ではこどもの本の古本市や「境産業祭」会場でそれぞれ配布した。

ク 4館合同事業

平成24年度、境島村地区にある「田島弥平旧宅」を含む「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産候補として推薦されたことを機会に、世界遺産登録推進応援事業に4館で協力・連携して取り組んだ。伊勢崎市図書館では「富岡製糸場・日本絹の里見学学習会」、境図書館では「田島弥平旧宅と世界遺産候補講演会」、赤堀図書館及びあずま図書館では富岡製糸場ドキュメンタリー映画「はじめての始まり ブリクとシマン」上映会を実施した。また、4館でミニ資料・パネル展示を行った。

クセ 境絹の館

境図書館の南にあり、昭和61年に寄贈を受けて管理している。境図書館に拠点を置く短歌会、俳句会の会場として定期的に利用されており、図書館の行事及び展示会場としても活用された。郷土の著名な画家金井烏洲等の作品を保存・管理し、調査研究に供した。

クソ 寄附

伊勢崎市図書館へ隣接土地153.78㎡（曲輪町22-22）、昭和電工(株)伊勢崎事業所より本38冊、境図書館へ境中三三会から視聴覚資料（CD）、境ロータリークラブから視聴覚資料（朗読CD）、境ライオンズクラブから液晶テレビ4台及びビデオDVDレコーダ3台の寄贈があった。

(参考資料)

地区別利用者及び全資料貸出

館別		伊勢崎市 図書館	市民プラザ 図書室	赤堀図書館	あずま 図書館	境図書館	合計	
奉仕 人口	23年度	134,012		21,895	24,739	30,452	211,098	
	24年度	133,837		22,202	24,884	30,250	211,173	
利用 者数	23年度	102,566	35,137	33,083	65,962	46,635	283,383	
	24年度	103,080	34,865	32,603	60,903	44,515	275,966	
24年度開館日数		284	335	317	284	284	—	
24年度新規登録		1,748	372	560	928	541	4,149	
全 貸 出 数	2 4 年 度 個 人	伊勢崎地区	350,864	115,139	16,574	60,370	37,482	580,429
		赤堀地区	6,457	447	87,900	19,893	963	115,660
		あずま地区	6,763	478	6,803	121,111	2,838	137,993
		境地区	8,715	6,386	917	9,390	106,557	131,965
		市外	11,613	4,591	4,654	19,396	9,909	50,163
		計	384,412	127,041	116,848	230,160	157,749	1,016,210
	団 体 等	23年度	9,602	80	3,255	2,026	1,657	16,620
		24年度	9,123	308	3,280	2,339	1,881	16,931
総 計	23年度	397,028	125,347	122,000	250,326	164,302	1,059,003	
	24年度	393,535	127,349	120,128	232,499	159,630	1,033,141	

奉仕人口は住民基本台帳、平成23年、同24年4月1日現在による。
新規登録は市外、団体等を含む。

館別分類別個人貸出表

(単位：点)

		伊勢崎市図書館		市民ﾌﾟﾗﾝ 図書室		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		
		23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	
図書資料	一般	総記	2,652	2,575	3,291	3,559	732	600	1,473	1,187	1,322	1,236
		哲学	6,828	6,233	1,996	1,914	1,409	1,246	3,323	3,264	2,623	2,466
		歴史	14,531	15,163	4,417	4,875	3,239	3,794	9,236	8,957	7,407	7,159
		社会	13,668	14,751	3,256	3,371	2,517	2,600	6,568	6,562	5,852	5,679
		自然	10,272	11,059	2,936	3,099	1,934	1,823	4,950	4,741	4,161	4,521
		技術	23,658	24,240	10,019	10,204	9,194	9,163	20,077	18,887	10,440	10,350
		産業	6,866	6,927	1,670	1,756	1,690	1,848	3,801	3,800	2,244	2,223
		芸術	18,728	19,832	17,230	16,228	11,223	9,983	25,624	22,513	5,777	5,800
		言語	2,071	2,102	528	494	344	337	1,051	836	753	685
		文学	88,911	87,414	19,370	19,347	14,689	14,612	36,583	34,808	37,022	35,689
	計	188,185	190,296	64,713	64,847	46,971	46,006	112,686	105,555	77,601	75,808	
	児童	総記	1,345	1,226	708	637	399	310	789	671	783	788
		哲学	2,008	1,976	729	796	947	962	1,224	1,197	391	439
		歴史	3,539	4,223	1,418	1,830	1,158	1,253	2,017	2,286	1,218	1,195
		社会	1,284	1,348	491	505	435	435	698	502	593	518
		自然	5,963	6,471	2,173	2,219	2,024	2,092	4,008	4,005	2,348	2,434
		技術	2,501	2,271	675	652	1,217	1,076	1,794	1,702	1,222	1,056
		産業	979	959	317	315	403	427	507	549	145	150
		芸術	6,488	6,540	2,714	2,761	4,079	3,774	6,876	6,328	1,920	1,709
		言語	1,351	1,332	535	577	558	526	742	567	547	438
文学		33,139	31,116	10,452	9,722	11,171	11,342	19,177	17,566	12,571	12,426	
絵本	53,178	54,191	21,028	21,168	20,729	20,243	42,171	38,779	22,814	21,413		
紙芝居	4,718	4,666	1,807	2,081	1,995	1,760	2,268	2,360	1,963	1,910		
計	116,493	116,319	43,047	43,263	45,115	44,200	82,271	76,512	46,515	44,476		
郷土	3,041	3,044	290	312	343	349	43	64	817	704		
大活字本	3,585	3,053	228	280	103	160	852	803	397	317		
点字	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
洋書	412	398	3	4	5	7	53	85	184	254		
その他	3	1	3	0	0	0	24	14	10	13		
合計	311,719	313,112	108,284	108,706	92,537	90,722	195,929	183,033	125,524	121,572		
視聴覚資料	雑誌	11,228	11,142	3,414	3,560	5,886	6,053	12,057	10,326	8,928	8,574	
	C D	28,893	27,360	6,344	7,155	7,848	7,714	17,428	16,410	11,670	12,208	
	カセット	24	34	0	1	5	19	6	5	0	0	
	ビデオ	7,809	6,019	1,248	857	1,517	816	8,465	5,290	4,100	3,043	
	D V D	24,125	23,737	5,868	6,598	10,946	11,520	14,292	15,014	12,417	12,333	
	R O M	18	14	2	3	3	0	6	4	0	2	
	録音朗読	3,610	2,994	107	161	3	4	117	78	6	17	
合計	64,479	60,158	13,569	14,775	20,322	20,073	40,314	36,801	28,193	27,603		
総計	387,426	384,412	125,267	127,041	118,745	116,848	248,300	230,160	162,645	157,749		

地域別年齢区分別利用者数・貸出数

年齢区分	伊勢崎地区		赤堀地区		あずま地区		境地区		市外	
	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数
70～	13,095	42,334	861	2,343	1,716	4,928	2,928	8,638	879	2,671
60～69	23,125	79,350	2,728	8,025	4,840	15,337	6,440	20,246	2,352	7,446
50～59	16,935	57,654	1,687	5,343	4,524	13,815	4,236	13,989	1,704	5,860
40～49	25,212	93,899	4,852	17,383	5,718	20,411	5,784	19,359	2,850	10,139
30～39	26,080	105,451	6,524	25,508	6,993	27,604	6,229	22,965	2,902	10,332
23～29	7,107	26,616	1,039	4,045	2,064	7,781	1,688	5,896	1,196	3,994
19～22	2,692	9,293	489	1,668	856	2,759	660	2,262	241	712
16～18	2,461	8,131	342	1,150	754	2,468	777	2,321	206	623
13～15	4,709	17,644	1,219	4,104	1,116	3,925	1,036	2,983	370	1,385
10～12	9,370	37,863	3,444	11,978	2,615	9,676	1,846	6,754	377	1,553
7～9	11,226	48,793	3,847	14,447	3,243	12,979	3,012	12,222	520	2,292
0～6	11,751	53,401	4,719	19,666	3,786	16,310	3,248	14,330	746	3,156
計	153,763	580,429	31,751	115,660	38,225	137,993	37,884	131,965	14,343	50,163
22度	152,802	582,992	31,572	115,752	41,255	151,826	39,208	134,557	17,081	56,695
前年比較	0,961人	-2,563点	0,179人	-0,092点	-3,030人	-13,833点	-1,324人	-2,592点	-2,738人	-6,532点
	0.6%	-0.4%	0.6%	-0.1%	-7.3%	-9.1%	-3.4%	-1.9%	-16.0%	-11.5%

蔵書構成（平成24年度末）

（単位：点）

		伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館		
		23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	
一般	総記	7,555	7,578	927	903	1,607	1,653	3,326	3,348	13,415	13,482	
	哲学	6,677	6,756	1,404	1,375	2,555	2,640	2,602	2,647	13,238	13,418	
	歴史	16,136	16,766	3,421	3,435	6,375	6,694	8,085	8,260	34,017	35,155	
	社会科学	20,285	18,245	2,355	2,524	7,814	8,082	9,726	9,857	40,180	38,708	
	自然科学	8,354	7,936	1,596	1,730	4,593	4,768	4,197	4,292	18,740	18,726	
	技術	9,261	9,820	3,038	3,159	8,390	8,768	4,579	4,591	25,268	26,338	
	産業	4,248	4,471	1,327	1,358	2,605	2,681	1,813	1,841	9,993	10,351	
	芸術	14,910	15,523	4,083	3,888	9,070	9,268	7,235	7,211	35,298	35,890	
	言語	2,649	2,730	627	635	1,067	1,083	1,119	1,122	5,462	5,570	
	文学	59,929	61,607	14,482	14,640	24,107	25,202	37,393	38,471	135,911	139,920	
	計	150,004	151,432	33,260	33,647	68,183	70,839	80,075	81,640	331,522	337,558	
	児童	総記	1,006	1,040	244	258	380	386	575	593	2,205	2,277
		哲学	611	638	169	175	207	218	309	315	1,296	1,346
		歴史	2,765	2,882	598	641	1,042	1,075	1,144	1,150	5,549	5,748
		社会科学	2,547	2,647	508	515	865	886	1,413	1,449	5,333	5,497
		自然科学	4,989	5,195	1,171	1,218	2,812	2,855	1,928	1,869	10,900	11,137
		技術	1,915	2,023	479	505	817	854	1,023	964	4,234	4,346
		産業	1,078	1,124	358	350	432	443	436	426	2,304	2,343
		芸術	3,031	3,114	875	905	1,502	1,549	993	993	6,401	6,561
言語		886	919	284	294	327	333	411	416	1,908	1,962	
文学		23,699	24,227	6,114	5,882	10,761	11,043	9,881	10,049	50,455	51,201	
絵本		26,573	27,839	6,140	5,998	13,345	13,928	8,230	8,503	54,288	56,268	
紙芝居		1,733	1,800	599	639	1,048	1,064	699	698	4,079	4,201	
計		70,833	73,448	17,539	17,380	33,538	34,634	27,042	27,425	148,952	152,887	
資料	郷土	27,522	27,626	968	1,166	2,567	2,634	6,368	6,481	37,425	37,907	
	大活字	2,678	2,738	207	212	737	739	1,232	1,241	4,854	4,930	
	点字	1,052	1,052	0	0	0	0	0	0	1,052	1,052	
	洋書	1,607	1,609	3	3	90	90	572	576	2,272	2,278	
	その他	85	85	0	0	2	3	25	25	112	113	
	合計	253,781	257,990	51,977	52,408	105,117	108,939	115,314	117,388	526,189	536,725	
雑誌	5,340	5,461	870	880	3,339	3,213	3,577	3,515	13,126	13,069		
視聴覚資料	C D	7,372	7,681	2,349	2,435	3,845	3,961	2,769	2,747	16,335	16,824	
	カセット	45	45	99	98	4	4	0	0	148	147	
	ビデオ	2,770	2,741	557	485	2,704	2,704	1,388	1,386	7,419	7,316	
	D V D	1,924	2,178	883	951	978	1,128	1,068	1,159	4,853	5,416	
	R O M	90	90	8	9	10	10	2	1	110	110	
	録音・朗読	2,007	2,069	0	0	62	62	0	0	2,069	2,131	
	合計	14,208	14,804	3,896	3,978	7,603	7,869	5,227	5,293	30,934	31,944	
総計	273,329	278,255	56,743	57,266	116,059	120,021	124,118	126,196	570,249	581,738		

市民ﾌﾞﾗﾝｸﾞ図書室の蔵書は伊勢崎市図書館に含む。

一般図書構成割合（平成24年度末）

（単位：％）

		伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館	
		23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度
一般	総記	5.04	5.00	2.79	2.68	2.36	2.33	4.15	4.10	4.05	3.99
	哲学	4.45	4.46	4.22	4.09	3.75	3.73	3.25	3.24	3.99	3.98
	歴史	10.76	11.07	10.29	10.21	9.35	9.45	10.10	10.12	10.26	10.41
	社会科学	13.52	12.05	7.08	7.50	11.46	11.41	12.15	12.07	12.12	11.47
	自然科学	5.57	5.24	4.80	5.14	6.74	6.73	5.24	5.26	5.65	5.55
	工学技術	6.17	6.48	9.13	9.39	12.31	12.38	5.72	5.62	7.62	7.80
	産業	2.83	2.95	3.99	4.04	3.82	3.78	2.26	2.26	3.01	3.07
	芸術	9.94	10.25	12.28	11.56	13.30	13.08	9.04	8.83	10.65	10.63
	言語	1.77	1.80	1.89	1.89	1.56	1.53	1.40	1.37	1.65	1.65
	文学	39.95	40.68	43.54	43.51	35.36	35.58	46.70	47.12	41.00	41.45
	計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

VI 文化振興



第2回伊勢崎市選抜作家秀作展

文化振興

1 基本方針

市民の情操をかん養するため、文化芸術活動に関する機会の提供、各種文化団体への育成及び連携を深め、市民の文化活動のより一層の活性化を図る。

2 重点施策

(1) 文化活動への支援と機会の拡充

文化団体相互の連携を強化し、団体が行う活動への支援や文化芸術に対する理解と鑑賞力を高めることを目的とした作品展等の開催を通して、市民文化の形成・向上を図る。

(2) 文化の創造・育成と伝統文化の伝承

新たな文化の創造・育成と地域の伝統文化の伝承を推進するための活動への支援や人材の育成を図り、大人から子どもまでが文化に親しむ機会を拡充する。

(3) 舞台芸術鑑賞の提供

世界並びに日本の優れた舞台芸術・公演等の鑑賞機会を市民に提供する。

(4) 文化施設の機能の充実

地域が育んできた文化活動や伝統芸能の発表、展示を支援するために文化会館、赤堀芸術文化プラザ、境総合文化センター等の施設機能を充実させる。

3 平成24年度事業実績

(1) 文化団体等への支援事業

ア 文化協会事業

文化協会は15部門に分かれ、文化活動の振興を図るとともに団体間との連携・交流も深めている。

月	日	事業名	内容	会場
4	1	華蔵寺公園花まつり郷土芸能発表会	郷土芸能部門会員による発表会	華蔵寺公園野外ステージ
	11	常任理事会	定期総会に向けて	伊勢崎市役所
5	11	定期総会	平成23年度報告、平成24年度計画	プラザ・アリア
6	17	第12回歌謡部門発表会	歌謡部門会員による発表会	境総合文化センター
8	22	常任理事会	賛助会員加入協力について	伊勢崎市役所
9	8.9	第6回文学祭	文学部門会員による文学祭	境総合文化センター
	21~24	第6回写真展	写真部門会員による写真展	境総合文化センター

	23	第6回文学部門 短歌会	文学部門会員による短歌会	境総合文化センター
10	20.21	第4回自然部門 総合展	自然部門会員による作品展	境総合文化センター
11	11	第6回郷土芸能 大会	郷土芸能部門会員による発表会	文化会館
	18	第5回茶会	茶道部門会員による茶会	境総合文化センター
	23	第6回市民音楽 祭	音楽部門会員による発表会	境総合文化センター
	25	第13回歌謡部門 発表会	歌謡部門会員による発表会	境総合文化センター
12	2	洋舞フェスティ バル 2012	洋舞部門会員による発表会	境総合文化センター
2	1~4	第6回総合作品 展	美術部門会員による発表会	境総合文化センター
	8~10	第6回書道展	書道部門会員による発表会	境総合文化センター
	16.17	第6回いけばな 展	華道部門会員による発表会	ふくしプラザ
	24	第6回吟剣詩舞 の集い	吟剣詩舞部門会員による発表会	文化会館
3	2	第6回民謡民舞 発表大会	民謡民舞部門会員による発表会	文化会館
	10	第5回邦楽舞踊 のつどい	邦楽舞踊部門会員による発表会	文化会館
	11	常任理事会	平成24年度事業、決算・平成25年度事 業、予算について	伊勢崎市役所

イ 文化協会登録団体

文化協会 15 部門の内訳は以下のとおりであり、団体総数 267 団体、会員総数 8,304 人。

部 門	種 目	団体数	人 数	部 門	種 目	団体数	人 数
美 術	日 本 画	3	47	吟 剣 詩 舞	吟 詠	15	396
	洋 画	6	77		剣 詩 舞	1	5
	工 芸	3	80		合 計	16	401
	そ の 他	6	143	民 謡 民 舞	民 謡	20	355
	合 計	18	347		そ の 他	0	0
書 道	か な	6	145	郷 土 芸 能	合 計	20	355
	漢 字	18	342		神 楽	1	12
	そ の 他	5	50		八 木 節	22	469
	合 計	29	537		は や し	8	351
写 真	写 真	10	187	和 太 鼓	5	210	
華 道	華 道	2	650	獅 子 舞	3	66	

茶 道	茶 道	8	969		古 武 道	2	31
文 学	短 歌	5	71	洋 舞	そ の 他	3	95
	俳 句	2	35		合 計	44	1234
	川 柳	1	19		社 交	1	15
	そ の 他	5	118		ジ ャ ズ	0	0
	合 計	13	243		フ ォ ー ク	2	34
音 楽	合 唱	15	505	フ ラ ダ ン ス	19	425	
	器 楽	7	222	そ の 他	5	103	
	合 計	22	727	合 計	27	577	
歌 謡	歌 謡	16	855	自 然	植 物	8	289
邦 楽 舞 踊	邦 楽	2	258		動 物	1	50
	邦 舞	22	388		そ の 他	1	20
	合 計	24	646		合 計	10	359
諸 芸	将 棋 囲 碁	2	98				
	そ の 他	6	119				
	合 計	8	217				

(2) 育成と伝承事業

ア 「ダンピア伊勢崎」の普及

全員参加ができるまつりにしようと、市民になじみの曲をアレンジし創作したダンスを多くの市民に楽しく踊って、祭りに参加してもらうため公民館や学校体育館等にて講習会を開催した。いせさきまつりでは約1,500人が本町通りを埋め尽くして踊り、各地区のまつり・納涼祭及び各種イベント等においても多くの市民が参加している。

- ・講習会及びイベント（年間）34回、約3,400人が参加。



いせさきまつり

イ 市民アートフェスティバル

市内の美術愛好家の交流を図るとともに、市民の芸術文化の振興と向上を目指す観点から、市民より応募のあった日本画・洋画・書・彫刻工芸・手芸作品を境総合文化センターにて展示公開した。

- ・10月26日～10月29日 書（128点）：観覧者629人
- ・11月2日～11月5日 彫刻工芸（77点）・手芸（54点）：観覧者485人
- ・11月16日～11月19日 日本画（72点）・洋画（66点）：観覧者658人



市民アートフェスティバル



市民アートフェスティバル

ウ インターネット美術館

市が所蔵している美術品等を市のホームページにおいて公開している。

- ・公開作品総数346点（福沢一郎絵画30点・リトグラフ44点、磯部草丘52点、森村西三6点、金井鳥洲36点、資料178点）

エ 伝統文化子ども教室

次世代を担う子どもたちに伝統文化を体験・修得させる機会として文化庁の委嘱事業として（財）伝統文化活性化国民協会が助成し開催される、伝統文化子ども教室の支援を行っている。

- ・実施された教室：日本舞踊、囲碁、箏、和太鼓、将棋の5教室

(3) 舞台芸術鑑賞事業

実施日	公演名	入場者数	開催場所
5月19日	→Pia-no-jaC←LIVETOUR 2012 伊勢崎	636	境総合文化センター
5月20日	リチャード・クレイダーマン with ストリングストリオ & パーカッション	929	文化会館
6月9日 ～8月26日	第15回伊勢崎市境演劇フェスティバル	1,915	境総合文化センター
6月30日	坂本冬美コンサート	2,670	文化会館
7月7日	おかあさんといっしょ	2,615	文化会館
7月8日	超大型紙芝居	454	赤堀芸術文化プラザ
7月16日	エントランスホールコンサート	290	文化会館
7月29日	音楽の絵本～親子のためのクラシックコンサート	675	境総合文化センター

7月29日	ベンチャーズ ジャパンツアー	613	文化会館
8月26日	平原綾香 Concert Tour2012	1,312	文化会館
10月13日	県民音楽のひろば群馬交響楽団演奏会	451	境総合文化センター
11月6日	情熱のフラメンコ	307	文化会館
1月6日	宮本文昭&宮本笑里トーク&コンサート	453	文化会館
1月26日	第8回いせさき能「井筒」	417	境総合文化センター
1月27日	米村でんじろうサイエンスショー	1,155	文化会館
2月10日	ケロポンズ親子コンサート	464	赤堀芸術文化プラザ
2月17日	親子で聴けるクラシック	362	文化会館
2月19日	フリーライブ 2013	260	境総合文化センター
3月4日	ゴスペラーズ坂ツアー	1,355	文化会館

(4) 文化施設の利用状況

施設名	文化会館		境総合文化センター		赤堀芸術文化プラザ	
	開館日数：339日		開館日数：337日		開館日数：337日	
種別	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
大ホール	217	111,223	224	37,425	225	22,503
小ホール	326	51,558	259	24,956		
ホール小計	543	162,781	483	62,381	225	22,503
会議室他	2,376	54,312	2,592	51,807	-	-
展示室他	611	39,599	326	48,906	36	1,442
室等の小計	2,987	93,911	2,918	100,713	36	1,442
合計	3,530	256,692	3,401	163,094	261	23,945

VII 文化財保護



田島弥平旧宅国史跡指定標柱と説明板

文化財の保護と活用

1 基本方針

- (1) 先人が残した地域の歴史遺産や文化遺産など価値ある文化財を調査、保存し、郷土の歴史や文化を次代に継承します。
- (2) 地域の伝統文化や指定文化財等の公開を通して、郷土を愛する心を育みます。

2 重点施策

(1) 文化財の調査

- ア 三軒屋遺跡の国指定史跡化
- イ 史跡女堀保存整備活用事業の推進

(2) 文化財の保存

- ア 田島弥平旧宅の保存・管理の推進
- イ 文化財指定の推進
- ウ 指定文化財の保存管理

(3) 文化財の活用・継承

- ア 文化財普及啓発事業の推進
- イ 赤堀歴史民俗資料館事業の充実
- ウ 文化財保存団体・管理団体等との連携

3 平成24年度事業実績

(1) 文化財保護事業

ア 文化財調査委員

伊勢崎市文化財保護条例により文化財調査委員を委嘱し、文化財の保存及び活用等について調査審議を行った。

委員構成：人文地理・近代史、考古学、古代史、中世史、近世史、建築学、植物学、民俗学の有識者（計8人）

任期：2年間（平成23・24年度）

開催回数：3回

第1回 5月30日（水）茂呂の屋台囃子、田島弥平旧宅史跡指定意見具申書について

第2回 9月22日（土）茂呂の屋台囃子の現地視察調査

第3回 2月12日（火）茂呂の屋台囃子の市指定意見具申について

(2) 保護管理事業

ア 指定文化財の保護管理

所有者又は管理団体に対して指定文化財活用管理謝礼金を交付し、見学者への説明や文化財の良好な環境維持を図った。

イ 説明板の設置

国指定史跡「田島弥平旧宅」、市指定史跡「村上随憲の墓」、国登録有形文化財「日本基督教団島村教会」の説明板を設置した。

ウ 三軒屋遺跡の調査・啓発

(ア) 確認調査

佐位郡衙関連調査として、地下レーダー探査による確認調査の成果をもとに、発掘調査を実施した結果、明確な遺構は検出されなかった。

(イ) 啓発活動

パンフレット「古代の役所 三軒屋遺跡」を作成し、市民への啓発活動を行った。

エ 田島弥平旧宅の保存管理と普及

(ア) 保存管理計画の策定

調査検討委員を6人から8人に増員し、委員会を4回開催して、史跡田島弥平旧宅保存管理計画を策定した。

(イ) 国史跡指定記念事業の実施

10月27日・28日、境島小学校等を会場に記念式典と特別公開事業を実施した。

(ウ) 史跡整備の実施

史跡の外構美化、主屋の清掃、植栽と雑草の管理、説明板及び標柱の設置を行った。

(エ) 案内所の開設

境島小学校地内の既存施設を転用して、12月19日に田島弥平旧宅案内所を開設した。

(オ) 世界遺産候補をめぐるバスツアー

12月7日と15日、富岡製糸場と絹産業遺産群をめぐるバスツアーを開催した。

オ 指定文化財のパトロール等の実施

指定文化財の破損等の確認及び説明板の清掃を実施した。

カ 指定文化財等の補修

- ① 国指定史跡「女堀」は、平成22年度から保存整備活用事業を実施するとともに、台風で樹木が折損したため伐採した。また、文化財説明板2箇所を修理した。
- ② 国指定天然記念物「華蔵寺のキンモクセイ」は、樹勢回復のため、土壌改良を実施した。
- ③ 県指定天然記念物「連取のマツ」は、平成21年度から5年計画で保護養生事業を実施しており、殺菌剤の散布と、樹下の土壌を膨軟にして樹勢の回復を図った。
- ④ 県指定重要文化財「金銅善光寺式三尊仏」は、自立安定化のため、台座と厨子の接合部を補修した。
- ⑤ 市指定天然記念物「西福寺の大カヤ」は、一部が腐食し、枯渇の危険があるため、樹勢の回復を図った。
- ⑥ 市指定重要文化財「旧森村家住宅」は、東の蔵屋根、裏長屋門を修復した。
- ⑦ 国登録有形文化財「日本基督教団島村教会・めぐみ保育園舎」は、外壁塗装修繕と礼拝堂・講壇室・集会室の壁の漆喰が剥離しているため補修した。

キ 資料の閲覧・撮影・掲載・借用

学術研究等を目的として閲覧4件、調査4件、掲載21件、借用3件の申請があり許可した。

ク 指定文化財の現状変更等

- ① 国指定史跡「女堀」は、保存整備活用事業の基本構想策定のため平成22年度から8年計画で発掘調査を実施しており、24年度の発掘調査に際し現状変更計画書を文化庁へ提出し許可された。
- ② 国指定天然記念物「華蔵寺のキンモクセイ」は、樹勢回復の養生事業について、所有者から現状変更等許可申請が提出されたため文化庁へ提出した。
- ③ 県指定天然記念物「連取のマツ」は、24年度の養生事業に際し現状変更等許可申請を提出し許可された。

ケ 出土品の保存

出土遺物保存処理は、阿弥陀古墳出土の小刀1点、鏝1点、鞆尻金具1点、銅4点、鉄鏃33点、耳環12点の保存処理を行った。

コ 文化財の防火活動

平成25年1月25日（金）、国指定史跡「田島弥平旧宅」において、境島小学校児童や地域住民、消防署の協力により防火訓練を実施した。

また、平成25年1月29日（火）、市指定重要文化財「柴町八幡神社社殿」において、地元住民、

消防署により消防訓練を実施した。

(3) 調査事業

ア 史跡女堀樹木調査票設置

史跡内の樹木管理を目的に、管理番号の付いた調査票を設置した。

イ 史跡女堀発掘調査

保存整備活用事業にあたり、堀状遺構と谷地の発掘調査を、10月15日(月)から1月30日(水)まで実施した。

(4) 普及事業

ア 旧森村家住宅活用事業

本年度から一般公開を再開し、「十五夜のつどい」「史跡巡り」など、来場者は981人であった。

イ はたおり体験学習事業

会場を伊勢崎はたおり体験館として、小学校3・4年生の2学年、延べ36校3,770人の児童が参加し、織物ボランティア「織りの会」が指導を行なった。

ウ 出前講座・講演等

出前講座は「クイズで学ぶ伊勢崎の歴史」と「楽しく学ぶ伊勢崎の古代」のメニューで実施したほか、小学生の社会科見学の現地説明等を実施し、合わせて2,105人の受講があった。

【講座・講演】

期 日	対象者	テーマ・内容	人数
4月26日(木)	三郷小学校6年生	史跡めぐり お富士山古墳と長持形石棺	117人
5月8日(火)	殖蓮小学校6年生	一ノ関古墳	129人
5月11日(金)	三郷文化財研究会	女堀の歴史について	32人
5月22日(火)	あずま南小学校6年生	鶴巻古墳と周辺の古墳や遺跡	101人
6月3日(日)	健康ウォーキング	大国神社と西今井中世館跡	181人
6月4日(月)	福祉プラザ(すこやか会)	楽しく学ぶ伊勢崎の古代	18人
6月14日(木)	赤堀小学校6年生	土器作り	120人
7月20日(金)	波志江三丁目ミディイサビス	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	19人
7月25日(水)	赤堀南小学校3年生	一ノ関古墳	22人
8月21日(火)	赤堀小学校6年生	土器野焼き	120人
8月25日(土)	磯町区	楽しく学ぶ伊勢崎の古代	38人
9月1日(土)	伊勢崎図書館土曜の会	田島家住宅と世界遺産候補	30人
9月6日(木)	赤堀公民館	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	40人
9月28日(金)	女塚区ミディイサビス	楽しく学ぶ伊勢崎の古代	58人
10月7日(日)	健康ウォーキング	大東神社と鶴巻古墳	182人
10月15日(月)	いせさきまちガイド	市指定史跡天幕城跡、市指定史跡十二所古墳	36人
10月18日(木)	今井町ミディイサビス	楽しく学ぶ伊勢崎の古代	30人
10月26日(金)	殖蓮小学校3年生	まが玉作り	244人
11月8日(木)	茂呂史跡愛好会	伊勢崎の近代遺産	24人
1月15日(火)	除ヶ町ミディイサビス	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	90人
1月24日(木)	たかのホーム	クイズで学ぶ伊勢崎の歴史	43人
2月15日(金)	福祉プラザ(すこやか会)	楽しく学ぶ伊勢崎の古代	22人
2月20日(水)	コマクサ会	伊勢崎の歴史と指定文化財	28人
3月3日(日)	健康ウォーキング	田島弥平旧宅と島村教会	300人
3月15日(金)	福祉プラザ(すこやか会)	楽しく学ぶ伊勢崎の古代	21人
3月16日(土)	境史談会	楽しく学ぶ伊勢崎の古代	60人

エ 報告書等の刊行

『田島弥平旧宅保存管理計画』、「田島弥平旧宅パンフレット」、発掘調査報告書『三軒屋遺跡総括編』・『伊与久・久保田東遺跡3』・『市内遺跡2』及び遺跡パンフレット「三軒屋遺跡」・「上植木廃寺」を作成した。

オ 地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業

文化庁補助事業の「地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」を支援した。

(対象事業)

子ども屋台囃子教室、子ども茶道教室、屋台囃子用具整備事業、獅子舞衣装等整備事業、屋台保存事業、栄町祭囃子映像記録事業

カ 伊勢崎市郷土文化研究会連絡協議会

(ア) 概要

北史談会・殖蓮史談会・茂呂歴史愛好会・三郷文化財研究会・那波郷土史研究会・豊受郷土文化研究会・境史談会、あずま郷土史研究会の8団体で構成され、本市の文化振興と文化財愛護意識の向上を目的に、研究会や講演会等の開催、歴史民俗資料の調査保存活動を推進する。

(イ) 活動内容

期 日	会 場	内 容
6月22日 (金)	赤堀支所	総会・記念講演「伊勢崎市の埋蔵文化財」 講師:文化財保護課係長 須長泰一
11月1日 (木)	館林市・板倉町	文化財見学会「板倉町の水郷・水塚・資料館を訪ねる」
12月7日 (金)	茂呂公民館	会員研修会「伊勢崎地方の水神信仰と屋台について」 講師:茂呂歴史愛好会会員 石原義司さん

(5) 埋蔵文化財発掘調査の概要

平成24年度の埋蔵文化財発掘調査の件数は、発掘調査(本調査)と確認調査(試掘調査)で合計66件であった。

ア 発掘調査の種別

発掘調査(本調査) 8件 1,612 m²

確認調査(試掘調査) 58件 2,325 m²

イ 開発に伴う埋蔵文化財包蔵地確認依頼件数

区 分	件 数	区 分	件 数
個人住宅	372	不動産取引	286
集合住宅	34	店舗	22
建売住宅	45	工場	7
鑑定評価	106	その他	276
分譲住宅地造成	45	計	1,193

(ア) 埋蔵文化財展

事業名	開催期間	会場ほか
埋蔵文化財展 「発掘!!古代の役所」	8月3日～5日	スマークホール ・見学者1,572人 ・特別展示解説会 講師:佐藤 信先生 (東京大学大学院教授)

(イ) 埋蔵文化財パネル展

事業名	開催期間	会場
埋蔵文化財パネル展 「史跡女堀展」	10月27日～11月9日	市民ホール (250人)
	11月13日～11月25日	サービスセンター宮子(500人)
	3月5日～ 3月31日	

(ウ) 発掘調査現地説明会

事業名	開催日	参加者数
史跡女堀現地説明会	12月9日	115人

(6) 赤堀歴史民俗資料館

ア 利用の概要

開館日数：304日 入館者数：6,433人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日(日)	26	27	26	23	27	26	26	26	24	23	24	26
入館者(人)	215	548	522	264	731	702	508	291	244	404	596	1408

なお、資料の燻蒸期間中（7月28日～31日）は臨時休館した。

イ 資料館運営協議会

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館条例により資料館運営協議会を設置し、資料館の運営及び事業計画等について調査審議を行った。

委員構成：学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、学識経験者6人（計8人）

任 期：2年間（平成23・24年度）

開催回数：3回

ウ 展示活動

(ア) 常設展示

1階展示室 発掘調査で得られた資料を年代順に展示解説（市指定重要文化財3点を含む）。

2階展示室 復元古民家とその内部及び養蚕資料を展示。

(イ) 企画展

期 間	展 示 名	観覧者数
8月18日（土）～9月30日（日）	「世界に馳せた明治の蚕種家―田島弥平―」展	910人
3月2日（土）～3月24日（日）	探検家・矢島保治郎展 ―中国～チベットに足跡をたどる―	1,254人

(ウ) 季節展

期 間	展 示 名	観覧者数
4月21日（土）～5月13日（日）	端午の節供展	319人
6月23日（土）～7月16日（月）	星に願いを―七夕展―	220人
9月25日（火）～10月28日（日）	お月見展	586人
12月22日（土）～2月3日（日）	むかしのあそび展	598人
2月16日（土）～3月10日（日）	ひなまつり展	1,360人

エ 教育普及活動

(ア) 情報紙とホームページ

資料館情報紙を毎月発行（第85号～第96号）し、市ホームページにも掲載した。

(イ) 学習支援事業

保育園、幼稚園及び小学校児童や生涯学習団体等に対して、展示解説と学習支援を行った。
12校、27団体、1,366人が観覧した。

(ウ) 文化財教室

- ・「まがたまづくり教室」 8月1日(水)～3日(金)、23日(木)
56人が参加し、古代アクセサリーのオリジナルまがたまを作った。
- ・「はたおり体験教室」 8月8日(水)～12日(日)
116人が参加し、はたおり機を使ってコースター織りを体験した。
- ・「しめ縄飾りづくり教室」 12月22日(土)
58人が参加し、お正月伝統のしめ縄飾りを作った。

(工) 特別観覧等

収蔵資料の特別観覧を許可した。

資料名	期 日	申請者	内 容
日露戦争軍事郵便	10月21日(日)	個人(市外)	調査研究
神社コロケ屋台	10月24日(水)	テレビ番組製作会社	番組製作
中島雄太郎資料	12月2日(日)	個人(市内)	調査研究

(オ) 文化財普及事業

【企画展特別講座】

期 日	テーマ	講 師	受講者数
9月16日(日)	蚕種の輸出と田島弥平	西川武臣さん (横浜開港資料館副館長)	98人
3月2日(土)	絆 郷土と矢島保治郎を繋ぐー中国～チベット紀行ー	小松健一さん(写真家)	116人

【歴史文化講座】

期 日	テーマ	講 師	受講者数
7月29日(日)	縄文人の弔い	大工原豊さん (國學院大学兼任講師)	45人
8月26日(日)	縄文ランドスケープと古墳ランドスケープ	大工原豊さん (國學院大学兼任講師)	41人
10月21日(日)	近世の石造物から	増田 修さん (前桐生市文化財保護課)	38人
12月2日(日)	榊原家の墓参り	岡屋栄治さん (館林市文化振興課長)	28人

伊勢崎市の指定文化財（138件）

1 国指定重要文化財（4件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
1	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年2月8日
2	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年2月8日
3	埴輪男子倚像	1軀	三光町6-10	昭和33年2月8日
4	埴輪武装男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年2月8日

2 国指定史跡（3件）

5	女堀	1条	下触町213外	昭和58年10月27日 平成9年9月11日追加
6	十三宝塚遺跡	1件	境伊与久	昭和63年1月11日
7	田島弥平旧宅	1件	境島村2243	平成24年9月19日

3 国指定天然記念物（1件）

8	華蔵寺のキンモクセイ	1本	華蔵寺町6	昭和12年6月15日
---	------------	----	-------	------------

4 県指定重要文化財（12件）

9	下植木赤城神社石造美術群	3基	宮前町1582	昭和35年3月23日
10	天増寺宝塔	1基	昭和町1645-1	昭和35年3月23日
11	脇差 銘 山城国住越中守藤原正俊	1口	今泉町二丁目938-7	昭和38年9月4日
12	金銅善光寺式三尊仏	3軀	稲荷町518-3	昭和43年5月4日
13	宮子の笠塔婆	1基	宮子町1416	昭和48年12月24日
14	絹本著色白崖宝生禅師像	1幅	柴町945(高崎市綿貫町992-1)	昭和48年12月24日
15	石倉文書	1巻	三光町6-10	平成7年3月24日
16	相川家茶室「觴華庵」附造宮文書2点「材木積り立控」「隠宅普請入用控」	1棟	三光町6-10	平成12年3月21日
17	お富士山古墳所在長持形石棺	1基	安堀町799	平成13年3月23日
18	太刀 銘 備州長船実光	1口	下植木町980-54	昭和38年9月4日
19	長光寺懸仏	1基	境495(高崎市綿貫町992-1)	昭和33年3月22日
20	縁切寺満徳寺文書	179点	境287(太田市徳川町385-1)	昭和36年1月6日

5 県指定重要無形民俗文化財（1件）

21	千本木龍頭神舞	1件	北千木町・南千木町	平成18年3月24日
----	---------	----	-----------	------------

6 県指定史跡（1件）

22	金井烏洲と一族の墓	1件	境島村2344-1	昭和48年12月24日
----	-----------	----	-----------	-------------

7 県指定天然記念物（2件）

23	連取のマツ	1本	連取町591	昭和28年8月25日
24	境高校のトウカエデ	1本	境492	平成4年5月15日

8 市指定重要文化財（57件）

25	同聚院の武家門	1棟	曲輪町14-15	昭和41年4月12日
26	関重巖著「伊勢崎風土記」ほか2点	5冊	三光町6-10	昭和41年4月12日
27	教民要旨の碑	1基	茂呂町二丁目2169-1	昭和41年4月12日
28	上植木の建長石仏	2体	上植木本町996-5	昭和41年4月12日
29	伊勢崎河岸の石灯籠	1基	三光町13-13	昭和42年2月15日
30	千本木龍頭神舞カシラ	3個	南千木町2292	昭和47年4月25日
31	慶長の釣灯籠	1基	曲輪町30-6	昭和48年3月5日
32	八寸権現山の宝塔	1基	豊城町1989-2	昭和48年3月5日
33	大聖寺墓地の宝篋印塔	2基	大正寺町89	昭和48年3月5日
34	富塚円福寺の宝篋印塔	2基	富塚町2337	昭和48年3月5日
35	文明の石幢	1基	曲輪町14-13	昭和48年3月5日
36	伊勢崎の太織	25点	曲輪町32-5	昭和48年3月5日
37	宮古の古文書	508通	曲輪町22-21	昭和48年3月5日
38	常清寺の変型板碑	1基	東本町354	昭和48年3月5日
39	岡屋敷の阿弥陀三尊石仏	1体	波志江町165-4	昭和48年3月5日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
40	新宿の変型板碑	1基	波志江町1410	昭和48年3月5日
41	上蓮の阿弥陀・地藏石仏	1基	上蓮町20	昭和48年3月5日
42	竹芳寺の梵鐘	1口	連取元町1816	昭和48年3月5日
43	脇差 銘 直勝	1口	本町4-26	昭和48年3月5日
44	刀 銘 直道	1口	中央町23-19	昭和48年3月5日
45	森村家の文書	62冊	連取町361	昭和58年3月11日
46	波志江権現山の磨崖種子	1基	波志江町2237-6	昭和59年11月29日
47	上西根の五輪塔	1基	鹿島町155-1	昭和59年11月29日
48	藍染熨斗目	1領	北千木町2013	平成4年2月24日
49	倭文神社の朱印状	9通	東上之宮町222	平成4年2月24日
50	旧時報鐘楼	1基	曲輪町28-23	平成5年3月23日
51	蛇塚古墳出土埴輪馬	2体	西久保町二丁目98	平成8年3月29日
52	高山1号古墳出土埴輪鞍	1基	西久保町二丁目98	平成8年3月29日
53	絹本著色稲垣平右衛門長茂像 附同重宗像	2幅	昭和町1645-1	平成8年3月29日
54	黒羽根内科医院旧館	1棟	曲輪町31-4	平成14年9月30日
55	旧森村家住宅	1棟	連取町377-1	平成15年10月31日
56	柴町八幡神社社殿	1棟	柴町693	平成16年11月30日
57	上毛伊勢崎領塾蔵小学内篇・外篇版木 附同版藩校学習堂蔵印小学二冊	1式	曲輪町22-21	平成20年7月1日
58	今村神社旧大鏡院仁王門 附奉加帳	1棟	稲荷町乙368-1、稲荷町367-1	平成22年10月1日
59	天増寺橋供養地藏尊像	1軀	昭和町1649-1	平成22年10月1日
60	香林の木造如意輪観音坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成6年4月1日
61	香林の石造観音菩薩坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成6年4月1日
62	間野谷の石造層塔	1基	間野谷町839 (共同墓地内)	平成6年4月1日
63	宝珠寺の五輪塔	1基	赤堀今井町二丁目1344-1	平成6年4月1日
64	石山観音の大鰐口	1口	下触町4	平成20年2月25日
65	東小保方村分間絵図他一括古文書	1式	東町2514-1	昭和48年2月21日
66	小泉稲荷神社奉納手洗盤	1点	小泉町231	昭和48年3月22日
67	文化の常夜灯	1基	小泉町259	昭和63年3月4日
68	長安寺の宝篋印塔	1基	西小保方町304	昭和63年3月4日
69	復元あずま橋と二十三夜塔	2基	国定町一丁目1243-1	昭和63年3月4日
70	頼光塚	1基	東小保方町1772-2	平成14年3月29日
71	延文二年銘鰐口	1点	境261	昭和42年2月10日
72	曼荼羅板碑	1基	境261	昭和42年2月10日
73	金井研香筆 境街糸市繁昌之図	1幅	西久保町二丁目98	昭和42年2月10日
74	東町福島家文書	1式	境東328	昭和42年2月10日
75	大国神社の石幢	1基	境下刈名2827	昭和42年2月10日
76	漂麦園文集1 2巻	1式	境保泉262	昭和42年2月10日
77	金井烏洲筆 赤壁夜遊図	1幅	境島村2215	昭和42年2月10日
78	養蚕新論版木	1式	境島村2243	昭和42年2月10日
79	島村の板倉	1棟	境島村2492	昭和42年2月10日
80	平塚赤城神社本殿	1棟	境平塚1163-1	昭和42年2月10日
81	米岡の姥石	1基	境米岡230-2	平成16年11月26日
82	平塚西光寺の馬頭観音塔	1基	境平塚1224	平成16年11月26日
83	境町五人組帳	290点	境323-1	平成16年11月26日

9 市指定重要有形民俗文化財 (5件)

84	平塚の操人形及び衣装 (頭等)	1式	境平塚1228	昭和38年8月1日
85	平塚の操人形及び衣装 (衣装等)	1式	境323-1	昭和38年8月1日
86	平塚の操人形及び衣装 (人形・衣装・収納箱一式)	1式	境平塚1220-10	平成16年11月26日
87	波志江の屋台	10基	波志江町3348-1外	平成16年11月30日
88	茂呂の屋台	5基	茂呂町一丁目538-4外	平成22年10月1日

10 市指定重要無形民俗文化財（14件）

89	伊勢崎木遣り	1式	宮子町1211-1	平成13年6月29日
90	国定赤城神社奉納獅子舞	1件	国定町二丁目	平成18年6月15日
91	下湊名の獅子舞	1件	境下湊名	平成18年6月15日
92	剛志の民謡	1件	境剛志地区	平成18年6月15日
93	女塚祭礼囃子	1件	境女塚	平成18年6月15日
94	栄町祭礼囃子	1件	境栄	平成18年6月15日
95	三ツ木祭礼囃子	1件	境三ツ木	平成18年6月15日
96	東新井の獅子舞	1件	境東新井	平成18年6月15日
97	倭文神社の田遊び	1件	東上之宮町	平成19年8月17日
98	茂呂町一丁目屋台囃子	1件	茂呂町一丁目	平成25年3月26日
99	茂呂町二丁目屋台囃子	1件	茂呂町二丁目	平成25年3月26日
100	南北千木町屋台囃子	1件	南千木町	平成25年3月26日
101	美茂呂町屋台囃子	1件	美茂呂町	平成25年3月26日
102	茂呂南町屋台囃子	1件	茂呂南町	平成25年3月26日

11 市指定史跡（27件）

103	権現山遺跡	1件	豊城町1989-3	昭和41年4月12日
104	お富士山古墳	1基	安堀町799	昭和41年4月12日
105	今村城跡	1件	稲荷町848-1	昭和41年4月12日
106	柴宿本陣跡	1件	柴町524	昭和41年4月12日
107	栗庵似鳩の墓	1基	上蓮町134-1	昭和41年4月12日
108	稲垣平右衛門長茂の墓 附累代の墓所	24基	昭和町1614	昭和42年2月15日
109	小島武堯の墓	1基	曲輪町10-11	昭和42年2月15日
110	関当義・重嶽父子の墓	2基	曲輪町14-10	昭和48年3月5日
111	丸塚山古墳	1基	三和町2448外	昭和52年9月9日
112	一ノ関古墳	1基	本関町1298-3外	平成10年12月28日
113	下城弥一郎・森村熊蔵の碑	2基	曲輪町31-1	昭和42年2月15日
114	十二所古墳	1基	磯町405-1外	昭和46年6月10日
115	庚塚古墳	1基	下触町119-1	平成7年4月1日
116	赤堀城跡	1件	赤堀今井町二丁目1405外	平成16年8月10日
117	毒島城跡	1件	赤堀今井町二丁目815外	平成16年8月10日
118	赤堀茶臼山古墳	1基	赤堀今井町二丁目甲995-1外	平成16年8月10日
119	天幕城跡	1件	磯町293-1外	平成16年8月10日
120	六道の道標とあずま道	1件	上田町249	昭和44年2月21日
121	旗本久永氏陣屋跡	1件	東小保方町3297	昭和63年3月4日
122	鶴巻古墳	1基	東小保方町1859外	昭和44年2月21日
123	郷学五惇堂の碑	2基	境伊与久676	昭和35年3月1日
124	北米岡縄文文化遺跡	1件	境米岡地内	昭和35年3月1日
125	西今井中世館跡	1件	境西今井319	昭和42年2月2日
126	旧日光例幣使道	1件	境下武士地内	昭和42年2月2日
127	村上随憲の墓	1基	境495	昭和42年2月10日
128	雷電神社古墳	1基	境伊与久3581	昭和52年3月11日
129	弥勒寺音次郎・音八父子の墓	1件	境下湊名1349	平成元年3月15日

12 市指定天然記念物（7件）

130	同聚院の大カヤ	1本	曲輪町14-14	昭和42年2月15日
131	波志江の大シイ	1本	波志江町2160-3	昭和42年2月15日
132	上植木のサカキ	1本	本関町1093	昭和42年2月15日
133	赤堀今井の信濃柿（マメガキ）	1本	赤堀今井町一丁目205	平成6年4月1日
134	塩島稲荷の大サザンカ	1本	八寸町5156-2	昭和44年2月21日
135	湧水あまが池	1件	上田町269-2	昭和63年3月4日
136	西福寺の大カヤ	1本	田部井町二丁目1167	昭和63年3月4日

13 国登録有形文化財（2件）

1	小茂田家住宅（主屋・蚕室・蔵・井戸屋）	4棟	長沼町2631	平成16年2月17日
2	日本基督教団島村教会教会堂、島村めぐみ保育園本館	2棟	境島村2509-2	平成20年4月18日

VII 青少年健全育成



子ども会 かるた大会

心身ともに健全な青少年の育成の推進

1. 基本方針

将来の地域社会を担う自立した青少年を育成するため、青少年の自主的な体験活動を促進し、社会規範・モラルの向上をはかるとともに、家庭・地域社会・学校が連携して有害環境の浄化や問題の早期発見に取り組むなど、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組みます。

2. 重点事業

(1) 地域ぐるみの健全育成活動の推進

- ア. 健全な家庭づくり、よりよい地域づくりを推進するためのモデル地区指定による家庭健全化運動の充実
- イ. 市民総ぐるみの健全育成運動をより推進するための青少年健全育成大会の充実
- ウ. 住みやすい、豊かな街づくりを推進するため、関係団体との連携強化などによるあいさつ運動の実践と啓発
- エ. 子どもたちの安全を確保するための子ども安全協力の家事業の充実

(2) 好ましい環境づくりの推進

- ア. 青少年育成推進員の資質向上を図るための研修の充実
- イ. 有害環境から子どもを守るための図書等自動販売機等の状況調査、白ポスト回収の実施及び深夜営業施設への立入調査、パトロールの実施
- ウ. 青少年に好ましい環境をつくるため、地域における環境浄化活動への支援
- エ. 健全な青少年の育成と非行防止を図るため、「少年の日」、「家庭の日」の広報啓発等の充実

(3) 成人式事業「成人の日」記念行事の充実

- ア. 新たに成人の日を迎える新成人を地域ぐるみで祝福する
- イ. 開催方法は、中学校区単位で最寄の公共施設を各会場とした分散型開催

(4) 青少年活動の促進

- ア. 豊かな人間性を育むための各種体験教室の充実
- イ. 体験活動の機会を拡充するための青少年団体活動推進委託事業「ふれあい体験教室」等の充実
- ウ. 青少年の参画を促進するためのジュニアリーダー各地区派遣事業の充実
- エ. 台東区をはじめ他市との自然体験等を通じ地域の相互理解を図るための都市地方連携推進事業の実施
- オ. 地域社会の青少年健全育成を推進するための子ども会育成会各種リーダー養成事業の充実
- カ. 青少年団体のリーダーを育成するための各種指導者養成研修会への参加促進

3. 平成24年度事業実績

(1) 青少年対策事業

- ア. 地域ぐるみの健全育成活動の推進
- イ. 好ましい環境づくりの推進
- ウ. 成人式事業「成人の日」記念行事の充実

事業名	趣 旨	期 日・場 所	対 象 者	参加者数
青少年問題協議会	青少年の指導・育成及び矯正に関する総合的施策の樹立につき重要な事項を調査審議するとともにその適切な実施を期するため必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る。	5/29、11/19 市役所	委員、幹事	64
青少年健全育成 三季運動	青少年の非行や事故の発生が、児童生徒の休業期である季節に増加している。そのため児童生徒の休業期に、「青少年健全育成三季運動」を展開する。	春（3/15～4/30） 夏（7/15～8/31） 冬（12/15～1/31）	青少年育成推進員	1,528
図書等自販機設置状況調査	有害図書・ビデオテープ等の自販機の状況調査を実施した。	隔月実施	青少年育成推進員、青少年指導員	12
白ポスト回収	白ポストを設置し、有害図書等の回収・調査を実施した。	毎月実施	青少年育成推進員、青少年指導員	376
深夜営業施設立ち入り調査	伊勢崎警察署と協力し深夜営業施設への立入調査を実施した。	7/20	伊勢崎警察署員、群馬県少年指導委員、少年補導員、青少年育成推進員、青少年指導センター補導員	40
家庭健全化運動推進モデル地区研修会	家庭の健全化は、青少年の健全化のために必要不可欠である。そのため毎年モデル地区を指定し、指定地区の推進実行委員が各種研修会を開催、「家庭の日」「少年の日」の普及実践活動を図る。	各モデル地区 会議所・集会所	モデル地区住民	4,180
青少年健全育成環境浄化大会	青少年を健全に育成するために、地域ぐるみの育成活動、地域社会のあり方及び各地域における環境浄化の促進について協議を行い、共通理解のもとに今後の実践活動に資する。	11/9 市民プラザ	青少年育成推進員、青少年補導員、関係団体役員	250
青少年健全育成大会	講演会及び青少年善行者、健全育成・標語優秀者を表彰することにより、青少年に対する理解を深め、さらに、青少年健全育成について家庭・学校・地域それぞれの役割について認識を深める。	2/16 伊勢崎市文化会館	教育機関、青少年育成団体	500
成人式 「成人の日」 記念行事	新たに成人の日を迎える新成人を祝福する事業。分散開催で運営には新成人を中心とした実行委員会が携わり、青少年育成関係団体等の協力により実施。	1/13 伊勢崎市文化会館	新成人	1,621



青少年健全育成環境浄化大会



街頭キャンペーン



青少年健全育成大会



成人式

(2) 青少年育成事業

事業名	趣旨	期日・場所	対象者	参加者数
ジュニアリーダー初級認定講習会	ジュニアリーダー・サブリーダーに、子ども会活動の基礎的知識・技能を習得させ、あわせて地域のリーダーの組織化をめざす。	6/2～3 伊勢崎市青少年育成センター	ジュニアリーダー サブリーダー	25
子ども会指導者初級認定講習会	単位子ども会の初級指導者を養成し、子ども会活動の健全な活動に資する。	5/27 境総合文化センター 6/3・17 伊勢崎市青少年育成センター	子ども会育成会 会員	298
子ども会役員インリーダー研修会	子ども会会員である小学校高学年を対象に、子ども会運営に必要な基礎的知識・技能を習得させることにより、子ども会役員としての自覚を高め、単位子ども会の活性化を図る。	6/16～17 伊勢崎市青少年育成センター	子ども会役員イン リーダー	108
子ども会育成会指導者救急救命講習会	子ども会育成会安全会事業としてAEDを使用した救急救命の講習を広く指導者を対象に実施。	7/8・22 市役所	子ども会育成会指 導者	33
子ども会町内対抗少年相撲大会	国技である相撲を通して、自己の体力を養い、伝統ある武道の尊さを学び、あわせて子どもたちの闘志と友情を育てる。	9/9 華蔵寺公園 運動施設内相撲場	子ども会会員	118

事業名	趣旨	期日・場所	対象者	参加者数
子ども会駅伝競走大会	駅伝競走を通して、子どもたちの走力及び心身を鍛え、単位子ども会の交流を図る。	10/28 市陸上競技場及びその周辺	子ども会会員	249
伊勢崎市上毛かるた競技大会	上毛かるたの競技を通して、郷土群馬の文化・歴史・伝統を理解し、郷土を愛する心情を養う。	1/20 伊勢崎市民プラザ柔道場	子ども会会員	214
青少年団体リーダー養成事業	青少年団体の中堅リーダーを各種指導者育成研修会へ派遣し、知識や技能を習得させたり、指導者の資格を取得させたりすることにより、指導者としての資質の向上を図る。	4月～3月 県内各地	青少年団体リーダー	56
明日の郷土を築く青少年の集い(第38回クリーンフェスティバル)	明日の郷土を担う青少年が一堂に集い、日ごろの活動の成果を発表し合い、市民を交えて交流を図り、明日の郷土を築く決意を新たにす。さらに、このことを通して、青少年団体活動に対する市民の理解を深める。	10/21 波志江沼環境ふれあい公園	青少年、市民	1,000
ふれあい体験教室	団体の特色ある活動のアピールと子どもを対象に各種体験教室を実施し子ども達の豊かな体験活動を推進する。	4月～3月 市内各地	青少年、市民	868
都市地方連携推進事業(地域こども交流事業)	生活環境の異なる子ども達同士の交流を通じて、幅広い視野と柔軟性に富んだ思考能力の醸成に寄与し、子ども達の健全育成に貢献するとともに、都市と地方の交流を深めることで、地域のより一層の活性化を促進する。(29日～30日地域こども交流)	10/27～28、1/27 伊勢崎市青少年育成センター外	台東区・本庄市・玉村町・伊勢崎市ボーイスカウト、ガールスカウト	119
アウトドア体験学習「親子木工教室」	自らの手で物を作る喜びを体験するとともに、親子の絆を深める。	8/11日 赤堀せせらぎ公園 8/19 あずま公民館	小学生以上の親子	114
地域青少年育成支援事業「雪山自然体験教室」	子どもたちが自然への親しみを深めるための野外創作活動や手作りの昔遊びなどを体験学習することにより、知恵を育むとともに、参加者同士が楽しく交流する場を提供する。	3/10 軽井沢スノーパーク	市内在住の親子	48
子ども体験教室「親方のクラフト教室」	ボランティアスタッフを中心に、自然の木の実等の材料を使った木工クラフトづくりを通じ、子どもたちが自然への親しみや遊び方の工夫を肌で感じとり、楽しく交流する機会の場を提供する。	6/17 境総合文化センター 7/14～15 七夕にぎわい広場	市内在住の親子	325
子ども文化財めぐり	県内の文化財をめぐることにより郷土に対する愛情を育むとともに参加者同士の親睦を深める。	9/23 安中市周辺 3/3 富岡市周辺	小中学生	71



子ども会町内対抗少年相撲大会



第38回クリーンフェスティバル



地域こども交流事業



子ども文化財めぐり（9月）

青少年非行防止活動の推進

1 基本方針

心身ともに健全な青少年の育成を目指し、青少年の非行防止活動の推進に努めます。

近年の急速な社会変化は、青少年に大きな影響を及ぼし、そこから生じる非行、いじめ等の問題は、依然として憂慮される状態にあります。

明るい家庭、住みよいまちづくりを推進し、家庭、学校、地域、関係機関が一体となって、青少年に温かい声かけを行い非行防止活動に努めます。

2 重点施策

(1) 地域と一体となった非行防止活動の展開

ア 青少年の非行防止・健全育成を目的として 29 班編成で実施する通常補導、地元で実施する地区別補導、お祭りの際に実施する特別補導及び列車内補導などを通して、非行少年の早期発見、早期指導に努める。

イ 青少年の非行防止を目指し、違反簡易広告物の除却活動を推進する。

カ 非行防止標語ポスターを作成配布し、地域住民の意識の高揚に努める。

(2) 青少年相談事業の充実

ア 青少年の悩みごと、子どもを持つ親の悩みごとなどを、電話又は面接を通して相談を受け、問題解決の一助とし、青少年の健やかな育成を図る。

イ 毎週月曜日から金曜日の午後 1 時から午後 5 時まで、青少年相談員による電話又は面接相談を実施する。

ウ 休日、夜間は、留守番電話で対応する。

エ 電話相談及び面接相談は、青少年指導センターで行う。

オ 青少年相談事業の啓発のため、電話相談カードを作成し市内の学校に配布する。

(3) 青少年非行防止街頭キャンペーンの実施

ア 安心安全まちづくり市民総決起大会に合わせ、青少推・防犯委員と連携し、市内 6 箇所的大型店舗で青少年健全育成・非行防止街頭キャンペーンを実施する。

(4) 青少年健全育成及び非行防止標語の募集

ア 「夏の青少年健全育成運動」の一環として、市内の小学校及び中学校の児童・生徒を対象に、青少年健全育成及び非行防止に関する標語を募集する。

イ 応募された

(5) 青少年育成団体・学校・関係機関等との連携

ア 補導員会役員会を開催し、地域の団体や学校との意見交換を推進する。

イ 研修会などを通して、警察や関係機関との連携を図る。

3 平成24年度事業実績

(1) 街頭補導状況

(単位：人)

月	補導回数				従事した延べ人数					
	午後 2時	午後 4時	夜間	計	補導員			他団体	職員	計
					通常	特別	計			
5	4	10	14	28	85		85	0	1	86
6	4	10	14	28	90		90	0	3	93
7	4	9	14	27	82	24	106	8	4	118
8	4	8	17	29	74	32	106	0	4	110
9	4	10	15	29	82	11	93	0	1	94
10	4	9	12	25	74		74	0	2	76
11	4	10	14	28	87		87	0	0	87
12	5	9	23	37	76	43	119	0	1	120
1	4	8	14	26	73	18	91	0	1	92
2	4	9	14	27	87	18	105	7	3	115
3	5	10	14	29	84	29	113	0	1	114
計	46	102	165	313	894	175	1,069	15	21	1,105

(2) 問題別・相談者別相談状況

(単位：件)

相談内容	未就学	小学生	中学生	高校生	青年	親	一般	合計
非行	0	0	0	0	0	1	0	1
異性・性	0	0	0	1	0	0	0	1
交友	0	0	1	0	0	0	0	1
学業	0	0	0	0	0	1	0	1
進路	0	0	0	0	0	0	0	0
不登校	0	0	0	0	0	10	0	10
健康	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭	0	0	0	0	1	4	4	9
性格	0	0	0	0	0	0	0	0
しつけ	0	0	0	0	0	2	0	2
いじめ	0	0	1	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	5	2	7
合計	0	0	2	1	1	23	6	33

(3) 有害図書等自動販売機設置状況（平成25年4月1日現在）

（単位：台）

	北	南	殖蓮	茂呂	三郷	宮郷	名和	豊受	赤堀	東	境	計
ビデオ・玩具・DVD			1									1



特別補導（夏祭り）



列車内補導



非行防止標語ポスター



電話相談カード

Ⅸ スポーツ振興



スポーツ少年団親子交流大会(ドッチビー)

スポーツ振興

1 基本方針

- (1) 一市民一スポーツの推進を図る
- (2) スポーツ指導者の養成と指導体制の確立を図る
- (3) スポーツ団体の育成強化を図る
- (4) スポーツ施設・整備の充実を図る

2 重点施策

(1) 一市民一スポーツの推進を図る

ア 市民が多く参加できるスポーツ教室の推進

小学生から高齢者まで、年齢・体力・技術に応じてスポーツ活動に取り組めるよう、各種スポーツ教室を開催し、競技力の向上を目的に一流選手に触れる機会のスポーツ教室の開催など、市民のすべてが生涯にわたり健康で生きがいのある生活が送れるように努めます。

イ 家族で楽しむ「市民スポーツの日」の推進

毎月第一日曜日を「市民スポーツの日」として、施設（陸上競技場・庭球場・第二市民体育館・赤堀体育館・あずま体育館・境体育館など）を無料開放。市民が家族でスポーツに親しみ、スポーツを通して健康な心と体を鍛え、明るく豊かなまちづくりの推進に努めます。

ウ 市民総合体育大会の充実

第9回市民総合体育大会を開催し、広く市民にスポーツの振興・普及を図り市民の体力づくり運動を推進するとともに市民総スポーツの定着に努めます。

エ 市民レクリエーションスポーツ祭の充実

第9回市民レクリエーションスポーツ祭を開催し、高齢者・親子づれ・家族等が気軽に参加できる市民スポーツの推進に努めます。

オ スポーツ推進委員等による地域スポーツ活動の推進

地域住民のニーズにあった、ニュースポーツの普及や地域スポーツ活動の支援などにより、市民総スポーツの定着に努めます。

(2) スポーツ指導者の養成と指導体制の充実

ア 実技講習会等による指導者の養成

実技講習会を実施し、指導者としての知識及び技能の向上を図るとともに、体力や年齢に応じた適切な指導の向上に努めます。

イ 指導者登録制度の充実と効果的な活用

市民のスポーツ需要に応える、適切な指導者を紹介できるような指導者制度を確立し、活用に努めます。

(3) スポーツ団体の育成強化を図る

ア 一般財団法人伊勢崎市体育協会活動への支援

一市民一スポーツの推進及び競技力向上を図るため、各競技団体、スポーツ推進委員会、地区社会体育推進委員会、軽スポーツ団体等の連携と（一財）伊勢崎市体育協会の支援に努めます。

イ 競技団体の育成と選手の強化

各競技団体の自主活動を推進するとともに、関東・全国で活躍できる選手の育成に努めます。

ウ スポーツ少年団の育成

各少年団の自主的活動を推進するとともに、相互間の連携の強化を図り、少年スポーツの育成に努めます。

(4) スポーツ施設・設備の充実

ア 市民体育館改修・電気設備・機械設備工事（社会資本整備総合交付金・合併特例債：H24・25年度債務負担）

イ 赤堀体育館改修工事（社会資本整備総合交付金・合併特例債）

ウ 陸上競技場選手召集所下屋改修工事

エ 赤堀西部スポーツ公園多目的広場防球ネット嵩上げ工事

オ あずまサブスタジアムエアコン設置工事

カ 境いよく野球場防球ネット設置工事

(5) スポーツ振興組織

ア スポーツ推進審議会

市民の意見の反映、専門的な人々からの総合的、長期的な伊勢崎市のスポーツに対する諮問機関。
委員 15人

イ スポーツ推進委員

住民のスポーツの推進と住民スポーツ活動の促進を一層充実するため指導助言を行う。
委員 45人

ウ 地区社会体育推進委員連絡協議会

各地区のスポーツ行事の情報交換・調整・スポーツの普及啓発・指導者の養成等を行う。
委員 33人

エ スポーツ指導者バンク

市民のスポーツ活動の促進を図るため、スポーツ指導者の登録制度。
14団体 117人

オ 一般財団法人伊勢崎市体育協会

スポーツ人口の増大と各競技種目の普及に伴って、(一財)伊勢崎市体育協会も年々充実発展し現在42団体を統括し、本市のスポーツの核として、一市民一スポーツの定着と競技力の向上・指導の育成等に努めている。

(一財)伊勢崎市体育協会加盟団体

野球協会・ソフトテニス連盟・テニス協会・バレーボール協会・バスケットボール協会・卓球協会・陸上競技クラブ・水泳協会・サイクリング協会・スキー協会・柔道協会・剣道協会・弓道協会・子育連・スケート協会・体操協会・ボクシングクラブ・バドミントン協会・アーチェリー協会・サッカー協会・ソフトボール協会・ラグビーフットボール協会・ウォーキング協会・ゲートボール協会・ボウリング協会・ゴルフ協会・太極拳協会・インディアカ協会・グラウンドゴルフ協会・綱引協会・中学校体育連盟・スポーツ少年団・スポーツ推進委員会・地区社会体育推進委員連絡協議会・市民合気会・ハイキング協会・レスリング協会・空手道連盟・トライアスロン協会・スポーツチャンバラ協会・スポーツ吹矢協会・山岳会

3 平成24年度事業実績

(1) スポーツ教室開催結果一覧表

参加者 1,108人(延べ人数 5,282人)

No.	教室名	実施月	回数	対象	参加者	会場
1	早朝ソフトテニス	4月・5月	6	小学生以上	34	上武公園テニス場
2	インラインスケート	4月	3	5歳以上の市民	20	三室西公園運動場
3	ソフトテニス	4月・5月	6	市民(学生除く)	25	庭球場
4	早朝テニス	4月～6月	8	小学4生以上	84	庭球場
5	弓道	5月・6月	8	小学5生以上	26	あずま弓道場
6	ミニバスケットボール	5月	3	小学4年～6年	67	北第二小学校
7	健康アップ	5月・6月	9	市民(学生除く)	31	市民体育館
8	弓道	5月・6月	8	中学生以上	19	弓道場
9	弓道	5月・6月	8	中学生以上	9	境弓道場
10	バドミントン	5月～7月	8	市民(学生除く)	46	市民体育館
11	体操	6月	8	小学2年～6年	30	市民体育館
12	サッカー	6月	2	小学1年～3年	33	赤堀コミュニティ広場
13	少年少女レスリング	6月・7月	6	幼稚園・小・中学生	9	南小学校
14	ボクシング	6月	8	小学生以上	20	市民体育館
15	卓球	6月	8	小学5年以上	23	市民体育館
16	なぎなた	6月	4	小学生以上	5	境武道館
17	陸上	6月	4	小学5年～6年	33	陸上競技場
18	早朝ソフトテニス	6月～8月	8	小学4生以上	101	庭球場
19	太極拳カンファ	7月	1	小学生以上	45	境体育館
20	ナイターテニス	8月・9月	8	市民(学生除く)	36	庭球場
21	ジュニアバドミントン	9月	4	小学4年～中学3年	40	第二市民体育館
22	水泳 ①	9月	6	50歳以上の市民	10	スイミングアカデミー伊勢崎
23	カヌー	9月	2	市民(学生除く)	12	境プール・広瀬川
24	ミニバレーボール	10月・11月	8	小学3年～6年	30	茂呂小学校
25	小学生サッカー ①	10月	2	小学1年～4年	21	境ふれあいパーク
26	スケート ①	11月	8	小学生以上	70	スケートセンター
27	スケート ②	12月	8	小学生以上	70	スケートセンター
28	ソフトボール	1月	1	小学生以上	81	境総合運動場
29	小学生サッカー ②	2月	2	小学1年～4年	21	境ふれあいパーク
30	スキー	3月	1	小学生以上	41	万座温泉スキー場
31	水泳 ②	3月	6	50歳以上の市民	16	スイミングアカデミー伊勢崎

※ あずまウォーターランド(指定管理)を除く

(2) 「市民スポーツの日」実績一覧表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
627	879	535	727	598	484	54	249	246	288	341	339	5,367

(3) 市民総合体育大会の成績表

ア 総合成績

優勝	第2位	第3位
豊受地区	境地区	茂呂地区

イ 種目別

種目	第1位	第2位	第3位	種目	第1位	第2位	第3位
陸上(男子)	豊受	殖蓮	境	弓道	豊受	赤堀	茂呂
陸上(女子)	茂呂	宮郷	赤堀	柔道	豊受	東	宮郷・境
サッカー(男子)	殖蓮	東	茂呂・三郷	剣道	豊受	宮郷	境
サッカー(女子)	名和	豊受	三郷・宮郷	テニス	宮郷	北	殖蓮
バレーボール(男子)	赤堀	境	殖蓮・豊受	綱引き	名和	豊受	赤堀・境
バレーボール(女子)	茂呂	境	南・豊受	ゲートボール(男子)	茂呂	三郷	名和
ソフトテニス	宮郷	赤堀	南	ゲートボール(女子)	名和	殖蓮	境
卓球	境	三郷	赤堀	グラウンドゴルフ	豊受	境	名和

(4) 市民レクリエーションスポーツ祭の実績

総参加者総人数 1,309人 (役員等 141人を含む)

種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者
サイクリング	59	ターゲットバードゴルフ	19	スマイルウイング	84	ヘルスバレー	71
ウォーキング	29	リエンテリング	20	ジャングルボート	62	ラダーゲッター	51
ゲートボール	123	インディアカ	69	スプレックテニス	97	—	—
グラウンドゴルフ	259	なわとび	111	スポーツ吹矢	114	—	—

(5) 施設の利用状況

施設利用実績 総合計 956,036人

華蔵寺公園運動施設		赤堀運動施設		あずま運動施設		境運動施設	
市民体育館	66,882	赤堀体育館	66,610	あずま体育館	—	境体育館	27,487
第二市民体育館	46,962	赤堀剣道場	9,956	テニスコート	8,817	境武道館	39,552
庭球場	86,681	中央運動場	25,356	あずまスタジアム	11,620	いよく公園運動場	26,765
野球場	21,172	あかぼり運動公園	36,109	あずまサブスタジアム	6,617	境弓道場	2,868
陸上競技場	49,415	西部スポーツ公園	15,147	あずま弓道場	8,337	総合運動場	25,599
ソフトボール	15,050	香林運動公園	7,456	総合運動場	15,988	上武公園運動場	15,337
第二グラウンド	11,104	グラウンドゴルフ場	2,606	三室西公園	9,062	グラウンドゴルフ場	24,693
補助競技場	19,940	コミュニティ広場	53,200	ゲートボール場	5,827	利根川河川運動場	2,742
弓道場	10,083	—	—	グラウンドゴルフ場	652	矢ノ原公園運動場	2,808
相撲場外	998	—	—	あずまサッカースタジアム	48,157	ラグビー場	5,659
市民プール	39,762	—	—	ウォーターランド	62,556	境プール	20,404
計	368,049	計	216,440	計	177,633	計	193,914

伊勢崎市の教育

平成 25 年度 版

平成 25 年 8 月 発行

編集 伊勢崎市教育委員会事務局

発行 伊勢崎市教育委員会

伊勢崎市今泉町二丁目 410 番地

印刷 第一印刷株式会社

